官報（日刊）　第六七三號　昭和四年三月三十日（土曜日）（郵便物認可）（毎月三十回発行）第三種郵便物認可）

官報

第六百七十三號

NO. 673

昭和四年三月三十日　土曜日

内閣印刷局

法律

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル米穀需給調節特別會計法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和四年三月二十九日

内閣總理大臣　男爵　田中　義一
大藏大臣　三土　忠造
農林大臣　山本悌二郎

法律第三十號

米穀需給調節特別會計法中左ノ通改正ス

第二條中「二億圓」ヲ「二億七千萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ昭和四年度ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

大正十年四月四日公布法律第三十七號米穀需給調節特別會計法抄錄

第二條　本會計ニ屬スル總費ヲ支辨スル爲必要アルトキハ政府ハ本會計ノ負擔ニ於テ借入ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル借入金ノ額ハ第三條ノ規定ニ依リ發行スル證券ノ額ト通シテ最高二億圓トス

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル噸稅法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和四年三月二十九日

内閣總理大臣　男爵　田中　義一
大藏大臣　三土　忠造

法律第三十一號

噸稅法中左ノ通改正ス

第一條第一項中「五錢」ヲ「七錢」ニ、「十五錢」ヲ「二十一錢」ニ改ム

附則

本法ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前噸稅法第一條第一項但書ノ規定ニ依リ一時ニ納付シタル噸稅ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

〔參照〕

明治三十二年三月二十四日公布法律第八十八號噸稅法抄錄

第一條第一項

外國貿易ノ爲外國ニ往來スル船舶開港ニ入港シタルトキハ其ノ入港每ニ登簿噸數一噸又ハ積量十石ニ付五錢ノ噸稅ヲ課ス但シ登簿噸數一噸又ハ積量十石ニ付十五錢ヲ一時ニ納付スルトキハ其ノ港ニ於テハ滿一箇年間噸稅ヲ納ムルコトヲ要セス

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル關稅定率法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和四年三月二十九日

内閣總理大臣　男爵　田中　義一
大藏大臣　三土　忠造

法律第三十二號

關稅定率法別表輸入稅表中左ノ通改正ス

第二百八號第二項ヲ左ノ如ク改ム

二	ベタナフトール	每百斤	一八・七〇
三	オキシナフトエ酸及其ノ誘導體	每百斤	一〇〇・〇〇
四	其ノ他	從價	三割五分

第二百四十五號中「每斤」ヲ削リ「一一・四〇」ヲ「無稅」ニ改ム

第二百七十三號ヲ左ノ如ク改ム

二七三	綿絲及長十メートルノ重量三グラムヲ超エサル綿線		
一	絕造ノモノ（生ノモノ）	每百斤	三九・二〇
二	木製ノ絲巻ニ巻キタルモノ	每百斤絲巻共	七〇・一〇
三	其ノ他	從價	三割

第五百五十七號第一項ヲ左ノ如ク改ム

一	ピアノ		
甲	平形ノモノ	每百斤	八六・七〇
乙	其ノ他	每百斤	六〇・九〇

第六百十二號第一項己ヲ左ノ如ク改ム

己	パイン、ファー、シダー其ノ他ノ針葉樹		
己ノ一	長二十センチメートル、幅七センチメートル、厚七ミリメートルヲ超エサルシダー	無稅	
己ノ二	ヒノキ屬（ホワイトシダー及イエローシダー等）		
イ	厚二百ミリメートルヲ超エサルモノ	每立方メートル	九・八五
ロ	其ノ他（丸太及割材ヲ含ム）	每立方メートル	五・四〇

本文

己ノ二	ネヅコ屬（レッドシダー等）及ツガ屬（ヘムロック等）	毎立方メートル	六・二五
イ	厚六十ミリメートルヲ超エサルモノ	毎立方メートル	五・五〇
ロ	厚二百ミリメートルヲ超エサルモノ	毎立方メートル	三・七〇
ハ	厚二百ミリメートルヲ超エタルモノ	毎立方メートル	三・三〇
ニ	丸太及割材		
己ノ四	モミ屬（トドマツ等）、タウヒ屬（エゾマツ、スプルース等）、マツ屬（紅松等）及カラマツ屬（落葉松等）	毎立方メートル	一・一〇
イ	厚二百ミリメートルヲ超エサルモノ	毎立方メートル	四・五五
ロ	厚二百ミリメートルヲ超エタルモノ	毎立方メートル	二・一〇
己ノ五	其ノ他（丸太及割材ヲ含ム）	無税	
イ	厚六十ミリメートルヲ超エサルモノ	毎立方メートル	三・九〇
ロ	厚二百ミリメートルヲ超エサルモノ	毎立方メートル	二・一〇
ハ	厚二百ミリメートルヲ超エタルモノ	毎立方メートル	一・二〇
ニ	丸太及割材		
ニノ一	長十メートルヲ超エ、末口ノ直徑三十センチメートルヲ超エサルモノ	毎立方メートル	一・二〇
ニノ二	其ノ他	無税	

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル關稅定率法中改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和四年三月二十九日

內閣總理大臣　男爵　田中　義一

大藏大臣　三土　忠造

法律第三十三號

關稅定率法別表輸入稅表中左ノ通改正ス

第三十二號ヲ左ノ如ク改ム

三二	茶		
一	紅茶	毎百斤	八八・一〇
二	紅茶粉	毎百斤	二九・五〇
三	包種茶	毎百斤	六・〇〇
四	其ノ他	毎百斤	一〇・六〇

第三十六號第二項中「四三・〇〇」ヲ「二六・〇〇」ニ改ム

第四十四號中「七・二〇」ヲ「一一・六〇」ニ改ム

第四十六號中「一七・五〇」ヲ「一六・三〇」ニ改ム

第四十七號中「一三・三〇」ヲ「一〇・四〇」ニ改ム

第五十四號中「二〇・五〇」ヲ「一九・三〇」ニ改ム

第七十二號第一項甲ヲ左ノ如ク改ム

甲	塗リタルモノ		
イ	クンニン糸ノモノニシテ黒色無地ノモノ	從價	四割
ロ	其ノ他	從價	二割

第八十四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

八四ノ二	ガット（テニスラケット用ノモノ）	從價	二割五分

第三百九十二號第一項ヲ左ノ如ク改ム

一	印刷シタルモノ		
甲	轉寫用ノモノ	毎百斤	三九・三〇
乙	其ノ他	從價	五割

第三百九十三號中「三割」ヲ「五割」ニ改ム

第四百三十九號第二項甲中「碍子」ヲ「電氣用ノモノ」ニ改ム

第四百五十七號第二項乙ヲ左ノ如ク改ム

乙	其ノ他		
イ	電氣用ノモノ	從價	二割五分
ロ	其ノ他	從價	四割

第五百六十號第一項中「毎箇」ヲ「從價」ニ、「七・四〇」ヲ「四割」ニ改ム

第六百十二號第一項甲ヲ左ノ如ク改ム

甲ノ一	花梨木及黃楊木	從價	三割
甲ノ二	鐵刀木、紅木、紫檀及黑檀（縞黑檀ヲ除ク）	毎百斤	〇・五〇

同號第二項丁ヲ左ノ如ク改ム

丁	花梨木及黃楊木	從價	四割
戊	其ノ他	從價	二割五分

第六百四十號第一項中「及同附屬品」ヲ「其ノ他ノ戶外運動具及同附屬品」ニ改ム

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル大正十三年法律第二十四號中改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和四年三月二十九日

內閣總理大臣　男爵　田中　義一

商工大臣　中橋德五郎

大藏大臣　三土　忠造

農林大臣　山本悌二郎

法律第三十四號

大正十三年法律第二十四號中左ノ通改正ス

別表輸入稅表番號第三十二號、第三十三號、第三十六號、第四十四號、第四十六號、第四十七號及第五十四號ノ項ヲ削ル

同第六十九號ノ項中「（兎毛皮竝鞣ササル綿羊皮及山羊皮ヲ除ク）」ヲ「（犬毛皮、猫毛皮、兎毛皮竝鞣ササル綿羊皮及山羊皮ヲ除ク）」ニ改ム

同第七十二號ノ項一甲中「塗リタルモノ」ヲ「塗リタルモノ（一　甲　イヲ除ク）」ニ改ム

同第百三十九號、第三百九十二號、第三百九十三號、第四百十四號及第四百二十四號ノ項ヲ削ル

同第四百三十九號ノ項中「（碍子ヲ除ク）」ヲ「（電氣用ノモノ及二　乙ノ內紫燒ノモノヲ除ク）」ニ改ム

同第四百五十七號ノ項中「（二　甲ヲ除ク）」ヲ「（二　甲及二　乙　イヲ除ク）」ニ改ム

同第五百六十號ノ項ヲ削ル

同第六百十二號ノ項ヲ左ノ如ク改ム

六一二　木材

一　單ニ切リ、挽キ又ハ割リタルモノ（甲ノ一ヲ除ク）

二　其ノ他

戊ノ內　鐵刀木、紅木、紫檀及黑檀（縞黑檀ヲ除ク）

同第六百四十號ノ內ノ項ヲ左ノ如ク改ム

六四〇　ピリヤード、テニス、クリッケット、象棋其ノ他ノ遊戲具及同附屬品（二ヲ除ク）

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル大正九年法律第五十三號中改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和四年三月二十九日

內閣總理大臣　男爵　田中　義一

大藏大臣　三土　忠造

法律第三十五號

大正九年法律第五十三號中左ノ通改正ス

第一條　削除

第八條中「關稅法、關稅定率法、保稅倉庫法又ハ假置場法中大藏大臣又ハ主務大臣」ヲ「關稅法又ハ關稅定率法中大藏大臣」ニ改ム

別表ヲ削ル

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

大正十三年七月三十一日公布法律第二十四號ハ繫濱品等ノ輸入稅ニ關スル件ナリ

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル大正九年法律第五十三號中改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和四年三月二十九日

內閣總理大臣　男爵　田中　義一

大藏大臣　三土　忠造

（別表）

輸入稅表甲號

品名	單位	稅率
木材（關稅定率法別表輸入稅表第六一二號一ノ己ノ四ノイニ該當スルモノ）	毎立方メートル	〇・四〇

輸入稅表乙號

品名	單位	稅率
木材（關稅定率法別表輸入稅表第六一二號一ノ己ノ四ノイニ該當スルモノ）	毎立方メートル	〇・七五
備考　從量稅率ノ單位ハ圓トス		

（參照）

大正九年八月ヨリ法律第五十三號（關稅法關係法律ノ改正ニ關スル件）ニ依リ關稅法又ハ關稅定率法ノ改正ニ關シ關係法律ノ改正ヲ爲シタルモノ

（參照）

明治二十六年十月三十一日公布勅令第百十八號法制局官制抄錄

第二條第一項

法制局ニ左ノ職員ヲ置ク

參事官　專任八人　奏任內一人ヲ勅任トシ內一人ヲ勅任トス爲スコトヲ得

屬　專任四人　判任

朕法制局官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和四年三月二十九日

內閣總理大臣　男爵　田中　義一

農林大臣　山本悌二郎

勅令

朕法制局官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和四年三月二十九日

內閣總理大臣　男爵　田中　義一

勅令第二十一號

法制局官制中左ノ通改正ス

第二條中「內一人ヲ勅任トス爲スコトヲ得」ヲ「內二人ヲ勅任トス爲スコトヲ得」ニ、「屬　專任四人」ヲ「屬　專任六人」ニ改ム

附　則

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕水產講習所官制改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和四年三月二十九日

內閣總理大臣　男爵　田中　義一

農林大臣　山本悌二郎

勅令第二十二號

水產講習所官制左ノ通改正ス

第一條　水產講習所ハ農林大臣ノ管理ニ屬シ水產ニ關スル學理及技術ノ教授及攻究ヲ掌ル

第二條　水產講習所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長　敎授　專任十六人　奏任

技師　專任三人　奏任

助敎授　專任十人　判任

本文　第六七三號

第673号 本文

屬　專任四人　判任
技手　專任五人　判任
第三條　所長ハ教授ヲ以テ之ニ充ツ所長タル教授ハ之ヲ勅任ト爲スコトヲ得
所長ハ農林大臣ノ指揮監督ヲ承ケ所中全般ノ事務ヲ掌理ス
第四條　教授ハ上官ノ指揮ヲ承ケ教授ヲ掌ル
第五條　技師ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ヲ掌ル
第六條　助教授ハ上官ノ指揮ヲ承ケ教授ノ職務ヲ助ク
第七條　屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス
第八條　技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

附　則

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕水產試驗場官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和四年三月二十九日
内閣總理大臣　男爵　田中　義一
農林大臣　山本悌二郎

勅令第二十三號
水產試驗場官制
第一條　水產試驗場ハ農林大臣ノ管理ニ屬シ水產ニ關スル左ノ事務ヲ掌ル
一　試驗及調査
二　分析、檢定及鑑定
三　種苗及標本ノ配付
四　講習及講話
第二條　水產試驗場ニ左ノ職員ヲ置ク
場長
技師　專任十九人　奏任
技手　專任十七人　判任
屬　專任六人　判任
第三條　場長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ農林大臣ノ指揮監督ヲ承ケ場中全般ノ事務ヲ掌理ス
第四條　技師ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ヲ掌ル
第五條　技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス
第六條　屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス
第七條　農林大臣ハ必要ト認ムル地ニ水產試驗場ノ分場ヲ置キ本場ノ事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕高等官官等俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和四年三月二十九日
内閣總理大臣　男爵　田中　義一

勅令第二十四號
高等官官等俸給令中左ノ通改正ス
第八條中「營林局事務官」ノ次ニ「水產講習所教授」ヲ加フ
別表第一表農林省ノ部中營林局事務官ノ項ノ次ニ

水產講習所教授					

ヲ加フ

附　則

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕明治四十年勅令第百十五號製鐵所、農林省又ハ水產講習所所屬船舶乘組員ニ食卓料及航海日當ヲ支給スルノ件中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和四年三月二十九日
内閣總理大臣　男爵　田中　義一
商工大臣　中橋德五郎
農林大臣　山本悌二郎

勅令第二十五號
明治四十年勅令第百十五號中左ノ通改正ス
第一條中「農商務省」ヲ「農林省」ニ改メ「水產講習所」ノ下ニ「又ハ水產試驗場」ヲ加フ
第三條中「農商務大臣」ヲ「所管大臣」ニ改ム
別表中「水產講習所奏任職員」ヲ「水產講習所奏任職員、水產試驗場奏任職員」ニ、「水產講習所判任教官」ヲ「水產講習所判任職員、水產試驗場判任職員」ニ改ム

附　則

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）
明治四十年四月十二日公布勅令第百十五號抄錄
第一條　材料及製品ヲ運搬スル製鐵所所屬船舶ノ乘組員、漁業ノ取締及調査ヲ行フ農商務省所屬船舶ノ乘組員並水產講習所所屬船舶ノ乘組員ニハ別表ニ依リ食卓料及航海日當ヲ支給ス
第三條　農商務大臣ニ於テ必要ト認ムルトキハ一等運轉士、一等機關士、事務員、無線電信通信從事者及醫員ニ船長、機關長ト同一ノ食卓料及航海日當ヲ支給スルコトヲ得

朕大正七年勅令第三百三十三號農林省、製鐵所又ハ水產講習所所屬船舶ノ乘組員ニ食卓料及航海日當ヲ臨時增給スルノ件中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和四年三月二十九日
内閣總理大臣　男爵　田中　義一
商工大臣　中橋德五郎
農林大臣　山本悌二郎

勅令第二十六號
大正七年勅令第三百三十三號中左ノ通改正ス
「農商務省、製鐵所又ハ水產講習所」ヲ「農林省、製鐵所、水產講習所又ハ水產試驗場」ニ改ム

附　則

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）
大正七年八月二十九日公布勅令第三百三十三號
農商務省、製鐵所又ハ水產講習所所屬船舶ノ乘組員ニ對シ當分ノ內所管ノ臣大藏大臣ト協議シテ食卓料及航海日當定額ノ二十割以內ヲ增給スルコトヲ得

朕昭和四年法律第三號開墾助成法中改正法律施行期日ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和四年三月二十九日
内閣總理大臣　男爵　田中　義一
農林大臣　山本悌二郎

勅令第二十七號
昭和四年法律第三號ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

省　令

◎司法省令第八號
大正二年司法省令第十一號中左ノ通改正ス
別表登記管轄區域表中福岡區裁判所ノ部西新町出張所ノ項ヲ左ノ如ク改ム

西新町	福岡縣ノ内 早良郡 福岡市ノ内 西新町　大字鳥飼　大字谷 西町　地行東町　地行西町 大字上長尾　大字下長尾　大字田島 大字片江　大字檜原　大字堤 大字柏原　大字東油山　大字荒江 大字飯倉　大字原　大字七隈 大字有田　大字小田部　大字庄

附　則

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和四年三月三十日
司法大臣　原　嘉道

◎司法省令第九號
福岡區裁判所西新町出張所管內福岡縣福岡市大字上長尾、大字下長尾、大字田島、大字片江、大字檜原、大字堤、大字柏原、大字東油山、大字荒江、大字飯倉、大字原、大字七隈、大字有田、大字小田部及大字庄ニ於ケル商業登記ノ事務ハ福岡區裁判所ヲシテ之ヲ取扱ハシム
本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和四年三月三十日
司法大臣　原　嘉道

◎司法省令第十號
大正二年司法省令第十一號中左ノ通改正ス
別表登記管轄區域表中三次區裁判所ノ部吉田出張所及井原出張所ノ項ヲ左ノ如ク改ム

吉田	廣島縣ノ内 高田郡ノ内 吉田町　丹比村　可愛村　郷野村 刈田村　根野村　甲立町　小田村 雙三郡ノ内 板木村
井原	廣島縣ノ内 高田郡ノ内 井原村　向原村　有保村　志屋村 市川村　秋越村　三田村

附　則

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和四年三月三十日
司法大臣　原　嘉道

◎文部省令第十號
橫濱高等工業學校規程中左ノ通改正ス

昭和四年三月三十日
文部大臣　勝田　主計

第二條中「應用化學科及建築學科」ヲ「應用化學科、建築學科及造船工學科」ニ改ム
第三條中建築學科ノ學科目及其ノ程度表ノ次ニ左ノ表ヲ加フ

造船工學科

學科目 ＼ 學年	第一學年每週教授時數 第一學期	第一學年 第二學期	第一學年 第三學期	第二學年每週教授時數 第一學期	第二學年 第二學期	第二學年 第三學期	第三學年每週教授時數 第一學期	第三學年 第二學期	第三學年 第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體育	四	四	四	四	四	四	四	四	四
外國語	五	五	五	四	四	四	二	二	二
數學	六	五	四	三	三	三			
物理學	四	四	四						
物理實驗									
應用力學	三	三	三						
材料强弱學				三	三	三			
木鋼船構造	二		一	三	三	三	一	一	一
船舶算法	一		一						
畫法幾何學				一	一	一			
艤裝	一	一	一	二	二	二	一	一	一
軍艦構造及艤裝				一	一	一			
船舶復原性				一	一				
船舶抵抗推進及旋回						一	一		
船舶動搖及振動								一	一
造船所論及見積							三	三	三
船用機關				二	二	二			
電氣工學				一	一	一			
航空學　構造							一	一	一
航空學　理論							一	一	一
船舶法規							一	一	一
航海運用術							一	一	一
計畫及製圖	四	一六	一七	二	二	二	三	三	三
機關計畫及製圖				四	四	三			
工場實習　船舶	一〇								
工場實習　機關						一〇			
工業經濟							一	一	一
工場經營及法規							一	一	一
合計	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二

備考　物理實驗ハ第一學年ニ於テ隔週三時間トシ計畫及製圖時間內ニ於テ之ヲ課ス

附　則

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）
大正九年一月二十二日文部省令第二號橫濱高等工業學校規程抄錄
第二條　橫濱高等工業學校ノ學科ハ機械工學科、電氣化學科、應用化學科及建築學科トス
第三條　橫濱高等工業學校各學科ノ學科目及其ノ程度左ノ如シ但シ必要ノ場合ニ於テハ教授定時間外又ハ休業期間ニ於テ臨時講演ヲ聽カシメ又ハ實習ヲ課スルコトアルヘシ
（左表略ス）

◎文部省令第十一號
廣島高等工業學校規程中左ノ通改正ス

昭和四年三月三十日
文部大臣　勝田　主計

第二條中「電氣工學科及應用化學科」ヲ「電氣工學科、應用化學科及釀造學科」ニ改ム
第三條中應用化學科ノ學科目及其ノ程度表ノ次ニ左ノ表ヲ加フ

釀造學科

學科目 ＼ 學年	第一學年每週教授時數 第一學期	第一學年 第二學期	第二學年每週教授時數 第一學期	第二學年 第二學期	第三學年每週教授時數 第一學期	第三學年 第二學期
修身	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	二	二	二
外國語	五	五	四	四	二	二
數學	四	四				
物理學及實驗	四	三	實驗三　二	二		
機械工學			二	二	二	二
電氣工學					三	三
無機化學	三	三				
有機化學	二	二	二	二		
理論化學			二	二		
醇素化學					二	二
工業化學大要					二	二
釀造細菌學			四	四		
蛋白質化學			二	二		
含水炭素化學			一	二		
釀造學第一（酒精、麥酒）			二	三	二	
釀造學第二（清酒、果實酒、酢）					三	三
釀造學第三（醬油、味噌）					一	一
税法					二	
工場建築法					一	

經濟及工場經理法					二	二
化學分析	一四					
工場分析		一三				
顯微鏡使用法		二				
細菌學及生理化學實驗			八	一〇		
機械製圖	三	三	三	三		
實驗及製造實習					一四	一八
特別講義						
計	三九	三九	三九	三九	三九	三九

附　則

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

大正九年一月二十日文部省令第三號廣島高等工業學校規程抄錄

第二條　廣島高等工業學校ノ學科ハ機械工學科、電氣工學科及應用化學科トス

第三條　廣島高等工業學校各學科ノ學科目及其ノ程度左ノ如シ但シ必要ノ場合ニ於テハ教授定時間外又ハ休業期間ニ於テ臨時講演ヲ聽カシメ又ハ實驗實習ヲ課スルコトアルヘシ

（左表略ス）

◎文部省令第十二號

神戸高等工業學校規程中左ノ通改正ス

昭和四年三月三十日　文部大臣　勝田主計

第二條中「電氣科及機械科」ヲ「電氣科、機械科及土木科」ニ改ム

第三條中機械科ノ學科目及其ノ程度表ノ備考ノ次ニ左ノ表ヲ加フ

土木科

學科目＼學年・學期	第一學年每週教授時數 第一學期	第一學年 第二學期	第一學年 第三學期	第二學年每週教授時數 第一學期	第二學年 第二學期	第二學年 第三學期	第三學年每週教授時數 第一學期	第三學年 第二學期	第三學年 第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	三	三	三	三	三	三	三	三	三
英語	四	四	四	四	四	四	三	三	三
數學	五	五	五	二	二	二			
物理學	三	三	三						
應用力學及構造强弱	三	三	三	三	三	三			
圖學	二	二	二						
地質學	二	一							
測量	四	三	三						
構築材料	一	二	一						
施工法	二	二	二	二	二				
鐵筋混凝土構造				二	二	二			
道路				二	二				
橋梁工學				二	二	二	三	三	三
鐵道工學				二	二	二	二	二	二
衛生工學				二	二	二	三	二	二
河海工學				二	二	二	三	三	三
家屋構造					二	二			
機械工學				二	二	二			
電氣工學							二	二	二
水力工學							二	二	
都市計畫							二	二	
地震學							一	二	
法制經濟							二	二	
測量實習	三	六	六						
製圖及實驗	六	四	六	一〇	八	一三	一三	一三	二〇
特別講義									
合計	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九

備考　特別講義ハ必要ニ應シ製圖及實驗ノ時間ヲ割キテ之ヲ課ス

野外演習ハ各學年ニ於テ四日間之ヲ施行ス

附　則

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

大正十一年二月二日文部省令第七號神戸高等工業學校規程抄錄

第二條　神戸高等工業學校ノ學科ハ建築科、電氣科及機械科トス

第三條　各學科ノ學科目及其ノ程度左ノ如シ

（左表略ス）

◎文部省令第十三號

秋田鑛山專門學校規程中左ノ通改正ス

昭和四年三月三十日　文部大臣　勝田主計

第二條中「冶金學科トス」ヲ「冶金學科、鑛山機械學科及燃料學科トス」ニ改ム

第三條中冶金學科ノ學科目及其ノ程度表ノ備考ノ次ニ左ノ表ヲ加フ

鑛山機械學科

學科目＼學年・學期	第一學年 第一學期每週教授時數	第一學年 第二學期每週教授時數	第一學年 第三學期每週教授時數	第二學年 第一學期每週教授時數	第二學年 第二學期每週教授時數	第二學年 第三學期每週教授時數	第三學年 第一學期每週教授時數	第三學年 第二學期每週教授時數	第三學年 第三學期每週教授時數
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
英語	五	三	三	三	三	三			
獨逸語		二	二	二	二	二			
數學	六	三	三	三					
工業物理學	五	五	五	三					
化學	二	二	二						
應用力學	二	二	二						
材料强弱學				二	二	一			
蒸汽機關	二	二	二	三	三	三	三		
水力及水力機				二	二	二			
內燃機關							二	二	一
鑛山機械							三	三	三
特種機械							四	四	四
工業材料		二	二						
機構及機械設計				三	三	三			
工作法	二	二	二						
工作機械							三		
電氣工學				三	三	二	二	二	二
採鑛概論						二	二		
撰鑛概論					二	二			
冶金概論							二	二	
工場建築								二	
工業管理								二	
法制一般									二
機械工學實驗及實習	六	六	六	六	六	六	五	五	五
電氣工學實驗及實習						一、五	一、五	三	
設計製圖	六	七	七	六	一〇	七、五	八、五	九	一三
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二
卒業論文								二	五
計	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九

備考　實習又ハ實驗等ノ爲必要アルトキハ修身ヲ除ク外學校長ニ於テ臨時前項ノ每週教授時數ヲ增減スルコトヲ得

燃料學科

學科目＼學年・學期	第一學年 第一學期每週教授時數	第一學年 第二學期每週教授時數	第一學年 第三學期每週教授時數	第二學年 第一學期每週教授時數	第二學年 第二學期每週教授時數	第二學年 第三學期每週教授時數	第三學年 第一學期每週教授時數	第三學年 第二學期每週教授時數	第三學年 第三學期每週教授時數
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
英語	五	三	三	三	三	三			
獨逸語		二	二	二	二	二			
數學	四	三	三						
物理學	五	五	五						
鑛物學	二	二							
無機化學	三	三	三						
有機化學	三	三	三						
製造冶金學			三	二					
機構學					二				
熱機關學大意				三	二				
工業化學				四	四	四			
電氣化學							一	一	一
電氣工學				三	三				
電氣工學實習				一、五	一、五				
機械工學實習				一、五	一、五				
物理化學				二	二	二			
物理化學實驗				三	四	六			
燃料學第一					二	二	三	二	二
燃料學第二					二	二	三	二	二
燃料學第三							二	三	三
燃料學第四							二	三	三
燃料學實驗第一							九		
燃料學實驗第二							九		
燃料學實驗第三								九	
燃料學實驗第四								九	
化學分析講義	二	二							
化學分析實驗	六	七	八						
工業分析講義				二	二	二			
工業分析實驗				九	五	五			
工場建築									二
法制一般									二
工業管理									二
工場衛生及救急術									二
製圖	六	六	六			八	七	七	
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二
卒業論文									一七
計	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九

備考　實習又ハ實驗等ノ爲必要アルトキハ修身ヲ除ク外學校長ニ於テ臨時前項ノ每週教授時數ヲ增減スルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

明治四十三年十二月十六日文部省令第三十四號秋田鑛山專門學校規程抄錄

第二條　秋田鑛山專門學校ノ學科ハ分チテ採鑛學科、冶金學科トス

第三條　秋田鑛山專門學校各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要ノ場合ニ於テハ教授定時間外又ハ休業期間ニ於テ臨時講演ヲ聽カシメ又ハ實習ヲ課スルコトアルヘシ

（左表略ス）

第 673 号 本文

◎文部省令第十四號

齒科醫師試驗規則中左ノ通改正ス

昭和四年三月三十日　文部大臣　勝田主計

附則中第三項及第四項ヲ削ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

大正二年九月十九日文部省令第二十八號齒科醫師試驗規則抄錄

附則第三項及第四項

大正三年ヨリ大正九年六月三十日マテノ間ニ於テ醫術開業試驗規則ニ依リ齒科醫術開業學說試驗ヲ受ケタル者ハ本令第四條ニ該當セサル者ト雖大正十四年十二月三十一日マテ本令ニ依リ試驗ヲ受クルコトヲ得但シ大正十二年九月三十日マテニ文部大臣ニ登錄ヲ申請シタル者ニ限ル

醫術開業試驗規則ニ依リ受驗シ齒科學說試驗ニ合格シタル者又ハ前項ニ該當スル者ニシテ大正十四年十二月三十一日マテニ本令ニ依ル學說試驗ニ合格シタル者ハ大正十七年十二月三十一日マテ本令ニ依リ實地試驗ヲ受クルコトヲ得

◎文部省令第十五號

藥劑師試驗規則中左ノ通改正ス

昭和四年三月三十日　文部大臣　勝田主計

附則中第三項及第四項ヲ削ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

大正二年九月十九日文部省令第二十九號藥劑師試驗規則抄錄

附則第三項及第四項

大正三年ヨリ大正九年六月三十日マテノ間ニ於テ明治二十二年內務省令第三號藥劑師試驗規則ニ依リ學說試驗ヲ受ケタル者ハ本令第四條ニ該當セサル者ト雖大正十四年十二月三十一日マテ本令ニ依リ試驗ヲ受クルコトヲ得但シ大正十二年九月三十日マテニ文部大臣ニ登錄ヲ申請シタル者ニ限ル

明治二十二年內務省令第三號藥劑師試驗規則ニ依リ受驗シ學說試驗ニ合格シタル者又ハ前項ニ該當スル者ニシテ大正十四年十二月三十一日マテニ本令ニ依ル學說試驗ニ合格シタル者ハ大正十七年十二月三十一日マテ本令ニ依リ實地試驗ヲ受クルコトヲ得

◎文部省令第十六號

大正十年文部省令第四十六號齒科醫師試驗及藥劑師試驗ノ件ハ之ヲ廢止ス

昭和四年三月三十日　文部大臣　勝田主計

◎文部省令第十七號

齒科醫術開業學說試驗受驗資格登錄規程ハ之ヲ廢止ス

昭和四年三月三十日　文部大臣　勝田主計

◎文部省令第十八號

藥劑師學說試驗受驗資格登錄規程ハ之ヲ廢止ス

昭和四年三月三十日　文部大臣　勝田主計

◎農林省令第三號

水產講習所規程左ノ通定ム

昭和四年三月三十日　農林大臣　山本悌二郎

水產講習所規程

第一條　水產講習所ハ水產ニ關スル學理及技術ヲ教授シ竝其ノ蘊奧ヲ攻究シ兼テ德性ノ涵養ニ努ム

第二條　水產講習所ニ本科、專攻科及遠洋漁業科ヲ置ク

本科及專攻科ノ學科ヲ分チテ漁撈科、製造科及養殖科トス

第三條　本科ニ於テハ漁撈、製造又ハ養殖ニ關シ各必要ナル學理及技術ヲ習得セシム

專攻科ニ於テハ本科ノ課程ニ照シ一層精深ナル程度ニ於テ漁撈、製造又ハ養殖ニ關シ各必要ナル學理及技術ヲ習得セシム

遠洋漁業科ニ於テハ遠洋漁業ニ關シ必要ナル學理及技術ヲ習得セシム

第四條　水產講習所ニ入學スル者ハ男子ニシテ左ノ資格ヲ具フルコトヲ要ス

一　本科ニ在リテハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者

(イ)　中學校第四學年ヲ修了シタル者

(ロ)　高等學校尋常科ヲ修了シタル者

(ハ)　高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者

(ニ)　專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者

(ホ)　文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者

(ヘ)　文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

二　專攻科ニ在リテハ水產講習所本科ヲ卒業シタル者又ハ水產講習所長ニ於テ之ト同等以上ノ學術技能ヲ有スル者ト認ムル者

三　遠洋漁業科ニ在リテハ水產講習所本科ノ漁撈科ヲ卒業シタル者又ハ水產講習所長ニ於テ之ト同等以上ノ學術技能ヲ有スル者ト認ムル者

第五條　本科ノ修業年限ハ四年、專攻科ノ修業年限ハ二年トス

遠洋漁業科ノ修業年限ハ三年以內ニ於テ水產講習所長之ヲ定ム

第六條　本科ノ學科目及其ノ程度左ノ如シ

漁撈科

學科目＼學年	第一學年 每週授業時間數 第一學期	第一學年 第二學期	第二學年 每週授業時間數 第一學期	第二學年 第二學期	第三學年 每週授業時間數 第一學期	第三學年 第二學期	第四學年 每週授業時間數 第一學期	第四學年 第二學期
修身	一	一	一	一	一	一		
英語	四	四	四	四	二	二		
獨逸語	三	三	三	三	二	二		
數學	七	七	二	二				
物理學			三	三	三	三		
化學	二	二	二	二				
普通動物學	三	三						
水產動物學					二	二		
水產生物生態學							三	三
普通植物學	二	二						
水產植物學			一	一				
法學通論	二	二						
水產法制			二	二				
經濟原論	二	二						
水產經濟學			二	二				
水產通論	二	二						
氣象學					一	一	一	一
漁具材料學	一	一	二	二				
漁具構成學			二	二	二	二	二	二
漁撈論			二	二	二	二	三	三
海洋漁場學					二	二		
航海學			二	二	三	三	三	三
運用學			一	一	一	一	三	三
漁船論					三	三		
機械學					二	二		
機關學					一	一	二	一
救急療法							一	一
水產製造概論							二	二
體操	二	二	二	二	二	二		
物理學實驗					三	三		
化學實驗	二	二	二	二				
普通動物學實驗	三	三						
水產動物學實驗					二	二		
水產生物生態學實驗							二	二
普通植物學實驗	三	三						
漁具材料學實驗			二	二				
漁具構成學實驗			二	二				
氣象學實習							不定	不定
遠洋漁業實習							不定	不定
海洋漁場學實習							不定	不定
航海學實習							不定	不定
運用學實習	不定	不定	二	二	二	二	不定	不定
漁船論實習					三	三		
機關學實習							二	二
計	三九	三九	三九	三九	三九	三九	二四	二四

所外ニ於ケル實驗實習及調查

學年	日數	事項
第一學年	三〇	水泳及操艇竝動植物學實驗
第二學年	三〇	漁船運用實習及沿岸漁業實習
第三學年	一五	漁業調查
	四〇	航海、運用及機關實習、測量實習竝近海漁業實習
	一五	定置漁業調查

製造科

學科目＼學年	第一學年 每週授業時間數 第一學期	第一學年 第二學期	第二學年 每週授業時間數 第一學期	第二學年 第二學期	第三學年 每週授業時間數 第一學期	第三學年 第二學期	第四學年 每週授業時間數 第一學期	第四學年 第二學期
修身	一	一	一	一	一	一		
英語	四	四	三	三	三	三		
獨逸語	三	三	三	三	二	二	一	一
數學	六	六	二	二				
物理學			三	三	三	三		
無機化學	三	三						
有機化學			三	三				
生物化學					二	二		
物理化學					一	一		
食品化學							二	二
製造化學			二	二	二	二	二	二
普通動物學	三	三						
水產動物學			二	二				
動物組織學					一	一		
普通植物學	三	三						
水產植物學			一	一				
法學通論					二	二		
水產法制							二	二
經濟原論					二	二		
水產經濟學							二	二
水產通論	二	二						
商業概論							二	二
細菌學							二	二
水產製造學			二	二	三	三	二	二
水產商品學							二	二
機械學					二	二	四	四
體操	二	二	二	二	二	二		
物理學實驗			三	三				
無機化學實驗	六	六						
有機化學實驗			六	六				
生物化學及物理化學實驗					六	六		
食品化學實驗							三	三
製造化學實驗							三	三
普通動物學實驗	三	三						
水產動物學實驗			三	三				
動物組織學實驗					二	二		
普通植物學實驗	三	三						
細菌學實驗							三	六
水產製造學實驗			三	三	三	三	三	
水產商品學實驗							三	三
機械設計實習					二	二	三	三
計	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九

所外ニ於ケル實驗實習及調查

學年	日數	事項
第一學年	三〇	水泳及操艇竝動植物學實驗
第二學年	二〇	製罐實習
第三學年	四〇	水產製造實習
第四學年	二五	水產製造實習
	四二	水產製造及商取引調查

養殖科

學科目＼學年	第一學年 每週授業時間數 第一學期	第一學年 第二學期	第二學年 每週授業時間數 第一學期	第二學年 第二學期	第三學年 每週授業時間數 第一學期	第三學年 第二學期	第四學年 每週授業時間數 第一學期	第四學年 第二學期
修身	一	一	一	一	一	一		
英語	五	五	四	四	一	一		
獨逸語	三	三	二	二	二	二	二	二
數學	六	六	二	二				
物理學			三	三	三	三		
無機化學	二	二						
有機化學			二	二				
生物化學					二	二		
物理化學							一	一
榮養化學							一	一
地質學	二	二						
普通動物學	四	四						
水產動物學			四	四				
動物生理學							三	三
組織發生學					二	二		
浮游生物學							一	一
普通植物學			三	三				
水產植物學					二	二		
海洋及湖沼學	二	二	一	一				
法學通論					二	二		
水產法制							二	二
經濟原論					二	二		
水產經濟學							二	二
水產通論	二	二						
細菌學							二	二
魚病學							二	二
淡水養殖論			二	二	二	二		
鹹水養殖論					二	二		
蕃殖保護論							一	一
餌料學							二	二
土木學					一	一	二	二
體操	二	二	二	二	二	二		
物理學實驗					三	三		
無機化學實驗	五	五						
有機化學實驗			五	五				
生物化學實驗					三	三		
榮養化學及物理化學實驗							六	六
普通動物學實驗	五	五						
水產動物學實驗			三	三				
動物生理學實驗							三	三
組織發生學實驗					六	六		
浮游生物學實驗							三	三
普通植物學實驗			五	五				
水產植物學實驗					三	三		
細菌學實驗							六	六
計	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九

第673号本文

所外ニ於ケル實習實驗及調査

學年	日數	事項
第一學年	三〇	水泳及操艇並動植物學實驗
	七	動物學實驗
	二	地質學實習
第二學年	五	動植物野外採集
	二〇	海洋及湖沼學實驗
	一四	動植物學實驗
第三學年	二〇	養魚實習及調査
	一〇	養蠣實習
	一五	人工孵化實習及調査
	七	養蠣實習
第四學年	一四	漁魚又海藻發生實習
	二二	養魚、土木、天然飼料及魚病實習
	一四	養殖法實習及調査

備考

一　本表ノ外各學年ニ於テ四日以上ノ兵式野外教練ヲ課ス

二　本表ノ外必要ニ應ジテ課外講義ヲ課スルコトアルベシ

三　各學年ノ授業學科目及其ノ授業時間數並所外ニ於ケル實驗、實習及調査ノ日數ハ時宜ニ依リ之ヲ變更スルコトアルベシ

四　漁撈科第四學年ノ授業ハ實習船ニ於テ之ヲ行フ

第七條　專攻科ノ學科目ハ之ヲ必修科目、選擇科目及隨意科目ニ分ツ

必修科目及選擇科目並其ノ程度左ノ如シ

漁撈科

學科目	學年	第一學年毎週授業時間數		第二學年毎週授業時間數	
		第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
必修	漁法學	二	二	二	二
	漁具學	二	二	二	二
	漁撈生物學	四	四	四	四

科目	學年	第一學年毎週授業時間數		第二學年毎週授業時間數	
		第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
必修	水產史	二	二	二	二
	統計學	二	二	二	二
	漁具學實驗	二	二	二	二
	漁撈生物學實驗	三	三	三	三
	漁撈物理學	三	三	二	二
	漁撈化學	二	二	三	三
	漁具材料學	三	三	三	三
選擇	漁船學	二	二	四	四
	漁船設計論	二	二	四	四
	漁撈機械學	二	二	四	四
	比較漁業學	二	二	四	四
	水產經濟學	三	三	三	三
	水產法制	四	四	三	三
	水產政策	二	二	二	二
	財政學	二	二	二	二
	民法	二	二	二	二
	商法	二	二	四	四
	水產金融論	二	二	二	二
	水產市場論	三	三	二	二
	漁業組合論	二	二	二	二
	漁業經營論	二	二	二	二
	漁撈物理學實驗	三	三	三	三
	漁撈化學實驗	三	三	三	三
	漁船設計實習	二	二	不定	不定

製造科

科目	學年	第一學年毎週授業時間數		第二學年毎週授業時間數	
		第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
必修	水產製造原料學	二	二	二	二
	水產史	二	二	二	二
	統計學	二	二	二	二
	水產製造學實習	二	二	三	三
	水產商品學實習	三	三	二	二
選擇	製造物理學	三	三	二	二
	物理化學	二	二	三	三
	製造化學	三	三	二	二
	營養化學	三	三	二	二
	水產製造機械學	三	三	二	二
	工場設計法	二	二	三	三
	工場經營論	二	二	二	二
	水產法制	四	四	三	三
	水產經濟學	三	三	二	二
	水產政策	二	二	二	二
	財政學	二	二	二	二
	民法	二	二	二	二
	商法	二	二	四	四
	水產金融論	二	二	二	二
	工場法制	三	三	二	二
	水產市場論	三	三	二	二
	漁業組合論	二	二	二	二
	製造物理學實驗	三	三	二	二
	製造化學實驗	六	六	六	六
	營養化學實驗	六	六	六	六
	水產製造機械設計實習	三	三	三	三
	工場設計法實習	三	三	三	三

養殖科

科目	學年	第一學年毎週授業時間數		第二學年毎週授業時間數	
		第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
必修	水產增殖論	三	三		
	養殖生物學	二	二		
	動物生態學	二	二		
	水質學	三	三		
	種苗改良論	三	三		
	飼料學	三	三		
	水產生物生理學	二	二		
	水產史	二	二		
	統計學	二	二		
	水產生物生理學實驗	三	三		
	生物計測學	二	二		
	水質學實驗	三	三		
選擇	養殖物理學	二	二		
	魚病學	一	一		
	比較發生學	三	三		
	養殖土木學	二	二		
	養殖場設計法	二	二		
	水產法制	四	四		
	水產經濟學	三	三		
	水產政策	二	二		
	財政學	二	二		
	民法	二	二		
	商法	四	四		
	水產金融論	二	二		
	水產市場論	三	三		

科目	學年	第一學年毎週授業時間數		第二學年毎週授業時間數	
		第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
漁業組合論		二	二		
漁業經營論		二	二		
漁撈物理學實驗		三	三		
漁撈化學實驗		三	三		
漁船設計實習		二	二	不定	不定
水產製造學		二	二		
水產商品學實習		三	三		
製造物理學實驗		三	三		
製造化學實驗		六	六	六	六
營養化學實驗		六	六	六	六
水產製造機械設計實習		三	三	三	三
工場設計法實習		三	三	三	三
養殖物理學		二	二		
魚病學		一	一		
比較發生學		三	三		
養殖土木學		二	二		
養殖場設計法		二	二		
水產法制		四	四		
水產經濟學		三	三		
水產政策		二	二		
財政學		二	二		
民法		二	二		
商法		四	四		
水產金融論		二	二		
水產市場論		三	三		

備考

各學年ノ授業學科目及其ノ授業時間數ハ時宜ニ依リ之ヲ變更スルコトアルベシ

選擇科目ノ選擇方法並隨意科目ノ種類及授業時間數ハ水產講習所長之ヲ定ム

第八條　本科又ハ專攻科ノ學科目中一科目又ハ數科目ヲ選擇シテ學修セムトスル者選科生トシテ入學ヲ許可スルコトヲ得

第九條　水產ニ關スル特殊ノ科目ヲ限リ必要ナル學理及技術ヲ習得セシムル爲別科ヲ置クコトヲ得

第十條　臺灣人、朝鮮人及外國人ノ特別入學ニ關シテハ水產講習所長ノ定ムル所ニ依ル

第十一條　本則施行ニ關シ必要ナル事項ハ水產講習所長之ヲ定ム

附　則

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ專攻科ニ關スル規定ハ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

水產講習所講習規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ本科ニ在學スル者ニ課スベキ學科目及其ノ程度ニ關シテハ水產講習所長之ヲ定ム

訓令

◎文部省訓令第三號

宮城縣

其縣測候技手ノ定員三名ヲ五名ニ改ム

昭和四年三月三十日

文部大臣　勝田　主計

達

◎陸達第七號

陸軍常備團隊配備表中歩兵第九聯隊第三大隊衛戍地變更並京都衛戍病院大津分院閉鎖ノ件左ノ通定ム

昭和四年三月三十日　陸軍大臣　白川　義則

陸軍常備團隊配備表中常分ノ內歩兵第九聯隊第三大隊ノ衛戍地ヲ京都トシ、京都衛戍病院大津分院ハ之ヲ閉鎖ス

告示

◎內務省告示第八十一號

國籍法第二十條ノ二第二項ノ規定ニ依リ日本國籍ノ離脫ヲ爲シタル者左ノ如シ

昭和四年三月三十日

內務大臣　望月　圭介

原籍　山口縣玖珂郡麻里布村大字室木千九百六十四番地

現住地　北米合衆國加州ロスアンゼルス市東四街五一一半一番地

原籍　熊本縣玉名郡小天村四千百四十

現住地　北米合衆國加州ロスアンゼルス市南タウン街九百五十二番

原籍　廣島縣安佐郡日浦村大字筒瀬二百三十番地

現住地　北米合衆國加州ロスアンゼルス市北アラメダ街七百十九番ノ半

原籍　廣島縣豐田郡上北方村百七十七番屋敷

現住地　北米合衆國加州サンルイスオビスポ郡アロヨグランデ

原籍　福岡縣糸島郡可也村大字師吉五百六十四番地

現住地　北米合衆國オレゴン州マルトノマ郡ツラウトデール

原籍　山口縣玖珂郡鳴門村大字遠崎第四百九十四番地

現住地　北米合衆國加州サクラメント郡バーキンス道路函五五

原籍　福岡縣三井郡大城村大字大城四十八番地

現住地　北米合衆國加州サクラメント市エヌ街四一四　佐々木久雄　佐々木文雄

本籍　宮城縣登米郡米山村西野百四十一番地

現住地　北米合衆國加州サクラメント市エヌ街五〇二　齊藤　米男

原籍　福岡縣浮羽郡竹野村大字竹野二百七十四番地ノ一

現住地　北米合衆國加州亞郡ニューアーク　谷川　力

原籍　山口縣大島郡屋代村第二百五十六番屋敷

現住地　北米合衆國加州ブラサ郡リンコルン郵函四五　竹元　好生

原籍　和歌山縣海草郡紀三井寺村大字紀三井寺八百九十一番地

現住地　北米合衆國加州ヨロー郡ウインタース、アル、エフ、デ郵函一九　谷越　一郎

原籍　山口縣玖珂郡鳴門村大字遠崎第四百九十四番地

現住地　北米合衆國加州ワソソンビル市ブリソジ街一二一　和氣　保行

原籍　廣島縣佐伯郡古田村大字古江千二百六十番地

現住地　北米合衆國加州サンキーキン郡ローダー郵函七二番　若狹　儀夫

原籍　新潟縣北蒲原郡加治村大字草荷千百三十五番地

現住地　北米合衆國加州ブラサ郡オープンウオルフルート　山田　太

原籍　和歌山縣日高郡切目村大字島田九百八十一番地　山田　元

現住地　北米合衆國加州サクラメント郡バーキンス道路函五五　古川　ヨネ

原籍　福岡縣三井郡大城村大字大城四十八番地

昭和四年三月三十日　印刷　昭和四年三月三十日　發行
定價金六錢
送料別
印刷者　大藏省印刷局
發行者　大藏省印刷局
東京市芝區新錢座町一番地
電話銀座（56）二五一〇番
振替口座東京六七三番
官報　第六七三號

現住地　北米合衆國加州ブレントウッド
ラウト一郵函一一ビー
久富　一二
久富　求
久富　國
久富　香

原籍　福島縣田村郡三春町字北町五十四番地
現住地　北米合衆國加州桑港市サター街千八百十七番地
畑　武夫

原籍　廣島縣安佐郡安村大字上安千六百四十三番地
現住地　北米合衆國加州サクラメント郡サクラメント道路函第二五一〇
出本　浚
出本　悟

原籍　鹿兒島縣川邊郡知覽村東別府二千四百二十三番地
現住地　北米合衆國加州桑港市パイン街一八三七
川邊　讓治
川邊　勉

原籍　岡山縣都窪郡妹尾町大字妹尾三千八百四十五番地
現住地　北米合衆國加州ロツソンヒル市メープル街一〇四
永瀬　智

原籍　和歌山縣日高郡松原村大字吉原八百四十三番地
現住地　北米合衆國ネバタ州ホワイトパイン郡ルース
龍神　敏明

原籍　山口縣大島郡安下庄町大字東安下庄第二千二百五十番地
現住地　北米合衆國加州サンオーキン郡ローダイ市南メーン街二四
佐々木英雄

原籍　三重縣河藝郡一ノ宮村大字池田三十八番屋敷
現住地　北米合衆國加州ウオナツグロー
ブ郵函三八三
城中　秀男

原籍　熊本縣下益城郡砥用町大字永富千二百六十二番地
現住地　北米合衆國加州ソラノ郡パカビル郵函八〇四
嶋田　亦男

原籍　滋賀縣犬上郡河瀬村大字辻堂二百七十九番地
現住地　北米合衆國オレゴン州ヒルスボロ市
岩崎　讓爾
岩崎　明
岩崎　阿佐

原籍　廣島縣安藝郡江田島村一萬七千四百六十五番地
現住地　北米合衆國ワシントン州キング郡オーバン
金重　義男

原籍　廣島縣安佐郡戸山村大字吉山千九百二十四番地
現住地　北米合衆國ワシントン州ヤキマ郡ワパト町郵函一三三
水田　盛登

原籍　長野縣更級郡共和村大字國田五百十八番地
現住地　米領布哇縣馬哇島ワイルク
東福寺　仁

原籍　和歌山縣伊都郡富貴村大字東富貴千百六十番地ノ内一號
現住地　米領布哇ホノルル市ルシタナ街
森口　治郎

原籍　廣島縣高田郡鄕野村大字上入江八百八十七番地
現住地　米領布哇馬哇島プウネネ耕地
正田　忠省
正田　猛
正田　正之

原籍　廣島縣佐伯郡宮內村六百十二番地
現住地　米領布哇ホノルル市ワイキキ
宮本　實

原籍　廣島縣佐伯郡小方村大村黒川二百八十一番地
現住地　米領布哇布哇島ヒロ市
橋本　勝壹

原籍　山口縣熊毛郡上關村大字八島第六百十四番地
現住地　米領布哇馬哇島ワヰルク
向川　重一
向川　幸一

原籍　山口縣大島郡安下庄町第千五十五番屋敷第一合
現住地　米領布哇ホノルル市
本山　一夫
本山　治郎
木山　剃治

原籍　山口縣大島郡屋代村第六百八番屋敷居住
現住地　米領布哇ホノルル市
山根　民雄

原籍　山口縣玖珂郡日積村第十八百十六番地
現住地　米領布哇オアフ島ワイパフ
胡屋　明
胡屋宇太郎

原籍　山口縣玖珂郡麻里布町大字今津第五百十二番地
現住地　米領布哇ヒロ、ワイナク
田中屋政一
田中屋　榮

原籍　熊本縣玉名郡小天村二百四十五番地
現住地　米領布哇ホノルル市
森山　隆

原籍　熊本縣飽託郡託麻村大字下無田二十二番地
現住地　米領布哇ホノルル市
佐藤龍一郎

原籍　熊本縣飽託郡川口村千八百十九番地
現住地　米領布哇ホノルル市
森永　豐
森永　猛
森永　敏夫

原籍　福岡縣糟屋郡山田大字山田百七番地
現住地　米領布哇コナ、ゲアラケリア
後藤　健治
後藤　義郎
後藤　駒雄
後藤　朝熊
後藤卯之次

原籍　福岡縣糟屋郡山田大字山田百七番地
現住地　米領布哇コナ、ゲアラケリヤ
後藤　一郎
後藤　正一
後藤　儀

原籍　福岡縣三井郡善導寺村大字木塚五百四十八番地
現住地　米領布哇ホノルル市
太下　正人

原籍　廣島縣安佐郡長東村八百六十六番地
現住地　米領布哇ホノルル市
西川　悟

原籍　山口縣玖珂郡通津村大字通津第二千六百一番地
現住地　米領布哇ホノルル市
新庄　伸

◉大藏省告示第四十九號

大正十二年法律第五十五號第二條ニ依リ發行スル國債ノ昭和四年四月中ニ於ケル交付價格ハ額面百圓ニ付九十二圓五十錢トス

昭和四年三月二十日

大藏大臣　三土　忠造

◉文部省告示第百五十六號

專門學校令ニ依リ設置セル眞言宗京都大學ヲ京都專門學校ト改稱スルノ件昭和四年三月二十八日認可セリ

昭和四年三月三十日

文部大臣　勝田　主計

◉文部省告示第百五十七號

千葉縣君津郡小櫃村ニ設置セル君津實業中等學校ノ名稱及設立者竝入學資格ヲ昭和四年四月ヨリ左ノ通リ變更ノ件認可セリ

昭和四年三月三十日

文部大臣　勝田　主計

名　稱　千葉縣立君津農林學校
設立者　千葉縣
入學資格　高等小學校卒業程度

◉文部省告示第百五十八號

左記農業學校ノ入學資格ヲ昭和四年四月ヨリ高等小學校卒業程度ニ變更ノ件認可セリ

昭和四年三月三十日

文部大臣　勝田　主計

位　置　名　稱
茨城縣西茨城郡笠間町　茨城縣立笠間農學校
茨城縣久慈郡大子町　茨城縣立大子農學校
茨城縣鹿島郡鹿島町　茨城縣立鹿島農學校

◉文部省告示第百五十九號

長野縣下伊那郡飯田町ニ設置セル飯田商業學校ノ修業年限及入學資格ヲ昭和四年四月ヨリ左ノ通變更ノ件認可セリ

昭和四年三月三十日

文部大臣　勝田　主計

修業年限　第一種　五年
第二種　三年
入學資格　第一種　尋常小學校卒業程度
第二種　高等小學校卒業程度

◉文部省告示第百六十號

兵庫縣神戸市中山手通ニ設置セル私立松蔭高等女學校ノ位置ヲ兵庫縣武庫郡西灘村ニ變更ノ件本年三月二十八日認可セリ

昭和四年三月三十日

文部大臣　勝田　主計

◉文部省告示第百六十一號

熊本縣立熊本農業學校ノ入學資格及修業年限ヲ昭和四年四月ヨリ左ノ通リ變更ノ件認可セリ

昭和四年三月三十日

文部大臣　勝田　主計

修業年限　第一種　五年
第二種　三年
入學資格　第一種　尋常小學校卒業程度
第二種　高等小學校卒業程度

◉文部省告示第百六十二號

兵庫縣神戸市中山手通ニ設置セル神戸家政女學校ノ名稱ヲ神戸高等家政女學校ト變更ノ件昭和四年三月二十九日認可セリ

昭和四年三月三十日

文部大臣　勝田　主計

◉農林省告示第七十三號

水產講習所講習規程及水產講習所臺灣、朝鮮及外國人特別入學規程ハ昭和四年三月三十一日限之ヲ廢止ス

昭和四年三月三十日

農林大臣　山本悌二郎

◉農林省告示第七十四號

狩獵法第九條ニ依リ左ノ通禁獵區ヲ設置ス

昭和四年三月二十日

農林大臣　山本悌二郎

一禁獵ノ區域　滋賀縣滋賀郡　坂本町ノ內縣道京都坂本線、坂本橋川線及仰木峠ヨリ縣道坂本橫川線ニ至ル里道以西ノ地域一圓

一禁獵ノ期間　自昭和四年四月二日　至昭和九年四月一日

◉遞信省告示第九百六十號

郵便貯金規則第二十五條第一項但書ニ依リ左記ノ期日迄下記郵便貯金通帳ニ對シ元加利子ノ記入ヲ取扱ハス

昭和四年三月三十日

遞信大臣　久原房之助

滋賀(よ)京都(も)大阪(あ)奈良(る)和歌山(さ)兵庫(ぬ)德島(つ)高知(ろ)岡山(さ)鳥取(ほ)香川(と)島根(な)愛媛(ら)廣島(く)山口(の)福岡(て)大分(を)熊本(た)鹿兒島(ま)宮崎(け)沖繩(も)　五月十五日迄

各府縣ノ記號ヲ有スルモノ又ハ之ノ等ノ冠字ヲ有スル貯金通帳

青森(ゑ)秋田(ふ)岩手(え)宮城(し)山形(ゆ)福島(ゐ)栃木(ゐ)茨城(ひ)群馬(き)山梨(ゆ)長野(そ)岐阜(れ)靜岡(め)三重(や)滋賀(よ)京都(も)大阪(あ)兵庫(ぬ)和歌山(さ)德島(つ)高知(ろ)香川(と)愛媛(ら)高知(く)福岡(て)佐賀(は)長崎(え)熊本(た)鹿兒島(ま)宮崎(け)沖繩(も)　五月十五日迄

各府縣ノ記號ヲ有スルモノ又ハ之ノ等ノ冠字ヲ有スル貯金通帳

前記記號ニ「臨」又ハ「臨」ヲ冠シタル貯金通帳　五月三十一日迄

千葉(を)埼玉(ま)東京(い)神奈川(り)南洋群島(ぬ)樺太(ら)富山(す)石川(か)福井(ゐ)　前記記號ニ「臨」又ハ「臨」ヲ冠シタル貯金通帳

各府縣ノ記號ヲ有スルモノ又ハ之ノ等ノ冠字ヲ有スル貯金通帳

本州、外、對馬、功勞、樺太(ら)等ノ冠字ヲ有スル貯金通帳

(樺ノ下ニいろ等ノ文字アル)臨機、動機、動金ノ記號ヲ有スル貯金通帳

千島、東、神又ハ洋ヲ冠シタル記號ヲ有スル貯金通帳

◉遞信省告示第九百六十一號

明治三十九年遞信省告示第二百六十四號市外通話區域及普通通話料中左ノ通追加シ昭和四年四月六日ヨリ之ヲ施行ス

昭和四年三月三十日

遞信大臣　久原房之助

市外通話區域　一通話時ノ普通通話料

七尾　松本間　金八十五錢
同　泊間　金四十錢
同　蔬原間　金三十五錢
同　大野(越前)間　金五十錢
同　鯖江間　金四十五錢
長能登部　東京間　金一圓二十五錢
長同　神戸(獅津)間　金一圓
同　鵜川間　金二十錢
同　柳田間　金二十五錢
同　町野間　金二十五錢
長田鶴濱　東京間　金一圓二十五錢
高濱(若狹)　金澤(加賀)間　金五十錢
武生間　金二十五錢
同　鯖江間　金二十五錢
同　龜岡間　金二十五錢
同　園部間　金二十五錢
同　篠山間　金二十五錢
長同　三田(獅津)間　金二十五錢
河和田　坪江間　金二十錢
上田　科野間　金二十五錢
同　常盤(信濃)間　金五十錢
同　宮越間　金四十五錢
同　南箕輪間　金二十五錢
同　長藤間　金二十五錢
同　西春近間　金二十五錢
同　尾島間　金二十五錢
同　堀(上野)間　金二十五錢
同　横川間　金二十五錢
同　本宿(上野)間　金二十五錢
同　一ノ宮(上野)間　金二十五錢
同　鬼石間　金二十五錢
同　駒形間　金二十五錢
同　加賀間　金四十錢
同　藤間　金四十錢
同　見付(遠江)間　金一圓
長同　黒磯間　金六十五錢
同　一宮(尾張)間　金七十五錢
同　津島間　金七十五錢
同　安濃(三河)間　金七十五錢
同　飯田(信濃)　小諸間　金六十錢
同　赤穗(信濃)　湯田中間　金四十錢
同　平出　藪原間　金十五錢
同　座光寺　上田間　金五十五錢
同　擧母間　金五十五錢
同　甲府間　金二十五錢
同　橫濱間　金四十錢
同　高田(越後)間　金六十錢
同　大阪間　金三十五錢
同　神戸(獅津)間　金九十五錢
同　豐橋間　金一圓
同　古知野間　金六十五錢
同　大阪間　金九十五錢
同　稻荷山間　金二十五錢
同　西條(信濃)間　金二十錢
上諏訪　富山(越中)間　金六十錢
同　錦都間　金二十錢
同　高家間　金二十錢
同　吉井間　金二十五錢
同　鬼石間　金二十五錢
同　玉村間　金二十五錢
同　羽生間　金四十錢
同　越ケ谷間　金五十錢
同　越ケ谷間　金四十五錢
同　館林間　金四十五錢
同　志木間　金四十五錢
同　入間川間　金五十錢
同　飯能間　金五十五錢
同　豐岡(武藏)間　金五十五錢
同　羽田間　金五十五錢
同　池上間　金五十五錢
同　玉川(武藏)間　金五十五錢
同　田園調布間　金五十五錢
同　石神井間　金五十五錢
同　練馬間　金五十五錢
同　田無間　金五十五錢
同　立川間　金五十五錢
同　澁布間　金六十錢
同　舞鳥間　金五十五錢
同　國分寺間　金五十五錢
同　東村山間　金六十錢
同　新宿間　金五十錢
同　本田間　金五十錢
同　小岩間　金五十錢
同　吉祥寺間　金五十五錢

昭和四年三月三十日印刷　昭和四年三月三十日發行
定價金拾錢（送料別）
印刷者　大藏省印刷局長　小野義一
印刷所　大藏省印刷局
發行所　大藏省印刷局
東京市芝區新錢座一番地
電話銀座（56）二五一〇番
振替口座東京六七番

第673号 本文

	同	淺川間	金六十錢
	同	荻窪間	金五十錢
	同	滯ノ口間	金五十五錢
	同	中原(武藏)間	金五十五錢
長	同	平塚間	金六十五錢
長	同	秦野間	金七十錢
	同	厚木間	金七十錢
長	同	國府津間	金七十錢
長	同	箱根宮ノ下間	金七十五錢
長	同	靜岡間	金一圓
長	同	清水(駿河)間	金九十五錢
長	同	熱海間	金八十錢
長	同	伊東間	金八十錢
長	同	三島間	金七十五錢
	同	木更津間	金六十五錢
	同	鴨川間	金八十五錢
	同	柏間	金五十五錢
	同	行德間	金五十五錢
	同	北八幡間	金五十五錢
	同	浦安間	金五十五錢
	同	石岡間	金六十五錢
長	同	福島(岩代)間	金一圓
長	同	郡山(岩代)間	金九十錢
長	同	仙臺間	金一圓二十五錢
長	同	大阪間	金一圓
長	同	神戸(攝津)間	金一圓二十五錢
	同	境(武藏)間	金五十五錢
	同	佐野(下野)間	金四十錢
	川上(信濃)	丸子間	金二十五錢
	同	東鹽田間	金二十五錢
	同	富士山間	金二十五錢
	同	上本郷間	金二十五錢
	同	西鹽田間	金二十五錢
	同	中鹽田間	金二十五錢
	同	別所間	金二十五錢
	同	浦里間	金二十五錢
	同	青木間	金二十五錢
	同	松本間	金二十五錢
	同	川邊(信濃)間	金二十五錢
	同	坂城間	金二十五錢
	同	力石間	金二十五錢
	同	戸倉間	金二十五錢
	同	上山田温泉間	金二十五錢
	同	屋代間	金二十五錢
	同	上鹽尻間	金二十五錢
	同	南條間	金二十五錢
	同	傍陽間	金二十五錢

	同	長村間	金二十五錢
	同	神科間	金二十五錢
	同	殿城間	金二十五錢
	同	大屋間	金二十五錢
	同	田中(信濃)間	金二十五錢
	同	高崎(上野)間	金二十五錢
長	同	東京間	金五十五錢
	綿内	名古屋間	金七十錢
	豐里	名古屋間	金八十錢
	同	岡谷間	金二十錢
	同	上諏訪間	金二十錢
	同	下諏訪間	金二十錢
	同	直江津間	金四十錢
	同	前橋間	金二十五錢
	岐阜	中野町間	金四十錢
	同	東郷(三河)間	金三十五錢
長	北方	大阪間	金四十五錢
長	同	神戸(攝津)間	金五十五錢
	同	敦賀間	金二十五錢
	同	岡崎間	金二十五錢
	同	豐橋間	金三十錢
長	下呂	豐橋間	金五十錢
長	同	飯田(信濃)間	金六十錢
	同	桑名間	金三十五錢
	同	四日市(伊勢)間	金四十錢
	同	津間	金五十錢
長	同	松阪間	金五十五錢
長	同	山田(伊勢)間	金六十錢
	同	半田間	金四十錢
長	同	龜崎間	金四十錢
	同	常滑間	金四十錢
長	同	松本間	金六十錢
長	同	長野(信濃)間	金九十錢
	同	布袋間	金二十五錢
	同	木曾川間	金二十五錢
	同	岩倉間	金二十五錢
	同	西春間	金二十五錢
	同	勝川間	金二十五錢
	同	安城間	金二十五錢
	同	岡崎間	金二十五錢
長	同	神戸(攝津)間	金七十錢
長	同	横濱間	金一圓二十五錢
	同	直江津間	金七十錢
	同	鏡島間	金二十五錢
	廣見	菅田(美濃)間	金二十錢
	同	苗木間	金二十錢

	同	福岡(美濃)間	金二十錢
	同	付知間	金二十錢
	同	神坂間	金二十五錢
	同	吾妻間	金二十五錢
	同	三留野間	金二十五錢
	同	高富間	金二十錢
	同	谷合間	金二十錢
	同	黒野間	金二十錢
	同	大野(美濃)間	金二十錢
	同	船木間	金二十錢
	同	大藪間	金二十錢
	同	今尾間	金二十五錢
	同	蟹江間	金二十錢
	同	横須賀(尾張)間	金二十五錢
	同	尾張大野間	金二十五錢
	同	岡田間	金二十五錢
	同	三河新川間	金二十五錢
	同	大濱(三河)間	金二十五錢
	同	高濱(三河)間	金二十五錢
	同	大高間	金二十錢
	同	天白間	金二十錢
	同	三好間	金二十錢
	同	擧母間	金二十錢
	同	足助間	金二十錢
	同	稻橋間	金二十五錢
	同	刈谷間	金二十五錢
	同	津間	金三十錢
	同	松阪間	金四十錢
	同	山田(伊勢)間	金四十五錢
	同	濱松間	金四十錢
	同	敦賀間	金四十五錢
	遠山	市之倉間	金二十錢
	同	笠原間	金十五錢
	同	妻木間	金十五錢
	同	駄知間	金十五錢
	同	廣見間	金二十錢
	同	御嵩間	金二十錢
	同	八百津間	金二十錢
	同	關間	金二十五錢
	豐橋	岩村間	金二十五錢
	同	付知間	金四十五錢
	小坂井	上諏訪間	金七十五錢
	同	福島(信濃)間	金五十五錢
	同	土岐津間	金二十五錢
	同	島田間	金二十五錢
	同	興津(駿河)間	金三十五錢
	同	大宮(駿河)間	金四十五錢

	同	三島(伊豆)間	金四十五錢
	同	堀ノ内間	金二十五錢
	蒲郡	鷲津間	金二十錢
	同	新居(遠江)間	金二十錢
	同	白須賀間	金二十錢
	同	袋井間	金二十五錢
	同	大宮(駿河)間	金四十五錢
	同	吉原間	金四十五錢
長	同	横須賀(相模)間	金七十五錢
	同	八名間	金二十錢
	同	松平間	金二十錢
	同	下之一色間	金二十五錢
	同	布袋間	金二十五錢
	同	岩倉間	金二十五錢
	同	木曾川間	金二十五錢
	同	勝川間	金二十五錢
	同	祖父江間	金二十五錢
	同	伊勢長島間	金二十五錢
	同	富田(伊勢)間	金二十五錢
	同	菰野間	金二十五錢
	同	龜山間	金三十錢
	同	六軒間	金三十五錢
	同	鏡島間	金二十五錢
	同	揖斐間	金三十錢
	同	岡谷間	金六十五錢
	同	長濱(近江)間	金四十錢
	同	米原間	金三十五錢
	御油驛前	松平間	金二十錢
	同	岩津間	金二十錢
	同	有松間	金二十錢
	同	犬山間	金二十五錢
	同	布袋間	金二十五錢
	同	古知野間	金二十五錢
	同	岩倉間	金二十五錢
	同	西春間	金二十五錢
	同	天白間	金二十五錢
	同	坂下(尾張)間	金二十五錢
	同	鳴海間	金二十五錢
	同	勝川間	金二十五錢
	同	名和間	金二十五錢
	同	尾張大野間	金二十五錢
	同	岡田間	金二十五錢
	同	常滑間	金二十五錢
	同	尾張新川間	金二十五錢
	同	清洲間	金二十五錢
	同	蟹江間	金二十五錢
	同	木曾川間	金二十五錢
	同	松本間	金六十五錢

	同	長野(信濃)間	金八十錢
	同	富田(伊勢)間	金二十五錢
	同	上野(伊賀)間	金四十錢
	同	多治見間	金二十五錢
	同	中津(美濃)間	金三十五錢
	同	長濱(近江)間	金四十錢
	同	新居(遠江)間	金二十錢
	同	鷲津間	金十五錢
	同	新所間	金十五錢
	同	森町間	金二十五錢
	同	掛川間	金二十五錢
	同	見付(遠江)間	金二十五錢
	同	岩淵間	金四十錢
	同	島田間	金二十五錢
	同	沼津間	金四十五錢
長	同	伊東間	金五十五錢
	同	大森(武藏)間	金八十錢
	同	甲府間	金七十錢
長	形原	神戸(攝津)間	金八十錢
	同	敦賀間	金五十五錢
	同	松阪間	金五十錢
	同	龜崎間	金十五錢
	同	大濱(三河)間	金十五錢
	同	尾張大野間	金二十錢
	同	一宮(尾張)間	金二十五錢
	同	多治見間	金二十五錢
	同	足助間	金二十錢
	同	新城間	金二十錢
	吉田(三河)	長野(信濃)間	金八十錢
長	同	下麻生間	金二十五錢
	同	土岐津間	金二十五錢
	同	上野(伊賀)間	金四十錢
	同	福島(信濃)間	金五十錢
	同	岡谷間	金七十錢
	同	長濱(近江)間	金二十五錢
	石野	松平間	金十錢
	同	下山間	金十錢
	同	岩津間	金十五錢
	同	上郷間	金十五錢
	同	濱松間	金二十五錢
	同	蒲郡間	金二十錢
	同	六ツ美間	金二十錢
	同	福岡(三河)間	金二十錢
	同	幸田間	金二十錢
	同	宮崎(三河)間	金二十錢
	同	豐富間	金二十錢
	同	藤川間	金二十錢

	同	稻橋間	金二十錢
	同	犬山間	金二十錢
	同	西春間	金二十錢
	同	布袋間	金二十錢
	同	常滑間	金二十五錢
	同	大高間	金二十錢
	同	岡田間	金二十錢
	同	尾張大野間	金二十錢
	同	名和間	金二十錢
	同	横須賀(尾張)間	金二十錢
	同	下之一色間	金二十錢
	同	尾張新川間	金二十錢
	同	清洲間	金二十錢
	同	有松間	金二十錢
	同	古知野間	金二十錢
	同	中牧間	金二十錢
	同	勝川間	金二十錢
	同	大垣間	金二十五錢
	同	笠松間	金二十五錢
	同	岐阜間	金二十五錢
	同	瑞浪間	金二十錢
	同	四日市(伊勢)間	金二十五錢
	同	桑名間	金二十五錢
	同	山田(伊勢)間	金五十錢
	同	松本間	金七十錢
	同	福島(信濃)間	金二十五錢
	龜崎	二川間	金二十五錢
	同	赤坂間	金二十五錢
	同	揖斐間	金二十五錢
	同	岩村間	金二十五錢
	同	一身田間	金三十錢
	同	龜山間	金二十五錢
	同	菰野間	金二十五錢
	同	二見間	金四十錢
	同	海老間	金二十五錢
	同	篠ノ井間	金七十錢
	同	須坂間	金七十五錢
	同	岡谷間	金六十錢
	同	上諏訪間	金六十五錢
長	同	小諸間	金八十錢
長	同	宇都宮間	金一圓
	同	下諏訪間	金六十錢
長	同	仙臺間	金一圓五十錢
	同	中野町間	金二十五錢
	同	中泉間	金二十五錢
	同	掛川間	金三十錢
	同	藤枝間	金四十錢

長	同	小田原間	金七十五錢
長	同	横須賀(相模)間	金八十五錢
長	同	堺間	金六十五錢
長	同	奈良間	金四十五錢
長	同	和歌山間	金八十錢
長	同	大津(近江)間	金四十五錢
	同	米原間	金二十五錢
	同	小濱(若狹)間	金五十五錢
	同	鯖江間	金五十錢
長	同	富山(越中)間	金八十五錢
長	同	伏木間	金八十錢
長	同	七尾間	金八十五錢
	知立	武豐間	金十五錢
	同	河和間	金二十錢
	同	內海(尾張)間	金二十錢
	同	小鈴谷間	金二十錢
	同	野間間	金二十錢
	同	師崎間	金二十錢
	同	豐濱(尾張)間	金二十錢
	同	鷲塚間	金十錢
	同	新堂間	金三十錢
	同	佐那具間	金三十錢
	扶桑	北方(美濃)間	金十五錢
	同	土岐津間	金二十錢
	同	瑞浪間	金二十錢
	同	八百津間	金二十錢
	同	大井(美濃)間	金二十五錢
	同	新城(三河)間	金二十五錢
	同	擧母間	金二十錢
	同	足助間	金二十五錢
	同	高濱(三河)間	金二十五錢
	同	西尾間	金二十五錢
	同	三河新川間	金二十五錢
	同	大濱(三河)間	金二十五錢
	同	稻橋間	金二十五錢
	同	安城間	金二十五錢
	同	蒲郡間	金二十五錢
	同	木曾川間	金十錢
	同	起間	金十五錢
	同	福島(信濃)間	金二十五錢
	同	松本間	金六十錢
	同	岡谷間	金六十五錢
	同	飯田(信濃)間	金四十五錢
	同	長野(信濃)間	金七十五錢
	同	富田(伊勢)間	金二十五錢
	同	松阪間	金三十錢

	同	上野(伊賀)間	金二十五錢
	同	金澤(加賀)間	金七十錢
	同	敦賀間	金二十五錢
	同	長濱(近江)間	金二十五錢
長	同	東京間	金一圓
長	同	横濱間	金一圓
	同	濱松間	金四十錢
	同	靜岡間	金六十錢
長	同	大阪間	金五十錢
長	同	神戸(攝津)間	金六十錢
	大湊(伊勢)	天下茶屋間	金五十錢

◎遞信省告示第九百六十二號

海軍省所管周防灘徳山灣外三田尻沖浮標(昭和四年二月遞信省告示第四百二十九號參照)ハ昭和四年三月二十三日撤去ノ旨同省ヨリ通知アリタリ

昭和四年三月三十日　遞信大臣　久原房之助

◎遞信省告示第九百六十三號

昭和四年四月十一日ヨリ左記郵便局ヲ改稱シ郵便物集配事務ヲ開始ス

昭和四年三月三十日　遞信大臣　久原房之助

現名稱	改稱	位置
網干驛前郵便局	高田(タカタ)郵便局	兵庫縣揖保郡旭陽村

◎遞信省告示第九百六十四號

大正四年勅令第二百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記郵便取扱所ヲ三等郵便局ニ改定ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

昭和四年三月三十日　遞信大臣　久原房之助

名稱	位置	改定名稱
阿多田島郵便取扱所	廣島縣佐伯郡小方村大字小方字阿多田島	阿多田島郵便局
木野山郵便取扱所	岡山縣上房郡津川村	木野山郵便局

◎遞信省告示第九百六十五號

大正四年勅令第二百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記郵便取扱所ヲ設置ス

昭和四年三月三十日　遞信大臣　久原房之助

◎逓信省告示第九百六十六號

昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
當麻郵便所	奈良縣北葛城郡當麻村大字當麻

◎逓信省告示第九百六十七號

昭和四年四月一日ヨリ左記ニ等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
現名稱	現在位置
改稱後名稱	改稱後位置
久原房之助	逓信大臣

◎逓信省告示第九百六十八號

昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
秋中郵便局	秋田縣北秋田郡綴子村大字秋中字本郷

◎逓信省告示第九百六十九號

大正四年勅令第三百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物ノ集配事務ヲ取扱ハス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
大和郵便取扱所	和田山驛吉部郵便局

◎逓信省告示第九百七十號

昭和四年三月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信電話ノ取扱ヲ開始シ電信規則第百五十二條ニ依ル電報加入者ノ記送電報ヲ取扱フ

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置	改定名稱
生居郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字生萱村	坂城郵便局

◎逓信省告示第九百七十一號

大正四年勅令第三百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物ノ集配事務ヲ取扱ハス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
三ツ屋郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字南條村

◎逓信省告示第九百七十二號

大正四年勅令第三百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記郵便取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置	改定名稱
上活郵便取扱所	秋田縣北秋田郡阿仁村大字上杉字活利	上活郵便局

◎逓信省告示第九百七十三號

大正四年勅令第三百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記郵便取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
三ツ屋郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字南條村

◎逓信省告示第九百七十四號

昭和四年三月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信電話ノ取扱ヲ開始シ電信規則第百五十二條ニ依ル電報加入者ノ記送電報ヲ取扱フ

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
長野縣埴科郡坂城町大字生萱村	坂城郵便局

◎逓信省告示第九百七十五號

昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物ノ集配事務ヲ取扱ハス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
秋中郵便局	秋田縣北秋田郡綴子村大字秋中字本郷

◎逓信省告示第九百七十六號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百七十五號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
當麻郵便局	奈良縣北葛城郡當麻村大字當麻

◎逓信省告示第九百七十七號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百七十一號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
三ツ屋郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字南條村

◎逓信省告示第九百七十八號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百七十二號ニ依リ開設シタル左記郵便取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
上活郵便取扱所	秋田縣北秋田郡阿仁村大字上杉字活利

◎逓信省告示第九百七十九號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百七十三號ニ依リ開設シタル左記郵便取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
生居郵便取扱所	長野縣埴科郡坂城町大字生萱村

◎逓信省告示第九百八十號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百七十四號ニ依リ開設シタル左記電信電話取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
長野縣埴科郡坂城町大字生萱村	坂城郵便局

◎逓信省告示第九百八十一號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百七十五號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
當麻郵便局	奈良縣北葛城郡當麻村大字當麻

◎逓信省告示第九百八十二號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百七十六號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
秋中郵便局	秋田縣北秋田郡綴子村大字秋中字本郷

◎逓信省告示第九百八十三號

大正四年勅令第三百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物ノ集配事務ヲ取扱ハス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
大和郵便取扱所	和田山驛吉部郵便局

◎逓信省告示第九百八十四號

昭和四年三月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信電話ノ取扱ヲ開始シ電信規則第百五十二條ニ依ル電報加入者ノ記送電報ヲ取扱フ

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
生居郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字生萱村

◎逓信省告示第九百八十五號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百七十七號ニ依リ開設シタル左記郵便取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
三ツ屋郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字南條村

◎逓信省告示第九百八十六號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百七十八號ニ依リ開設シタル左記郵便取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
上活郵便取扱所	秋田縣北秋田郡阿仁村大字上杉字活利

◎逓信省告示第九百八十七號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百七十九號ニ依リ開設シタル左記郵便取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
生居郵便取扱所	長野縣埴科郡坂城町大字生萱村

◎逓信省告示第九百八十八號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百八十號ニ依リ開設シタル左記電信電話取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
長野縣埴科郡坂城町大字生萱村	坂城郵便局

◎逓信省告示第九百八十九號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百八十一號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
當麻郵便局	奈良縣北葛城郡當麻村大字當麻

◎逓信省告示第九百九十號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百八十二號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
秋中郵便局	秋田縣北秋田郡綴子村大字秋中字本郷

◎逓信省告示第九百九十一號

大正四年勅令第三百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物ノ集配事務ヲ取扱ハス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
大和郵便取扱所	和田山驛吉部郵便局

◎逓信省告示第九百九十二號

昭和四年四月一日ヨリ左記郵便局ニ電信電話ノ取扱ヲ開始シ電信規則第百五十二條ニ依ル電報加入者ノ記送電報ヲ取扱フ

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
生居郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字生萱村

◎逓信省告示第九百九十三號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百八十三號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
三ツ屋郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字南條村

◎逓信省告示第九百九十四號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百八十四號ニ依リ開設シタル左記電信電話取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
長野縣埴科郡坂城町大字生萱村	坂城郵便局

◎逓信省告示第九百九十五號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百八十五號ニ依リ開設シタル左記郵便取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
上活郵便取扱所	秋田縣北秋田郡阿仁村大字上杉字活利

◎逓信省告示第九百九十六號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百八十六號ニ依リ開設シタル左記郵便取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
生居郵便取扱所	長野縣埴科郡坂城町大字生萱村

◎逓信省告示第九百九十七號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百八十七號ニ依リ開設シタル左記電信電話取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
長野縣埴科郡坂城町大字生萱村	坂城郵便局

◎逓信省告示第九百九十八號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百八十八號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
當麻郵便局	奈良縣北葛城郡當麻村大字當麻

◎逓信省告示第九百九十九號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百八十九號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
秋中郵便局	秋田縣北秋田郡綴子村大字秋中字本郷

◎逓信省告示第千號

大正四年勅令第三百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物ノ集配事務ヲ取扱ハス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
大和郵便取扱所	和田山驛吉部郵便局

◎逓信省告示第千一號

昭和四年四月一日ヨリ左記郵便局ニ電信電話ノ取扱ヲ開始シ電信規則第百五十二條ニ依ル電報加入者ノ記送電報ヲ取扱フ

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
生居郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字生萱村

◎逓信省告示第千二號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百九十號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
當麻郵便局	奈良縣北葛城郡當麻村大字當麻

◎逓信省告示第千三號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百九十一號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
秋中郵便局	秋田縣北秋田郡綴子村大字秋中字本郷

◎逓信省告示第千四號

大正四年勅令第三百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物ノ集配事務ヲ取扱ハス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
大和郵便取扱所	和田山驛吉部郵便局

◎逓信省告示第千五號

昭和四年四月一日ヨリ左記郵便局ニ電信電話ノ取扱ヲ開始シ電信規則第百五十二條ニ依ル電報加入者ノ記送電報ヲ取扱フ

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
生居郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字生萱村

◎逓信省告示第千六號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百九十二號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
三ツ屋郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字南條村

◎逓信省告示第千七號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百九十三號ニ依リ開設シタル左記電信電話取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
長野縣埴科郡坂城町大字生萱村	坂城郵便局

◎逓信省告示第千八號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百九十四號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
當麻郵便局	奈良縣北葛城郡當麻村大字當麻

◎逓信省告示第千九號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百九十五號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
秋中郵便局	秋田縣北秋田郡綴子村大字秋中字本郷

◎逓信省告示第千十號

大正四年勅令第三百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物ノ集配事務ヲ取扱ハス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
大和郵便取扱所	和田山驛吉部郵便局

◎逓信省告示第千一號

昭和四年四月一日ヨリ左記郵便局ニ電信電話ノ取扱ヲ開始シ電信規則第百五十二條ニ依ル電報加入者ノ記送電報ヲ取扱フ

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
生居郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字生萱村

◎逓信省告示第千二號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百九十六號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
三ツ屋郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字南條村

◎逓信省告示第千三號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百九十七號ニ依リ開設シタル左記電信電話取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
長野縣埴科郡坂城町大字生萱村	坂城郵便局

◎逓信省告示第千四號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百九十八號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
當麻郵便局	奈良縣北葛城郡當麻村大字當麻

◎逓信省告示第千五號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第九百九十九號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
秋中郵便局	秋田縣北秋田郡綴子村大字秋中字本郷

◎逓信省告示第千六號

大正四年勅令第三百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物ノ集配事務ヲ取扱ハス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
大和郵便取扱所	和田山驛吉部郵便局

◎逓信省告示第千七號

昭和四年四月一日ヨリ左記郵便局ニ電信電話ノ取扱ヲ開始シ電信規則第百五十二條ニ依ル電報加入者ノ記送電報ヲ取扱フ

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
生居郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字生萱村

◎逓信省告示第千八號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
三ツ屋郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字南條村

◎逓信省告示第千九號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千一號ニ依リ開設シタル左記電信電話取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
長野縣埴科郡坂城町大字生萱村	坂城郵便局

◎逓信省告示第千十號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千二號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
當麻郵便局	奈良縣北葛城郡當麻村大字當麻

◎逓信省告示第千十一號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千三號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
秋中郵便局	秋田縣北秋田郡綴子村大字秋中字本郷

◎逓信省告示第千十二號

大正四年勅令第三百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物ノ集配事務ヲ取扱ハス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
大和郵便取扱所	和田山驛吉部郵便局

◎逓信省告示第千十三號

昭和四年四月一日ヨリ左記郵便局ニ電信電話ノ取扱ヲ開始シ電信規則第百五十二條ニ依ル電報加入者ノ記送電報ヲ取扱フ

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
生居郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字生萱村

◎逓信省告示第千十四號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千四號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
三ツ屋郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字南條村

◎逓信省告示第千十五號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千五號ニ依リ開設シタル左記電信電話取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
長野縣埴科郡坂城町大字生萱村	坂城郵便局

◎逓信省告示第千十六號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千六號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
當麻郵便局	奈良縣北葛城郡當麻村大字當麻

◎逓信省告示第千十七號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千七號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
秋中郵便局	秋田縣北秋田郡綴子村大字秋中字本郷

◎逓信省告示第千十八號

大正四年勅令第三百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物ノ集配事務ヲ取扱ハス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
大和郵便取扱所	和田山驛吉部郵便局

◎逓信省告示第千十九號

昭和四年四月一日ヨリ左記郵便局ニ電信電話ノ取扱ヲ開始シ電信規則第百五十二條ニ依ル電報加入者ノ記送電報ヲ取扱フ

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
生居郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字生萱村

◎逓信省告示第千二十號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千八號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
三ツ屋郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字南條村

◎逓信省告示第千二十一號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千九號ニ依リ開設シタル左記電信電話取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
長野縣埴科郡坂城町大字生萱村	坂城郵便局

◎逓信省告示第千二十二號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千十號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
當麻郵便局	奈良縣北葛城郡當麻村大字當麻

◎逓信省告示第千二十三號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千十一號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
秋中郵便局	秋田縣北秋田郡綴子村大字秋中字本郷

◎逓信省告示第千二十四號

大正四年勅令第三百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物ノ集配事務ヲ取扱ハス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
大和郵便取扱所	和田山驛吉部郵便局

◎逓信省告示第千二十五號

昭和四年四月一日ヨリ左記郵便局ニ電信電話ノ取扱ヲ開始シ電信規則第百五十二條ニ依ル電報加入者ノ記送電報ヲ取扱フ

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
生居郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字生萱村

◎逓信省告示第千二十六號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千十二號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
三ツ屋郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字南條村

◎逓信省告示第千二十七號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千十三號ニ依リ開設シタル左記電信電話取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
長野縣埴科郡坂城町大字生萱村	坂城郵便局

◎逓信省告示第千二十八號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千十四號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
當麻郵便局	奈良縣北葛城郡當麻村大字當麻

◎逓信省告示第千二十九號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千十五號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
秋中郵便局	秋田縣北秋田郡綴子村大字秋中字本郷

◎逓信省告示第千三十號

大正四年勅令第三百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物ノ集配事務ヲ取扱ハス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
大和郵便取扱所	和田山驛吉部郵便局

◎逓信省告示第千三十一號

昭和四年四月一日ヨリ左記郵便局ニ電信電話ノ取扱ヲ開始シ電信規則第百五十二條ニ依ル電報加入者ノ記送電報ヲ取扱フ

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
生居郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字生萱村

◎逓信省告示第千三十二號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千十六號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
三ツ屋郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字南條村

◎逓信省告示第千三十三號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千十七號ニ依リ開設シタル左記電信電話取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
長野縣埴科郡坂城町大字生萱村	坂城郵便局

◎逓信省告示第千三十四號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千十八號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
當麻郵便局	奈良縣北葛城郡當麻村大字當麻

◎逓信省告示第千三十五號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千十九號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
秋中郵便局	秋田縣北秋田郡綴子村大字秋中字本郷

◎逓信省告示第千三十六號

大正四年勅令第三百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物ノ集配事務ヲ取扱ハス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
大和郵便取扱所	和田山驛吉部郵便局

◎逓信省告示第千三十七號

昭和四年四月一日ヨリ左記郵便局ニ電信電話ノ取扱ヲ開始シ電信規則第百五十二條ニ依ル電報加入者ノ記送電報ヲ取扱フ

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
生居郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字生萱村

◎逓信省告示第千三十八號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千二十號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
三ツ屋郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字南條村

◎逓信省告示第千三十九號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千二十一號ニ依リ開設シタル左記電信電話取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
長野縣埴科郡坂城町大字生萱村	坂城郵便局

◎逓信省告示第千四十號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千二十二號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
當麻郵便局	奈良縣北葛城郡當麻村大字當麻

◎逓信省告示第千四十一號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千二十三號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
秋中郵便局	秋田縣北秋田郡綴子村大字秋中字本郷

◎逓信省告示第千四十二號

大正四年勅令第三百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物ノ集配事務ヲ取扱ハス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
大和郵便取扱所	和田山驛吉部郵便局

◎逓信省告示第千四十三號

昭和四年四月一日ヨリ左記郵便局ニ電信電話ノ取扱ヲ開始シ電信規則第百五十二條ニ依ル電報加入者ノ記送電報ヲ取扱フ

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
生居郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字生萱村

◎逓信省告示第千四十四號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千二十四號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
三ツ屋郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字南條村

◎逓信省告示第千四十五號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千二十五號ニ依リ開設シタル左記電信電話取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
長野縣埴科郡坂城町大字生萱村	坂城郵便局

◎逓信省告示第千四十六號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千二十六號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
當麻郵便局	奈良縣北葛城郡當麻村大字當麻

◎逓信省告示第千四十七號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千二十七號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
秋中郵便局	秋田縣北秋田郡綴子村大字秋中字本郷

◎逓信省告示第千四十八號

大正四年勅令第三百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物ノ集配事務ヲ取扱ハス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
大和郵便取扱所	和田山驛吉部郵便局

◎逓信省告示第千四十九號

昭和四年四月一日ヨリ左記郵便局ニ電信電話ノ取扱ヲ開始シ電信規則第百五十二條ニ依ル電報加入者ノ記送電報ヲ取扱フ

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
生居郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字生萱村

◎逓信省告示第千五十號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千二十八號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
三ツ屋郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字南條村

◎逓信省告示第千五十一號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千二十九號ニ依リ開設シタル左記電信電話取扱所ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
長野縣埴科郡坂城町大字生萱村	坂城郵便局

◎逓信省告示第千五十二號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千三十號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
當麻郵便局	奈良縣北葛城郡當麻村大字當麻

◎逓信省告示第千五十三號

昭和四年四月一日ヨリ大正十五年逓信省告示第千三十一號ニ依リ開設シタル左記三等郵便局ヲ廃止ス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
秋中郵便局	秋田縣北秋田郡綴子村大字秋中字本郷

◎逓信省告示第千五十四號

大正四年勅令第三百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和四年四月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物ノ集配事務ヲ取扱ハス

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
大和郵便取扱所	和田山驛吉部郵便局

◎逓信省告示第千五十五號

昭和四年四月一日ヨリ左記郵便局ニ電信電話ノ取扱ヲ開始シ電信規則第百五十二條ニ依ル電報加入者ノ記送電報ヲ取扱フ

昭和四年三月二十日

逓信大臣　久原房之助

名稱	位置
生居郵便局	長野縣埴科郡坂城町大字生萱村

◎逓信省告示第千五十

	上海級	香港級	倫敦級	太平洋線
Guam(グアム)	○•五四	○•三四	—	○•四二 ○•四二
Midway(ミッドウェー)	一•一四	一•一四	—	○•五五 ○•五五
Hawaii(ハワイ)				
Honolulu(ホノルル)	一•四〇	一•四〇	—	○•六八 ○•六八
Other places(其ノ他各地)	一•〇六	一•〇六	—	一 —
Africa(亞弗利加地方)				
Kenya(ケニヤ) / Uganda(ユガンダ)	一•六八	一•五八	一•〇四	一•一四 一•一四
Lourenço Marques(ローレンソ・マルケス) / Mozambique(モザンビック)	一•三八	一•一二	一•九四	一•一九 一•一四
Madagascar(マダガスカル) / Comoro Islands(「コモロ」諸島)	一•三四	一•一二	一•九九	一•一四 一•一四
Zanzibar(ザンジバール)	一•三八	一•一七	一•八四	一•一四 一•一四
Algeria(アルジェリア) / Tangier(タンジール) / Tripoli(トリポリ) / Tunis(「チュニス」國)	一•四〇	一•四〇	一•四〇	〇•八八 〇•八八
Egypt 1st Region(「エジプト」國第一區)	一•三四	一•一七	一•一七	一•一九 一•〇九
Egypt 2nd Region(「エジプト」國第二區)	一•三八	一•一七	一•一七	一•一四 一•一四
Egypt 3rd Region(「エジプト」國第三區)	一•三四	一•一七	一•一四	一•一九 一•〇九
Aden(亞丁) / Perim(ペリム)	一•一七	一•〇九	一•八四	一•一四 一•〇四
Djibouti(ジブーチ)	一•四四	一•三八	一•四四	— —
Erytbrea(エリトリア)	一•三五	一•一七	一•八八	一•一九 一•一九
Union of South Africa(南阿聯邦)	一•三八	一•一七	一•〇九	一•一四 一•一四
Europe(歐羅巴地方)				
Russia in Europe and Caucasus(歐羅巴「ロシア」及「コーカサス」)	— —	—	〇•四五	— — —
Russia in Europe and Caucasus(Via Teheran)(「テヘラン」經由)	一•六〇	一•六〇	—	— — — —
Other countries(其ノ他各國)	一•四〇	一•四〇	一•四〇	〇•五五 〇•五五 〇•八八 〇•八八
America(亞米利加地方)				
United States(米國)				
California(カリフォルニヤ) / Alameda(アラメダ) / Berkeley(バークレー) / East Oakland(イースト・オークランド) / Oakland(オークランド) / San Francisco(桑港)	一•三八	一•〇一	〇•三五	〇•六四 太•一四 — 一•一九 一•〇九
Other places(其ノ他各地)	一•三八	一•一二	—	— 太•一四 太•〇八 一•一九 一•〇九
Arizona(アリゾナ) / Idaho(アイダホ) / Nevada(ネバダ) / Oregon(オレゴン) / Utah(ユタ) / Washington(ワシントン)	一•三八	一•一二	—	— 太•一四 太•〇八 一•一九 一•〇九
Colorado(コロラド) / Kansas(カンサス) / Montana(モンタナ) / Nebraska(ネブラスカ) / New Mexico(ニュー・メキシコ) / North Dakota(北ダコタ) / South Dakota(南ダコタ) / Wyoming(ワイオミング)	一•三四	一•一七	—	— 太•一八 太•一四 一•一九 一•〇九
Alabama(アラバマ) / Illinois(イリノイス) / Indiana(インディアナ) / Kentucky(ケンタッキー) / Michigan(ミシガン) / Mississippi(ミシシッピ) / Ohio(オハイオ) / Tennessee(テネシー) / Wisconsin(ウイスコンシン)	一•三八	一•一二	〇•八八	〇•八八 太•一四 太•一四 一•一四 一•一四
Arkansas(アルカンサス) / Iowa(アイオワ) / Oklahoma(オクラホマ) / Texas(テキサス)	一•三四	一•一二	—	— 太•一八 太•一八 一•一九 一•一四
Louisiana(ルイジアナ) / New Orleans(ニューオリーンズ)	一•三八	一•一二	—	— 太•一四 太•一八 一•一四 一•一四

	上海級	香港級	倫敦級	太平洋線
Other places(其ノ他各地)	一•三四	一•一二	—	— 太•一八 太•一八 一•一九 一•一四
Minnesota(ミネソタ) / Duluth(ダルース) / Minneapolis(ミネアポリス) / St. Paul(セント・ポール) / Stockyards(スタックヤーズ) / Winona(ワイノナ)	一•三四	一•一二	—	— 太•一四 太•一八 一•一四 一•一四
Other places(其ノ他各地)	一•三四	一•一二	—	— 太•一八 太•一八 一•一九 一•一四
Missouri(ミズーリ) / St. Louis(セント・ルイス)	一•三八	一•一二	—	— 太•一四 太•一八 一•一四 一•一四
Other places(其ノ他各地)	一•三四	一•一二	—	— 太•一八 太•一八 一•一九 一•一四
Columbia District(コロンビア・ディストリクト) / Connecticut(コネチカット) / Delawere(デラウエー) / Maine(メイン) / Maryland(メリーランド) / Massachusetts(マッサチューセッツ) / New Hampshire(ニュー・ハンプシャー) / New Jersey(ニュー・ジャージー) / New York(紐育) / Pennsylvania(ペンシルヴェニヤ) / Rhode Island(ロード・アイランド) / Vermont(ヴァーモント)	一•三七	一•一七	〇•三五	〇•八四 太•一四 太•三三 一•一四 一•一四
Georgia(ジョージヤ) / North Carolina(北カロライナ) / South Carolina(南カロライナ) / Virginia(ヴァージニヤ) / West Virginia(西「ヴァージニヤ」)	一•三八	一•一二	—	— 太•一四 太•一四 一•一四 一•一四
Florida(フロリダ)				
Key West(キー・ウエスト)	一•三八	一•一二	—	— 太•一四 太•一八 一•一九 一•一四
Pensacola(ペンサコラ)	一•三八	一•一二	—	— 太•一三 太•一三 一•一四 一•一四
Other places(其ノ他各地)	一•三四	一•一二	—	— 太•一八 太•一八 一•一九 一•一四
Canada(カナダ)				
British Columbia(ブリチッシュ・コロンビア)				
Vancouver(バンクーバー) / Victoria(ビクトリア)	一•三八	一•一一	〇•三五	〇•八八 太•一四 太•一八 一•一九 一•〇九
Ontario(オンタリオ) / Quebec(ケベック)	一•一七	一•一七	—	— 太•三四 太•三四 一•一四 一•一九
Mexico(「メキシコ」國)	一•三八	一•一四	—	— 太•一四 — 一•三四 一•一九
Argentine Republic(「アルゼンチン」國)	一•四〇	一•四〇	—	— — — 一•七〇 一•七〇
Bolivia(「ボリビア」國)（海線ノミ）	二•六一	二•六一	—	— 一•八一 一•八一
Chili(「チリ」國) / Paraguay(「パラグアイ」國)	二•四〇	二•四〇	—	— — — 一•七〇 一•七〇
Uruguay(「ウルグアイ」國)	二•六一	二•六一	—	— — — 一•八一 一•八一
Peru(「ペルー」國) / El Encanto(エル・エンカント) / Leticia(レティシア) / Iquitos(イキトス) / Masisea(マシセー) / Puerto Maldonado(プエルト・マルドナード)	二•六七	二•六七	—	— — — — —
Other places(其ノ他各地)	二•六一	二•六一	—	— — — 一•八一 一•八一
Brazil(「ブラジル」國) / Pernambuco(パーナンブコ)	二•三五	二•三五	—	— — — 一•三五 一•三五
Rio de Janeiro(リオ・デ・ジャネロ) / Santos(サントス) / Sao Poulo(サンパウロ)	二•三〇	二•三〇	—	— — — 一•三五 一•三五

若信地名	通常電報	新聞電報	一語至急電報	夜間電報
All Countries, excluding China(各國ノ支部ヲ除ク)	各種共至急扱ヲ要スル一語ニ付ヲ以テ			
China(支那國)	普通語	電報略語及支那語	支那語	欧文
Shangtung Province(山東省)				
Chefoo, excluding the Japanese Station(芝罘ヲ除ク)	〇•〇七	〇•一一	〇•〇三	〇•〇六
Other Stations(其ノ他各局)	〇•一一	〇•一一	〇•〇三	〇•〇六
Outer Mongolia(外蒙古)				
Urga(庫倫) / Tuerin(哲林) / Udde(烏得) / Mamachen(恰克圖)	〇•一七	〇•一七	—	—
Other Provinces, excluding Japanese Stations(其ノ他各省ノ各局ヲ除ク)	〇•一一	〇•一一	〇•〇三	〇•〇六

（Via Kalgan 張家口經由）

備考

一、京奉線通及東支線通所屬局所電報ハ滿洲內陸線ニ通ジ一語ニ付大連至滿洲里間普通線ノ料金ヲ徵收スルモノトス

一、京奉線通及東支線通ノ各所屬局所電報ハ料金ニ一般支那局所ノモノニ同シ

上海、福州、廈門又ハ香港線

	普通支那語	暗語支那文
Amoy（廈門）	○、二一	○、四二
Foochow（福州）		
Hongkong（香港）	○、一一	○、二二

備考

上海香港間海底線ニ依リ廈門、福州又ハ香港經由支那各地ニ發シ又ハ香港ニ着スル電報ニ對シテハ前記料金ヲ適用ス

Manila（馬尼剌）　○、三〇　○、五一

◎鐵道省告示第四十八號

大正十五年七月鐵道省告示第百二十三號國有鐵道貨物運送規則別表貨物特定賃率表省線內及省線ト連帶線間發著ノ部中「三月末日」ヲ「九月末日」ニ改ム

昭和四年三月三十日

鐵道大臣　小川　平吉

正誤

一昨二十八日遞信省告示第九百二十號中「同　池部田間」ハ「同　池新田間」「同第九百二十三號中七一頁二段「同　栗津間」ハ「同　栗津間」ノ誤モ訂正

遞信書記官

會計規則第一條ノ分ハ衍

本月二十六日遞信省告示第八百七十九號八號中「（八百メートル）」ハ「（八百メートル）」同二十七日官報號外公布雜第一〇頁四段終ヨリ九行總額ノ前ニ「土崎港修築費」ノ一行ヲ脫ス二一頁二段三行第一項ノ下「其他工業費」ハ「林務署同雜算外國庫ノ負擔トナルベキ契約三百一段二十六行「對馬間」ハ「對馬間」一昨二十八日公布勅令第十二號七行「內務屬」ハ「內務屬」ニ昨二十九日司法省令第七號中七六頁一段終ヨリ十五行「姉小路通」ハ「六角猪熊町」同四段終ヨリ十五行「菊水鉾町」ハ「菊水鉾町」七九七頁一段九行「具屋町」ハ「具屋町」ノ誤モ訂正又本月二十七日官報號外公布雜第一〇頁一段昭和十三年度ノ下「七、二七八、〇五〇〇」ノ「、〇〇〇」ハ「、二〇〇」ニ頁二段第十七項ノ下公學校ノ校ノ字同三段第六項ノ下臺北市ノ臺ノ字昨二十九日公布同七九一頁四段第二十六項ノ下工水害復舊費ノ工ノ字ハ就モ印刷不鮮明ノ分モアルヘシ

敍任及辭令

◎昭和四年二月十五日

正七位勳五等　井上　騰

同　岡部四郎次

正七位　中村伊勢次

正七位勳六等　青柳　綠

正七位勳四等功七級　飯沼　良雄

正七位勳五等　中島　鉄次

同　金子　藤吾

正七位　大橋　福松

同　大野　勵

同　天野　忠延

同　江本良之助

同　波多野政江

同　阿部　二

同　中井禰五郎

同　牛井美佐雄

同　石井　幸一

同　佐々木　榮

同　高田　テツ

同　淺尾　正一

同　長尾　利八

同　土屋岐藏坐

同　小川和三郎

正七位勳六等　岩名　昇

正七位　沼野敬之助

同　笹本　正文

同　歌原　定一

同　森田　鹿藏

同　若林喜三郎

同　山本秋三郎

同　上野　端彦

同　豊田　政雄

同　柴田　顯正

同　今中　公次

同　小寺　衛郎

正七位勳七等　藤村直之助

正七位　佐野　秀俊

同　久保田藤市

同　佐藤　泉士

同　三好　義利

正七位勳六等　中島小太郎

正七位　藏田美知雄

同　池田　齊一

同　三好　利一

同　熊谷　三善

同　佐藤　寺本太十郎

同　増山　明

同　井元　正弘

同　北村　丘

同　松崎　實次

同　德增榮太郎

同　淺羽隆太郎

同　吉峰　弘造

同　吉松　駿一

同　平井　敬藏

同　北川松之助

同　枝本　勇雄

同　池田　英苗

同　伊橋　英

同　服部　鼎

同　荒木　俊馬

同　片桐　英郎

同　越野　兵吉

同　宇佐美周紫

同　小林平左衛門

同　田邊　勝正

同　坂田　英一

同　浦壁　國雄

同　中村久太郎

同　金築　妙峰

同　宮川　武

同　阪部　由松

同　森本　義夫

同　立川　仲藏

正七位勳六等林　通治

正七位　武田　七郎

同　鴛海　文彥

同　安島　弘

同　石野　悌

同　新田　起三

同　米谷　昇平

同　板谷　貞助

同　鈴木憲次郎

同　富樫　甫

同　善方　正夫

同　佐藤　戈止

同　塩谷　安喜

同　妹川　武人

同　潔

正七位勳七等　岩崎　清藏

同　薙川　清藏

正七位　本郷　肅

同　遠藤　武

同　岡田　元

同　西島　龍

同　大石　卓壽

同　久保昱二郎

同　稻村　テイ

同　上垣　淳造

同　水谷　年恵

同　木村源三郎

同　田中　勝巳

同　萩山　範二

同　藤本　永三

同　淺見信次良

同　堀江　邑一

同　福田　郁三

同　東畑　精一

同　中村　茂守

同　松井　省吾

敍從六位

同　堀尾　正朔

同　中原　重樹

同　大井與三郎

同　平岡　保

同　堀　良磨

同　菊池　繁雄

同　丸山　秀雄

同　木地音次郎

同　北篤　君三

同　大島　永明

同　中村　幸八

同　稻見　愼一

同　小倉　正

同　河石九二夫

同　人見　傳藏

正七位勳五等　秋冨　金藏

同　宮田　晉策

正七位　堀田　一雄

從七位勳六等　西村　英一

同　山中　春作

同　堤　房吉

從七位勳八等　平山　集雄

從七位勳六等　石倉　傳次

從七位勳八等　加藤　弘一

從七位勳七等　島崎　常雄

同　河村　市藏

同　堤　衆太郎

同　新生　國若

同　中島　猪作

同　野邊　由己

同　松崎卓太郎

同　後藤榮次郎

同　廣瀨勝次郎

同　帆北　英助

同　照屋　清光

從七位勳八等　吉川順次郎

同　芦田五市郎

從七位勳七等　井手口愛造

同　船谷新一郎

同　大石　時造

同　結綠　龜市

同　戸澤　富重

同　從七位勳八等　野上庄次郎

同　義晴

從七位勳七等　增永　柳吉

從七位勳八等　河野　雄吉

從七位勳八等　矢野　茂一

從七位勳八等　大瀧支次郎

從七位勳七等　鵜沼　芳尾

從七位勳六等　種村　堅

從七位勳七等　諫山精一郎

從七位勳六等　蒲池　玄造

從七位勳八等　中川延太郎

從七位　瀨尾　完太

同　立石　一也

從七位勳五等　中島新五郎

同　古谷幸之助

同　齋藤　鶴吉

從七位勳四等功七級　金坂要之助

從七位　久保　準

同　影山佐九郎

同　先川　協

同　近藤永太君

同　牧　義男

同　矢崎　賢文

同　三橋　清

同　赤塚　幹也

同　金堀　柳一

從七位勳七等　鎌田三之助

從七位　大和邦太郎

同　市原　豐太

同　近藤龜之助

同　芳野　守三

同　岩本慶之丞

同　山田　悌

同　安吉恒右衛門

同　佐藤新四郎

從七位勳八等　伊賀小四郎

從七位　山西シダノ

同　重雄

同　山下金四郎

同　黑澤喜長治

同　沼野　一男

同　堀江不器雄

從七位勳五等　富樫幸次郎

從七位　萩原　耐

同　四郎

同　浅田　登

同　與地　實英

同　榮三郎

同　栗田　要吉

同　川瀨　猪治

同　中川　慶實

同　森　光三

同　熊谷　直一

同　山崎　直樹

同　藤野　義夫

同　伊藤　省

同　秋山六郎兵衛

同　高橋　鶴吉

同　山本　幸七

同　關根一左衛門

同　渡邊虎之助

同　三浦英太郎

同　武藤　房芳

同　吉村　信一

同　仙波　平馬

同　岡野　鑑記

同　川本　健治

同　牧　楠雄

同　元森　信夫

同　松村　正三

同　安田　勇治

同　荒川　直三

同　加藤　英吉

同　新崎　盛茂

同　田中　德治

同　岡村　琢三

同　佐藤　ソミ

同　高橋　豐

同　河野　次郎

同　佐々木善太郎

同　小島　類吉

同　田中　政一

同　吉武三次郎

同　仲上秋三郎

同　源河　朝達

從七位勳七等　前田百太郎

從七位　佐藤　良次

同　高中　美文

同　神永　剛明

同　嘉數　弘榮

同　石綿　政治

同　北條房太郎

同　石井登久一

同　大島理三郎

同　市川友三郎

同　金澤　祿郎

同　內田　娛老

同　吉岡　啓三

同　立花　德三

同　山崎　通

同　井上藤右エ門

同　嶺井　強衛

同　大矢　近三

同　矢田　芳藏

同　川岸　宇方

同　小畑與治郎

同　西山　稔

同　高田　丈

同　出島　喜一

同　大泉　幸男

同　栗田　行孝

同　藤原　陽次

同　服部　越

同　清水　敏雄

同　貝瀨　喜久

同　求　支雄

同　小畠　良一

同　信岡　清

同　和田　貞治

同　前田　直平

同　小宮　樟雄

同　山崎　八郎

同　市川　乙二

同　有地　義一

同　安井　厚

同　山中立五郎

同　仮野　哲二

同　外山　利雄

從七位　磯江　時藏

同　正八位　中島　直次

同　森島　三郎

官報　673　号

叙正七位
◎昭和四年三月十九日　從四位勳四等　矢澤久次郎
叙勳三等授瑞寶章
◎昭和四年三月二十七日　正六位勳四等　古賀榮之助
叙從五位　從六位勳六等　長谷川大靜
叙正六位　從七位勳七等　長井實一
（各通）　從七位勳八等　石母田才次郎
同　谷口　周作
從七位勳七等　西脇　豊
勳七等　野尻　良雄
叙正位　堀　洋輔
安川　正雄
金子房之助　安原　成吾
小川宇三郎　山岸　壽雄
叙從七位
◎昭和四年三月二十八日　佐藤　發尾
（各通）　勳八等　大野　鼎
奥井孝太郎
叙從七位
◎昭和四年三月二十九日　植原　勇
（各通）　同　青柳　松二
同　大藤　直哉
水產講習所技師從五位勳五等　小瀨　次郎
叙仔農林技師
叙高等官二等
農林技師正五位勳四等　妹尾　秀實
叙高等官二等
（各通）　内務屬　溝口貞之助
内務屬勳六等　礪波仙太郎
任土木事務官
叙高等官七等

（各通）　内務技手從七位勳七等　石田　才藏
内務技手勳八等　竹澤　鉄藏
淡路國治郎　富永　錦吾
桑田　秋水
早田　次郎
入野　祥二
大西賢太郎
水野　秀雄
任内務技師
叙高等官六等
任内務技師
叙高等官七等
内務技手勳六等功七級　大槻小太郎
任専賣局副參事
叙高等官六等
任内務技師
叙高等官七等
専賣局技手兼專賣局書記從七位勳七等　竹石　東馬
任專賣局副參事
叙高等官六等
任陸地測量手從七位勳七等　村上千代吉
任陸地測量技師
叙高等官六等
任東京高等商業學校教諭　石井重次郎
叙高等官七等
水產講習所技師從五位勳六等　野元　俊一
兼任農林技師
叙高等官三等
水產講習所技師正六位勳五等　鎌田　武造
兼任農林技師
叙高等官四等
鐵道屬兼農林屬勳七等　桝谷健一郎
任鐵道省事務官
叙高等官七等
鐵道技手正七位勳六等　中野　尹重
任鐵道技師
叙高等官六等
鐵道局書記從七位勳八等　朝長　右一
任鐵道局副參事
叙高等官七等
任東京高等商業學校助教授
叙從七位勳八等　神戸高等商業學校教授　吉田　重紀
任海軍技師
叙高等官七等
第八高等學校書記正七位勳六等　土井　巍
任東京帝國大學事務官
叙高等官六等
海軍技手　森島　彌一
同　管原　兼輔
同　同　鈴木菊次郎
同　同　田村　定男
同　同　鈴木　政一
（各通）　海軍技手勳七等
任臺灣總督府臺北高等學校教諭
叙高等官七等
臺灣總督府臺北高等學校教授從五位　今村　完道
任臺北帝國大學教授
叙高等官六等
朝鮮總督府道屬勳七等　有田　米藏
任朝鮮總督府理事官
叙高等官七等
臺灣公立高等女學校教諭　梅谷　鏡丸
任臺灣公立高等女學校教諭
叙高等官七等
關東廳屬正七位勳六等　辻　五郎
兼任關東廳遞信副事務官
叙高等官六等
陸軍一等軍醫正　板東要太郎
位勳四等功五級
北海道廳立小樽中學校教諭　樫里　政登
同　近藤　啓志
公立中學校教諭ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
兵庫縣多可郡西脇尋常小學校訓導兼校長多可郡西脇町立實業補習學校訓導多可郡西脇町立幼稚園長正七位　西山重三郎
公立高等女學校長ニ兼任ス
高等官八等ヲ以テ待遇セラル
熊本縣宇土郡花園尋常高等小學校訓導兼校長熊本縣宇土郡花園村立花園圖書館長熊本縣宇土郡花園農業補習學校教諭勳八等　佐方　福松
熊本縣菊池郡菊之池尋常高等小學校訓導兼校長熊本縣菊池郡菊之池農業補習學校教諭勳八等　小林　榮次
（各通）　熊本縣八代郡千丁第一尋常高等小學校訓導兼校長熊本縣八代郡千丁農業補習學校助教諭　谷口　廣
熊本縣球磨郡一勝地尋常高等小學校訓導兼校長熊本縣球磨郡東間尋常高等小學校訓導兼校長熊本縣球磨郡東間農業補習學校助教諭　高橋　敬止
公立實業學校長ニ兼任ス
高等官八等ヲ以テ待遇セラル

（各通）　鐵道局技手正七位勳七等　千葉　新八
鐵道局技手勳八等　山田　稔
同　同　鎌田　進
公立實業學校教諭ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
長崎縣農林技手從八位勳八等　森　孝一
地方農林技師ニ任ス
高等官八等ヲ以テ待遇セラル
滋賀縣立彦根中學校教諭陸軍步兵伍長　松尾左馬司
滋賀縣立八幡商業學校教諭勳七等功七級　靜　米藏
公立實業學校教諭ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
復興局技師　高橋　浩造
土木事務官　佐藤　發尾
同　大野　鼎
（各通）　内務技師　秋月　劍
同　田口平次郎
同　新井　知勝
同　同　堤　清三郎
同　同　菅原　兼輔
任税務官
税務官　青野唯五郎
關稅訴願審查委員會委員被仰付　長島　毅
陸軍事務官　新井金之助
（各通）　東京帝國大學事務官　鈴木榮次郎
依願免本官
叙高等官六等
司法省民事局長　根本　玉吉
同　藤田　友彦

依願免本官
（各通）　臺灣公立實業學校教諭　杉山　新作
臺北州警部兼臺灣總督府地方理事官　渡邊　勝郁
旅順工科大學書記兼關東廳理事官　成田　愼一
依願免本官
關東州公立高等女學校教諭　羽田　勗
依願免本官
陞叙高等官四等　地方技師　河合　嚴
公立高等女學校長　須藤　丑彥
同　關口石之助
（各通）　同　茂哉
公立實業學校長　柴山　正人
陞シテ高等官三等ヲ以テ待遇セラル　田中　寅平
同　同
陞シテ高等官四等ヲ以テ待遇セラル　友治
公立中學校教諭　日吉　入江彌太郎
同　同　三木　善三
（各通）　公立高等女學校長　小林恭三郎
公立高等女學校教諭　西村　恆吉
陞シテ高等官五等ヲ以テ待遇セラル　渡部　茂
師範學校教諭　小林　基
公立中學校教諭　猛吉
公立高等女學校教諭　小西
（各通）　福岡　法重
同　公立實業學校長　土肥縫之助
加藤　正敬
同　公立高等女學校教諭　森本　友幸
陞シテ高等官六等ヲ以テ待遇セラル　操
公立高等女學校教諭　山脇
陞シテ高等官七等ヲ以テ待遇セラル　義郎
公立中學校教諭　森
願ニ依リ本職ヲ免ス　地方農林技師　吉田　顯基
杉山　昌治
（各通）　同　河合　嚴
陞シテ高等官四等ヲ以テ待遇セラル　岩夫
地方農林主事　野村
陞シテ高等官五等ヲ以テ待遇セラル（以上五百内閣）　貞七
四級俸下賜　内務技師　三好
五級俸下賜　土木事務官　佐藤　發尾
横濱土木出張所勤務ヲ命ス　同　大野　鼎
六級俸下賜
名古屋土木出張所勤務ヲ命ス

八級俸下賜　内務技師　秋月　劍
下關土木出張所勤務ヲ命ス　同　新井　知勝
八級俸下賜　堤　清三郎
新潟土木出張所勤務ヲ命ス　同　管原　兼輔
七級俸下賜　田口平次郎
仙臺土木出張所勤務ヲ命ス　同
七級俸下賜　同
東京土木出張所勤務ヲ命ス　菅原　兼輔
八級俸下賜　同
東京土木出張所勤務ヲ命ス（以上五百二内務省）　同
九級俸下賜　專賣局副參事　竹石　東馬
宇都宮地方專賣局在勤ヲ命ス　司稅官　青野唯五郎
六級俸下賜　專賣局書記從七位勳八等　朝長　右一
八級俸下賜　專賣醫　板東要太郎
德島地方專賣局在勤ヲ命ス（以上五百二大藏省）
補那珂乘組（五百二呉鎮守府）　海軍特務少尉　宮武多治郎
補伊勢分隊長　海軍特務中尉　二宮　忠吉
伊勢分隊長海軍特務中尉　西田　定吉
呉鎮守府附被仰付（以上五百二同）
八代區裁判所判事兼熊本地方裁判所八代支部部長判事　西崎　康久
補長崎控訴院部長
一級俸下賜（五百二司法省）
（各通）　東京帝國大學事務官　鈴木榮次郎
東京女子高等師範學校教授　土屋　幸正
四級俸下賜　原田　莊一
靜岡高等學校生徒主事
六級俸下賜
廣島高等師範學校教諭　廣幸　亮三
（各通）　同　八幡　元雄
八級俸下賜　公立專門學校長　土屋　幸正
長野縣女子專門學校長ニ補ス
師範學校長　副島　松一
勳績加俸年額金百六拾八圓下賜
公立實業學校教諭　奥井孝太郎
北海道廳立小樽水產學校教諭ニ補ス
休職東京工業試驗所技師　內田　俊一
化學工學研究ノ爲滿米國ヘ在留ヲ命ス（以上五百二文部省）　義清
東京帝國大學教授　大島
學術上取調ノ爲大阪、廣島、福岡、熊本ノ一府三縣下ヘ出張ヲ命ス　大河內秀夫ノ談植

東京帝國大學助教授　兼重覺九郎
學術上取調ノ爲大阪、兵庫、長崎ノ一府二縣下ヘ出張ヲ命ス
（各通）　同　大山松次郎
同　星合　正治
同　山下　英男
學術上取調ノ爲京都、大阪ノ二府下ヘ出張ヲ命ス（以上五百二東京帝國大學）　阿部　重孝
同　同　同　福岡、熊本、鹿兒島ノ四縣下ヘ出張ヲ命ス（五百二同）
學術上取調ノ爲廣島、福岡、熊本、鹿兒島ノ四縣下ヘ出張ヲ命ス（五百二同）
東京帝國大學教授　蘭部　一郎
三重縣知事ノ依賴ニ依リ學術上取調ノ爲メ三重縣下ヘ出張ヲ命ス（五百二同）
鐵道局副參事　大倉　源造
（各通）　村山小太郎
六級俸下賜
札幌鐵道局勤務ヲ命ス　鐵道局技師　石田　勉
同　同　唐牛　綱
同　同　白木力三郎
八級俸下賜
札幌鐵道局勤務ヲ命ス（以上五百二鐵道省）　桐村　四郎
鐵道局副參事
（各通）　同　公立中學校教諭　土井　正直
東京鐵道局勤務ヲ命ス（五百二同）
八級俸下賜　道路主事　村川　虎雄
札幌鐵道局勤務ヲ命ス
五級俸下賜（五百二神奈川縣）　公立中學校教諭　廣瀨　正雄
年功加俸年額金百五拾六圓下賜（五百二長崎縣）　上田　義夫
同　年功加俸年額金百六拾八圓下賜（五百二栃木縣）　富野壯千路
八級俸下賜　公立實業學校長
昭和四年三月二十日ヨリ公立學校職員年功加俸年額金百六十八圓下賜（五百二熊本縣）　大野　鼎

正誤
本月二十三日本欄六〇〇頁二段大河內秀夫ハ大河內秀夫ノ誤植

宮廷錄事

◎行幸仰出　天皇陛下ハ今三十日午前九時十分御出門學習院へ行幸アラセラルヘキ旨仰出サレタリ

彙報

○官廳事項

◎官吏死去　檢事正六位大圖竹四郎ハ本月二十五日死去セリ

◎死刑執行　兵庫縣三原郡福良町鳥取千百七十六番屋敷古池常一ハ強盜殺人強盜強姦住居侵入軍機保護法違反及逃走罪ニ付昨三年六月二十一日大阪控訴院ニ於テ死刑ノ宣告ヲ受ケ同年十月八日確定シタル處本月二十三日執行セラレタリ

◎豫約出版屆出　豫約出版法ニ依リ本月二十五日警視廳ヘ豫約出版ヲ屆出テタルモノ左ノ如シ

號	題號	著作者	發行所	發行年月日
非氷百花譜		杉浦非水	春陽堂	昭和四年四月五日
杉浦非水		和田利彥		
和田利彥				
東京市日本橋區通三丁目八番地				
春陽堂				
昭和四年四月五日				

○陸海軍

◎水路告示第十二號
艦船ヒ小告示ヲ受領シタルトキハ速ニ其ノ關係諸所ヘ改正增補スルヲ要ス但シ一時關係告示ハ鉛筆記入ヲナスカ又ハ告示紙片ヲ適當ノ箇所ニ貼附シ置クコトヲ得
◎符ハ大正七年水路告示第二六六項ニ由リ經度一一秒ヲ改正シタル海圖及經度ナルコトヲ示ス
米符ハ「メートル」式海圖ナルコトヲ示ス
方位ハ眞方位ニシテ之ニ對スル磁針方位ヲ括弧内ニ記ス

許可　6733　号
本文

○四年告二七九頁

大阪港　修築改正

記事　圖港修築ニ關スル件ヲ改正シ本月十日ヨリ施行ス

陸軍

○四年告三〇一頁（一時關係）

下關海峽　一小瀬戸　潮流調査終了

○出所　海軍水路部

○四年告三〇一頁（一時關係）

下關海峽　一小瀬戸　潮流調査終了

○四年告二九頁

大阪港　修築改正

記事　圖港修築ニ關スル件ヲ改正シ本月十日ヨリ施行ス

陸軍

○四年告二七九頁

出所　昭和四年三月十九日官報第二千告示第六八頁

○四年告二九八頁

本洲北西岸　津居山附近　港湾

記事　四　本洲北西岸津居山附近ニ於ケル港湾ニ左ノ如ク錨泊ヲ禁ス

位置　津居山ノ北方ニ在リ北緯三五度四〇分三秒東經一三四度五分二秒ノ點ヨリ方位角三四〇度ニ引キタル線ト同角度ニ引キタル線トノ間ノ水面

○四年告二九八頁

本洲北西岸　津居山附近　港湾

記事　四　本洲北西岸津居山附近ニ於ケル港湾ニ左ノ如ク錨泊ヲ禁ス

位置　津居山ノ北方ニ在リ北緯三五度四〇分三秒東經一三四度五分二秒ノ點ヨリ方位角三四〇度ニ引キタル線ト同角度ニ引キタル線トノ間ノ水面

○四年告三〇〇頁（一時關係）

下關海峽　一小瀬戸　潮流調査終了

○出所　海軍水路部

○四年告三〇〇頁（一時關係）

下關海峽　一小瀬戸　潮流調査終了

○四年告二九頁

大阪港　修築改正

記事　圖港修築ニ關スル件ヲ改正シ本月十日ヨリ施行ス

陸軍

○四年告二七九頁

出所　昭和四年三月十九日官報第二千告示第六八頁

○四年告二九八頁

本洲北西岸　津居山附近　港湾

記事　四　本洲北西岸津居山附近ニ於ケル港湾ニ左ノ如ク錨泊ヲ禁ス

位置　津居山ノ北方ニ在リ北緯三五度四〇分三秒東經一三四度五分二秒ノ點ヨリ方位角三四〇度ニ引キタル線ト同角度ニ引キタル線トノ間ノ水面

○四年告三〇〇頁（一時關係）

下關海峽　一小瀬戸　潮流調査終了

○出所　海軍水路部

○四年告三〇〇頁（一時關係）

下關海峽　一小瀬戸　潮流調査終了

○四年告二九頁

大阪港　修築改正

記事　圖港修築ニ關スル件ヲ改正シ本月十日ヨリ施行ス

陸軍

○四年告二七九頁

出所　昭和四年三月十九日官報第二千告示第六八頁

○四年告二九八頁

本洲北西岸　津居山附近　港湾

記事　四　本洲北西岸津居山附近ニ於ケル港湾ニ左ノ如ク錨泊ヲ禁ス

位置　津居山ノ北方ニ在リ北緯三五度四〇分三秒東經一三四度五分二秒ノ點ヨリ方位角三四〇度ニ引キタル線ト同角度ニ引キタル線トノ間ノ水面

○四年告三〇〇頁（一時關係）

下關海峽　一小瀬戸　潮流調査終了

○出所　海軍水路部

○四年告三〇〇頁（一時關係）

下關海峽　一小瀬戸　潮流調査終了

第673号　本文

○四年告三二一項（一區）
記事　燈質變更
Sumatra東岸—Banka Strait
燈質ニ告示セシ下記(1)(2)(3)及(4)掛燈浮標ノ燈質（明暗白光）ハ何レモ閃白光毎一二秒ニ一閃閃五秒暗七秒ニ變更セラレタリ
(1)Amalia Bank白黑横線塗掛燈浮標
位置　堆ノ南東端
南緯一度一三分　東經一〇五度一六分（概位）
注意　海圖第六九九號上塗色ヲ改記シ圖ク要ス
(2)Third Point or Tg. Selopan白塗掛燈浮標
位置　角ノ北方
南緯一度一二分　東經一〇五度三七分（概位）
(3)Eg. Temboga or Copper Bks 黑塗掛燈浮標
位置　礁ノ西方
南緯一度四一分　東經一〇五度五一分（概位）
注意　海圖五八七號上塗色「B」ヲ追記シ圖ク要ス
(4)Nemesis Bank白黑横線塗掛燈標
位置　堆ノ北西附近
南緯一度二三分　東經一〇五度五九分（概位）
新略記　Lt. Fl. ev. 12sec. 7m.（四箇共）
海圖　(1)五九一—五八七—(4)五八六—五八九
誌類　「スマトラ」東側水路誌(4)九三頁(1)九八頁
(1)八九頁(2)八五頁(3)(4)一五年告三四
九項(1)(2)(3)(4)三年告二七六項一四年告七三項
出所　一九二九年「バタビア」水路告示六六項
○四年告三二一項（二區）
Sumatra東岸—Bonta Straits　燈質變更
記事　燈ニ告示セシ下記(1)及(2)掛燈浮標ノ燈質（明暗白光）ハ何レモ閃白光毎一二秒ニ一閃閃五秒暗七秒ニ變更セラレタリ
(1)Smits Bank白黑塗掛燈浮標
位置　北方淺瀬ノ西方側
南緯二度五七¾分　東經一〇六度一〇分（概位）
注意　海圖五九一號及五八九號七塗色「W」ヲ追記シ圖ク要ス
(2)Stanton Channel 黑塗掛燈浮標
位置　水道東側
南緯三度一¾分　東經一〇六度一九分（概位）
新略記　Lt. Fl. ev. 12sec. 7M.（四箇共）
海圖　(1)五九一—五八七—(4)五八六—五八九
誌類　「スマトラ」東側水路誌(1)九三頁(2)九八頁
(1)八九頁(2)八五頁(3)(4)一五年告三四
九項(1)(2)(3)(4)三年告二七六項一四年告七三項
出所　一九二九年「バタビア」水路告示六六項
○四年告三二一項（二區）
Sumatra東岸—Bonta Straits　燈質變更
記事　燈ニ告示セシ下記(1)及(2)掛燈浮標ノ燈質（明暗白光）ハ何レモ閃白光毎一二秒ニ一閃閃五秒暗七秒ニ變更セラレタリ
(1)Amalia Bank白黑横線塗掛燈浮標
位置　堆ノ南東端
南緯一度一三¾分　東經一〇五度一六¾分（概位）
注意　海圖第六九九號上塗色ヲ改記シ圖ク要ス
(2)Third Point or Tg. Selopan白塗掛燈浮標
位置　角ノ北方
南緯一度二二分　東經一〇五度三七¾分（概位）
(3)Eg. Temboga or Copper Bks 黑塗掛燈浮標
位置　礁ノ西方
南緯一度四一分　東經一〇五度五一¼分（概位）
注意　海圖五八七號上塗色「B」ヲ追記シ圖ク要ス
(4)Nemesis Bank白黑横線塗掛燈浮標
位置　堆ノ北西附近
南緯二度二¾分　東經一〇五度五九分（概位）
新略記　Lt. Fl. ev. 12sec. 7M.（四箇共）
海圖　(1)五九一—五八七—(4)五八六—五八九
誌類　「スマトラ」東側水路誌(1)九三頁(2)九八頁
(1)八九頁(2)八五頁(3)(4)一五年告三四
九項(1)(2)(3)(4)三年告二七六項一四年告七三項
出所　一九二九年「バタビア」水路告示六六項
○四年告三二一項（二區）
記事　燈ニ告示セシ下記(1)及(2)掛燈浮標ノ燈質（明暗白光）ハ何レモ閃白光毎一二秒ニ一閃閃五秒暗七秒ニ變更セラレタリ
(1)Smits Bank白黑横線塗掛燈浮標
位置　北方淺瀬ノ西方側
南緯二度五七¾分　東經一〇六度一〇分（概位）
注意　海圖五九一號及五八九號七塗色「W」ヲ追記シ圖ク要ス
(2)Stanton Channel 黑塗掛燈浮標
位置　水道東側
南緯三度一¾分　東經一〇六度一九分（概位）
新略記　Lt. Fl. ev. 12sec. 7m.（四箇共）
海圖　五九一—五八七—(4)五八六—五八九
誌類　「スマトラ」東側水路誌(1)九三頁(2)九八頁
(1)八九頁(2)八五頁(3)(4)一五年告三四
九項(1)(2)(3)(4)三年告二七六項一四年告七三項
出所　一九二九年「バタビア」水路告示六六項
○四年告三二一項（二區）
記事　燈ニ暴風ノ爲破損シ一時閃鎖セラレタル Batuta 無線羅針局ハ下記ノ通其ノ位置ヲ變更シ事務ヲ開始セリ
位置　圖載位置ヨリ　一一四度一鏈二五
北緯四〇度四一¾分　西經一二四度一六分（概位）
出所　一九二九年米海陸測量部水路告示一三六項（同二九七項）
○四年告三二五項（一時關係）
一時關係及豫告告示一覽表頒布ス（別紙略ス）
前告示　四年告一一一項
出所　水路部

○四年告三二六項
海圖新版（一區）

番號	圖名	尺度	區域別	刊行年月	定價
米 八四	下田港至戸田港◎（分圖）附下田港及安良里港泊良子浦	二二	一甲	昭和四年三月改版	一圓
米 八四二	伊豆西岸 附伊豆西海岸及近海◎（分圖）	二〇	一甲	昭和四年三月新版	一圓

海圖歷版

番號	圖名	刊行年月	記事
四二	國後島及近海	明治四十五年六月	昭和四年三月改版
八四	伊豆西岸 附伊豆西海岸及安良里港泊良子浦	明治三十二年七月	昭和四年三月新版
八二甲	妻良子浦	明治二十四年十一月	同上

○項外
(一)昭和四年三月二十日汽船大武丸ハ經度一八〇度北緯五四度ノ地點ニテ推進器喪失漂流中船舶輕減ノ爲甲板積材ヲ相當投荷セリ附近航行船舶ハ注意ヲ要ス（國際汽船株式會社報）

(二)昭和四年三月二十二日播磨灘鹿ノ瀬掛燈浮標ハ燈火消滅中ノ處復舊セリ（燈臺局報）

◎卒業證書授與　海軍兵學校ニ於テ本月二十七日第五十七期生徒卒業證書授與式第八期選修學生ヲ卒業申渡式ヲ擧行セリ其氏名左ノ如シ（卒業生ハ二選修學生ヲ含ム）

一生徒
△板谷　茂　×△北里　又郎　×△南　祝
×△大杉　忠一　佐藤　欣重　内藤　力

海軍兵曹長　林　勇治　同　鷹取　富治
同　岸川　郁八　同　大田　安喜
同　馬場　武雄　同　渡邊鹿太郎
同　×△大西　頼一　同　久木山一彦
同　高松　福藏　同　大田　馨
同　高亀　一夫　同　石渡　儀吉

石黒　進　山本　榮一　岡本　功
小野崎　誠　花本　清登　乘田　貞敏
開野　武雄　井澗紋四郎　奥田　重信
馬島　勉　山口　時男
長谷川　峻　山本登志雄
高野　初男　開戸　好蜜
河村　同人　開潮　武治
森　幸吉　小牧　一郎　山下　雅夫
木下　甫　中西　二一　大金　茂
鳴崎　重和　信谷　正一　林　一夫
蜂川　實　渡邉　肇
自見　仁一　大西　勇治　石橋　政雄
谷　繼男　畑野　健二　大串　秀雄
江村　日雄　村山　利光　道木　正三
小泉　四郎　大前　左一
眞木　成一　伊藤　末吉
安井　鉋二　宮崎　新作
古要　桂次　花見　弘平　熊谷　利美
山口　寅雄　藤田小太郎　正博
金子　永　坂本　榮一　坂本　以文
廣木　武　立川　秀雄　宮田　旻
山縣　侠一　近藤忠兵衛　高橋孫三郎
塚田　重夫　吉澤　政明
藤村　悟　大塚　昌三
高木　長證　香西　房市
岡田　良平　髙沼　三郎
潮田　菊男　井上　德男　山下　菊男　桑原新兵衛
菊田　志郎　三浦　重房　富永　義秋
澤田　邦　櫛田　文雄　姉川　實
瀧澤　是介　内山　登
杉原與四郎　森　三良
伊藤　勉一　檜貝　襄治
前田　一郎　野中　太郎　武藤　健一
秋田　芳男　中原　繁　增田　五郎
小川陽一郎　遠谷　隆　埒田　靜夫
大崎　秀海　山下　七郎　阿金　靜彦
村山　格之　伊東　龜城　長井　勝彦
古谷　卓夫　大庭　春雄　山崎　巢
宮崎　忠臣　田代　壯一　酒井　晃
伊東謙之助　石川　義郎　猿渡　正之
小屋　增男　古賀　忠一　田中　知生
志垣　郁雄　鳥生　輝男

海軍兵學校生徒
二選修學生

山田	藤雄	吉田	英則
吉原安太郎		吉藤	幸朔
米元	卓介	若林	正
機關工學科			
阿野	顯三	秋山	保光
荒井	溪吉	飯島	博
生駒	一	瀧崎	勉
稻留	武男	岩田	正夫
浦野	泰治	大塚	茂一
大山	節夫	岡林	正元
奥	秀男	奥田	周策
加藤	八郎	狩野	三郎
金子	春雄	梶岡	憲吾
久貴	安次	川島	周三
黒木六一郎		金	金藏
小林	正夫	黄	龍泉
佐々木一平		黒田	幸二
坂見	長義	坂	丈夫
坂本	熙	柴山	東八
杉坂	啓義	住山	敏雄
曾我	良彦	田中	博次
田原	保正	高橋寛二郎	
高橋	健吉	竹内	外茂
種田	導雄	津田	猛
富樫	寛	冨田	坦治
中野	吉雄	長野	利平
西	時宏	西脇	仁一
花輪	誠一	早川	仁
不破	輝夫	林	靜
藤岡	浩人	藤田	忠捷
三島	浩三	三島	眞三
村瀬	信廣	森田	忠孝
山崎	健二	山下	啓輔
山西	尚雄	山下	英造
渡邊	克彦	和田	清

船舶工學科

荒木	晃	稻村	桂吉
川上	三郎	吉川	善勝
五階	淳次	彌滅	健
佐藤	正彦	西郷	太郎
田所	辰馬	髙畑	正二
遠山	光一	友永	英夫
長島	廣海	早川	南
廣段	積	繩澤	英男
堀	輝一郎	吉川	成之助
宮川	成之助	山田	勝二
渡邊	肇	航空學科	
飯塚	十郎	大築	志夫

應用化學科

伊集院武雄		打田	安富
遠藤	一郎	岡本二三雄	
熊谷	良一	黒澤	俊一
佐藤	敬二	嶋川	範行
高島	四郎	高田	邦雄
谷口	泉	鳥居	保治
西川	貞夫	西野	榮一
藤田	恒治	古田	博人
三浦	貢	三好	千八
村上	末雄	山崎	毅六
火藥學科			
片岡	剛	桐島	信義
藤原	哲郎	藤村	隆
鑛山及冶金學科			
伊藤	俊夫	岩田友三郎	
小津	悌二	大石	琢平
大塚	堅	大坪	完吾
木下	恒雄	北	榮
駒井	英雄	佐々木一雄	
柴田	勝一	下村	佳夫
鈴木	隆	関口	次郎
田代	知稻	高橋驥太郎	
武井	英夫	段	實雄
筒井	爲功	富永	俊治
西村	敏雄	西山太喜夫	
原	義雄	藤城	清宣
松本	東明	森谷	實
森谷	東明	矢野	千春
山下	國武	李	岐山

伊集院武雄　遠藤　一郎　熊谷　良一　佐藤　敬二　高島　四郎　谷口　泉　西川　貞夫　藤田　恒治　三浦　貢　村上　末雄　片岡　剛　藤原　哲郎　伊藤　俊夫　小津　悌二　大塚　堅　木下　恒雄　駒井　英雄　柴田　勝一　鈴木　隆　田代　知稻　武井　英夫　筒井　爲功　西村　敏雄　原　義雄　藤城　清宣　松本　東明　森谷　實　山下　國武　李　岐山

打田　安富　江連　英剛　岡本二三雄　香川　鎮美　黒澤　俊一　小林　榮一　嶋川　範行　館野　基忠　高田　邦雄　鳥居　保治　南部　直治　西野　榮一　藤井　光雄　古田　博人　眞瀬　晃　三好　千八　瀧口　秀和　山崎　毅六　桐島　信義　服部　一朗　藤村　隆　岩田友三郎　上田　建洋　大石　琢平　大谷　勝　大坪　完吾　木越　安一　北　榮　黒瀬　行義　佐々木一雄　志賀第五郎　下村　佳夫　白木　只義　関口　次郎　田岡　英夫　高橋驥太郎　竹内　謙吉　段　實雄　千柄　實男　富永　俊治　中野德太郎　平塚　保明　早矢仕　功　藤本　一郎　細田　泰一　松下　一夫　松川　義雄　村田　清　矢野　千春　保田　虔　吉田　齊一

○財政
◎國庫歲入歲出現計　大藏省ニ於テ調製シタル昭和三年度國庫歲入歲出現計及前年度比較左ノ如シ（大藏省）

昭和三年度歲入歲出現計

科目	昭和三年度（四月一日年末）	昭和二年度（三月一日年末）	比較增減（△印減）
歲入			
經常部			
稅	五二四、八五一、六七七圓	五一三、九一四、五七四圓	一〇、九六七、一〇三圓
印紙稅	九九、一四五、八二九	一〇六、八六七、七五三	△七、七二一、九二四
所得稅	二八、四六四、七三一	二八、三三五、三五六	二二九、三七五
租			
地租			

同　安藤　源治　同　市村平太郎
同　神山　文三　同　佐々村嘉七
同　永江　留三　同　古田　英一
同　大川　忠　同　川崎　渉
同　柏屋　勝平　同　上高原德次郎
同　川上喜久馬　同　左谷野竹雄
同　藤原　速　同　今村　國松
同　山下三五郎

○學事
◎盛岡高等農林學校學則中改正　盛岡高等農林學校學則中左ノ通改正シ來ル四月一日ヨリ之ヲ施行ス（文部省）
第三十一條　授業料ハ左ノ通リ之ヲ定メ研究生ニハ之ヲ徵收セス
本科（一學年）　選科（一學年）　農學（一ケ年）
（二分）　（二分）　別科（二分）
金八拾圓　金八拾圓　金貳拾四圓
第三十三條　授業料ハ一學年ヲ左ノ二期ニ分チ每期ノ始ニ於テ之ヲ徵收ス
本科　選科　農學別科
第一期　金四拾圓　金四拾圓　金拾貳圓
第二期　金四拾圓　金四拾圓　金拾貳圓
附則
本則施行ノ際現ニ在學中ノ生徒ニ對スル授業料ハ舊規定ニ依リ之ヲ徵收ス
◎學位授與　東京帝國大學ニ於テ本月十五日附ヲ以テ長崎縣農蠶五郎ニ工學博士ヲ東京府岩崎行高、同矢作貞藏、宮城縣丹羽鼎三ニ就キ農學博士、靜岡縣寺尾新、岡山縣横川定、東京府岡田彌一郎ニ就キ理學博士ノ學位ヲ授與セリ（文部省）
◎入學許可　東京帝國大學工學部ニ於テ來ル四月入學ヲ許可スヘキ者（五名）左ノ如シ入學許可者ハ來ル四月八日午前十時工學部大講堂ニ參集スヘシ（文部省）

土木工學科

有坂	誠喜	五十嵐醇三	石田　武雄
今井	四郎	上野　省二	遠藤　又吾
小野木次郎		大久保隆治	岡本　舜三
岡本東一郎		加藤　春海	北村　盛一
菊地　幸男		功力　和夫	舟井　俊一
桑原湖壽雄		黒澤喜代治	倉山　俊一
佐島　秀夫		田中　勝	高木　健
都木　清		瀧山　養	辻川　秀夫
藤後　定雄		南保　賀	沼田　等
野原　眞孝		橋本　增夫	平木　一雄
古江　德一		增田　高一	松澤　作馬

許可
673
本文

第673号　本文

町村東員優遇ニ關スル建議案（篠原和市君外四名提出）
消防組員優遇ニ關スル建議案（篠原和市君外四名提出）
消防組員表彰法制定ニ關スル建議案（淺川浩君外五名提出）
後閒山國立公園設定ニ關スル建議案（篠原和市君外一名提出）
八ヶ嶽國立公園設定ニ關スル建議案（篠原和市君外二名提出）
荒川上流改修工事速成ニ關スル建議案（篠原和市君提出）
長野縣南佐久郡松原湖ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案（篠原和市君提出）
雲仙國立公園設定ニ關スル建議案（西岡竹次郎君外一名提出）
大臺ケ原山及大峰山ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案（岩本武助君提出）
天ノ橋立國立公園設定ニ關スル建議案（水島彦一郎君提出）
鹽島ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案（藤田若水君外四名提出）
大富士山國立公園設定ニ關スル建議案（鄉谷照一郎君外一名提出）
磐梯山猪苗代湖ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案（石射文五郎君提出）
大山ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案（豊牧君外一名提出）
筑波山霞浦ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案（飯村五郎君外一名提出）
小豆島及屋島ヲ中心トスル瀨戸内海國立公園設定ニ關スル建議案（小西和君外三名提出）
伊豆國立公園設定ニ關スル建議案（岸衛君提出）
鐘倉葉山ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案（川口養久君提出）

耶馬溪ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案（久恒貞雄君外一名提出）
日光國立公園設定ニ關スル建議案（高橋元四郎君提出）
北海道登別温泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案（板谷順助君外一名提出）
有珠岳洞爺湖及登別温泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案（岡本幹輔君外五名提出）
霧島山國立公園設定ニ關スル建議案（崎山武夫君外六名提出）
國立公園調査機關設置ニ關スル建議案（河上哲太君外一名提出）
國立公園調査機關設置ニ關スル建議案（磯部清吉君外十一名提出）
瓜生坂隧道開鑿ニ關スル建議案（篠原和市君提出）
ホテル業者補助ニ關スル建議案（篠原和市君提出）
長崎市ニホテル建設ニ關スル建議案（西岡竹次郎君外一名提出）
新聞記者優遇ニ關スル建議案（篠原和市君外四名提出）
新聞記者ノ資格制定ニ關スル建議案（飯村五郎君外一名提出）
肝屬川治水ニ關スル建議案（永田良吉君提出）
由良川改修ニ關スル建議案（水島彦一郎君提出）
木津川治水ニ關スル建議案（伊坂秀五郎君外一名提出）
安倍川本支流改修速成ニ關スル建議案（松浦五兵衛君外一名提出）
小貝川改修速成ニ關スル建議案（飯村五郎君提出）
赤川改修工事ニ關スル建議案（清水德太郎君提出）
大淀川支流沖水川改修速成ニ關スル建議案（水久保甚作君提出）
北海道河川治水工事促進ニ關スル建議案（山本厚三君外五名提出）

温泉ノ調査研究機關設置ニ關スル建議案（加藤知正君外一名提出）
國立癌研究機關設置ニ關スル建議案（藤沼庄平君外二名提出）
鳥取縣三朝ニ温泉治療研究所設置ニ關スル建議案（岡田牧君外二名提出）
國民保健衛生ニ關スル建議案（土井權大君提出）
鳥取縣縣債償還方法變更ニ關スル建議案（矢吹晉也君外三名提出）
北海道土功組合ニ關スル建議案（木下成太郎君外九名提出）
北海道開發北進ニ關スル建議案（木下成太郎君外九名提出）
公娼制度廢止ニ關スル建議案（三宅磐君外五名提出）
右七十四案ハ一括シテ委員長ノ報告ヲ求メ河上哲太君外一名提出國立公園調査機關設置ニ關スル建議案及磯部清吉君外十二名提出國立公園調査機關設置ニ關スル建議案ハ併合シテ一案ト爲シ委員長報告ノ通修正議決シ三宅磐君外五名提出公娼制度廢止ニ關スル建議案ハ否決シ其ノ他ノ七十一案ハ共ニ之ヲ可決ス
奈良市ニ美術學校建設ニ關スル建議案（福井甚三君提出）
奈良縣下ニ藥學專門學校建設ニ關スル建議案（福井甚三君提出）
奈良縣立北佐久農學校ヲ國立畜產大學ニ昇格スルノ建議案（篠原和市君提出）
長崎市ニ七年制高等學校設置ニ關スル建議案（西岡竹次郎君外一名提出）
長崎縣ニ水產專門學校設置ニ關スル建議案（西岡竹次郎君外一名提出）
國立蠶絲大學設置ニ關スル建議案（篠原和市君外四名提出）
愛知縣ニ高等蠶絲學校建設ニ關スル建議案（岡本寶太郎君提出）
靜岡縣ニ水產大學設置ニ關スル建議案（倉元要一君外六名提出）
長崎市ニ商科大學及高等學校設置ニ關スル建議案（本田英作君外五名提出）

相模川改修速成ニ關スル建議案（船中楠右衞門君提出）
北海道釧問川河口修築ニ關スル建議案（淺川浩君外五名提出）
勇拂原野開發竝勇拂川河口修築ニ關スル建議案（岡本幹輔君外五名提出）
武庫川改修ニ關スル建議案（笹山貞吉君提出）
猪名川改修ニ關スル建議案（笹山貞吉君提出）
宮崎縣五瀨鰐川改修ニ關スル建議案（矢野力治君提出）
千代川改修工事速成ニ關スル建議案（田中千代松君外三名提出）
河川使用許可ニ關スル建議案（磯部清吉君外十名提出）
猿投神社昇格ニ關スル建議案（岡本寶太郎君提出）
熱田神宮檀原神宮並明治神宮墓祀ニ關スル建議案（福井甚三君外二名提出）
藤原光親卿外四卿ヲ奉祀スル別格官幣社創設ニ關スル建議案（庄司良朗君外五名提出）
伏見神社創設ニ關スル建議案（今井健彦君提出）
村落ニ關スル制度ノ調査及整備ニ關スル建議案（大竹貫一君外一名提出）
結核患者收容力增加ニ關スル建議案（大里廣次郎君外八名提出）
全國町村吏員互助組合ニ關スル建議案（岩崎一高君外十六名提出）
職業紹介營業者保護ニ關スル建議案（平賀周君外三名提出）
震災ノ爲損害ヲ被リタル東京市ノ財政補給ニ關スル建議案（小久江美代吉君外三名提出）
融和事業ノ徹底ニ關スル建議案（星島二郎君提出）
北海道舊土人保護ニ關スル建議案（岡本幹輔君外五名提出）

長崎市ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案（本田英作君外五名提出）
廣島市ニ綜合大學設置ニ關スル建議案（森保祐昌君外四名提出）
鳥國ニ國立綜合大學設置ニ關スル建議案（河上哲太君外三名提出）
名古屋市ニ綜合帝國大學設置ニ關スル建議案（田中善立君外一名提出）
金澤市ニ綜合大學設置ニ關スル建議案（佐藤寶君外一名提出）
郡山市ニ高等工業學校設置ニ關スル建議案（粟山博君外三名提出）
郡山市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案（粟山博君外一名提出）
福島縣ニ高等蠶絲學校設置ニ關スル建議案（管野善右衞門君外五名提出）
福島市ニ高等蠶絲學校設置ニ關スル建議案（粟山博君外三名提出）
大隅半島ニ高等蠶絲學校設置ニ關スル建議案（永田良吉君提出）
鹿兒島縣鹿屋町ニ畜產大學設置ニ關スル建議案（永田良吉君提出）
旭川市ニ高等工業學校設置ニ關スル建議案（淺川浩君外一名提出）
北海道帶廣町ニ高等農林學校設置ニ關スル建議案（小池仁郎君外五名提出）
若松市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案（石射文五郎君提出）
東京府松江町ニ高等工業學校設置ニ關スル建議案（佐藤正君提出）
札幌市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案（粟山博君外三名提出）
北海道ニ高等學校設置ニ關スル建議案（多田房雄君外二名提出）
北海道ニ高等工業學校設置ニ關スル建議案（山本厚三君外三名提出）
大阪市ニ綜合大學設置ニ關スル建議案（牟賀周君提出）
廣島市ニ高等學校設置ニ關スル建議案（森保祐昌君外二名提出）
文政改革ニ關スル建議案（篠原和市君外二名提出）

長野縣松代町ニ國立象山文庫設立ニ關スル建議案（篠原和市君外一名提出）
國定教科書中略字採用及假名遣改定竝漢字制限ニ關スル建議案（皆田義一君外三名提出）
小學校令中改正ニ關スル建議案（森保祐昌君提出）
小學校令中改正法ニ關スル建議案（土屋清三郎君提出）
私立學校令中改正法ニ關スル建議案（土屋清三郎君提出）
教員免許令中改正ニ關スル建議案（土屋清三郎君提出）
東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所獨立ニ關スル建議案（笹山貞吉君外一名提出）
東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所ニ關スル建議案（笹山貞吉君外一名提出）
東京帝國大學經濟學研究所設置ニ關スル建議案（篠部清吉君外四名提出）
京都帝國大學ニ小兒保健衛生研究所設置ニ關スル建議案（篠部清吉君外四名提出）
人工降雨法研究所國庫補助ニ關スル建議案（星島二郎君提出）
右四十六案ハ一括シテ委員長ノ報告ヲ求メ管野善右衞門君外五名提出鳥取縣ニ高等蠶絲學校設置ニ關スル建議案及栗山博君外三名提出東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所獨立ニ關スル建議案ハ併合シテ各一案ト爲シ委員長報告ノ通修正議決シ其ノ他ノ四十二案ハ共ニ之ヲ可決ス
澁川長野原間鐵道速成ニ關スル建議案（本檜三四郎君提出）
常總鐵道買收ニ關スル建議案（飯村五郎君外一名提出）
日足鐵道速成ニ關スル建議案（高橋元四郎君提出）
土浦久喜間及境古河間鐵道敷設速成ニ關スル建議案（海老澤爲次郎君提出）
筑豐線二瀨長尾間鐵道敷設ニ關スル建議案（久恒貞雄君外一名提出）
小倉港ニ關釜連絡船寄港ニ關スル建議案（坂井大輔君提出）
國分大淀間鐵道速成ニ關スル建議案（永田良吉君提出）
肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案（本田英作君外五名提出）
關門隧道鐵道敷設速成ニ關スル建議案（西岡竹次郎君外七名提出）
九州ニ於ケル國際的遊覽線統一ニ關スル建議案（松野鶴平君外十一名提出）
沖繩縣營鐵道買收ニ關スル建議案（伊禮肇君外二名提出）
沖繩縣營鐵道國營移管ニ關スル建議案（龜割安藏君外一名提出）
吉松八代間鐵道電化ニ關スル建議案（深水清君提出）
鹿兒島本線二日市驛久大線大石驛間鐵道敷設ニ關スル建議案（多田房雄君外二名提出）
鳥栖日豐間鐵道敷設ニ關スル建議案（久恒貞雄君外一名提出）
大隅鐵道買收ニ關スル建議案（永田良吉君提出）
名古屋驛改良促進ニ關スル建議案（小山松壽君外三名提出）
小海小淵澤間鐵道速成ニ關スル建議案（篠原和市君提出）

磯部中込間鐵道速成ニ關スル建議案（篠原和市君外二名提出）
佐久鐵道買收ニ關スル建議案（篠原和市君外四名提出）
土田松本間鐵道速成ニ關スル建議案（篠原和市君外四名提出）
中込松本間鐵道敷設速成ニ關スル建議案（篠原和市君外二名提出）
上信鐵道敷設速成ニ關スル建議案（篠原和市君外四名提出）
岩村田、岡谷間鐵道敷設ニ關スル建議案（篠原和市君外一名提出）
平原停車場設置ニ關スル建議案（篠原和市君外四名提出）
臼田池袋間鐵道速成ニ關スル建議案（篠原和市君外三名提出）
千種武節間鐵道敷設速成ニ關スル建議案（岡本寶太郎君提出）
岡崎多治見間鐵道敷設速成ニ關スル建議案（岡本寶太郎君提出）
岡崎多治見間鐵道敷設速成ニ關スル建議案（丹下茂十郎君外一名提出）
三國敦賀間海岸鐵道敷設ニ關スル建議案（熊谷五右衞門君提出）
伊豆循環鐵道敷設速成ニ關スル建議案（鄉谷照一郎君外一名提出）
七尾輪島間鐵道速成ニ關スル建議案（佐藤寶君外一名提出）
富士身延鐵道買收ニ關スル建議案（篠原和市君外十五名提出）
岐阜縣土岐津若ハ多治見ヨリ明知ニ至ル鐵道敷設ニ關スル建議案（岡本寶太郎君外三名提出）
鐵道敷設法別表中改正ニ關スル建議案（江田鎗吉君外四名提出）
金澤八尾間鐵道速成ニ關スル建議案（石坂豁一君外一名提出）
金澤八尾間鐵道速成ニ關スル建議案（松村謙三君外四名提出）
東海道線原驛附近ニ於ケル路線變更ニ關スル建議案（住司良朗君提出）
穴水魚田間鐵道速成ニ關スル建議案（佐藤寶君外一名提出）

許可 6733 号

（特別報告第三〇號）長崎縣ニ高等水産教育機關設置ノ請願
（特別報告第三九號）雨龍、美深間鐵道敷設ノ請願
（特別報告第四三號）栃尾鐵道國有移管ニ關スル請願
（特別報告第四七號）町村吏員恩給法制定ノ請願
（特別報告第五一號）人造絹織物消費稅撤廢ニ關スル請願
（特別報告第五七號）多度津港ヲ重要港灣ニ指定ノ請願
（特別報告第五八號）多度津港改修ニ對シ國庫補助ノ請願
（特別報告第六四號）地租委讓ノ場合ニ於ケル耕地整理施行地ノ特典維持ニ關スル請願
（特別報告第六六號）苫前漁港修築ノ請願
（特別報告第六七號）歯舞村ニ漁港築設ノ請願
（特別報告第六九號）紋別港修築工事擴張ノ請願
（特別報告第九三號）東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所獨立ノ請願外一件
（特別報告第九五號）福知山線池田驛ヲ川西驛ニ改稱ノ請願
（特別報告第一〇五號）士別、苫前間鐵道敷設ノ請願
（特別報告第一一二號）雄武、枝幸間鐵道速成ノ請願
（特別報告第一一五號）帶廣、廣尾間鐵道速成ニ關スル請願
（特別報告第一一六號）瀧ノ上、上川間鐵道速成ノ請願
（特別報告第一二一號）一時賜金癈兵ニ對スル恩給支給法制定卽行ニ關スル請願外十件
（特別報告第一二八號）婦人ニ公民權付與ニ關スル請願
（特別報告第一四三號）安倍川改修工事速成ニ關スル請願
（特別報告第一四四號）小貝川改修速成ニ關スル請願
（特別報告第一五二號）美國港修築ノ請願
（特別報告第一五三號）壽都漁港修築ノ請願
（特別報告第一五四號）根室町ニ國立種馬所設置ノ請願
（特別報告第一五八號）大臺ヶ原山及大峰山脈ヲ中心トスル國立公園設定ノ請願
（特別報告第一七一號）志津村ヲ福井區裁判所管轄ニ變更ノ請願
（特別報告第一七八號）尻内、毛馬内間鐵道敷設ニ關スル請願
（特別報告第一八一號）濱頓別、枝幸間鐵道速成ノ請願
（特別報告第一八三號）天鹽沿岸鐵道速成ノ請願
（特別報告第一八九號）一時賜金癈兵ニ對スル恩給支給法制定卽行ニ關スル請願外八件
（特別報告第一九三號）婦人ニ公民權付與ニ關スル請願外三十五件
（特別報告第一九六號）軍人傷痍記章令改正卽行ニ關スル請願外七件
（特別報告第二一二號）足尾銅山煙毒除害竝水源涵養ノ請願
（特別報告第二三九號）金澤、八尾間鐵道速成ノ請願
（特別報告第二四五號）一時賜金癈兵ニ對スル恩給支給法制定卽行ニ關スル請願外五件
（特別報告第二五〇號）軍人傷痍記章令改正卽行ニ關スル請願外五件
（特別報告第二五二號）東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所獨立ノ請願外一件
（特別報告第二六一號）一時賜金癈兵ニ對スル恩給支給法制定卽行ニ關スル請願外二件
（特別報告第二七〇號）軍人傷痍記章令改正卽行ニ關スル請願外二件

（特別報告第二七一號）東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所獨立ノ請願外一件
（特別報告第二七二號）藤原光熙卿外四卿ヲ奉祀スル別格官幣社創建ノ請願
（特別報告第二七九號）水郷利根ヲ國立公園ニ指定ノ請願
（特別報告第二八〇號）神崎郡ヲ姫路驛隊區管轄ニ編入ノ請願
（特別報告第二八一號）宍粟郡ヲ姫路驛隊區ニ編入ノ請願外一件
（特別報告第三〇六號）金田岬神合暗礁ニ航路標識設置ノ請願
（特別報告第三〇七號）稚内、利尻、禮文間定期補助航路開始ノ請願
（特別報告第三一三號）夕張川治水速成ノ請願
（特別報告第三一七號）本建築著手猶豫ニ關スル請願
（特別報告第三二一號）大津村厚内漁港修築ノ請願
（特別報告第三二二號）厚田漁港修築ニ關スル請願
（特別報告第三二三號）瀬棚港修築ノ請願
（特別報告第三二四號）辯邊村ニ漁港築設ノ請願
（特別報告第三三九號）國際補助語「エスペラント」ヲ小、中學校教科目ニ編入ノ請願
（特別報告第三四〇號）日本「エスペラント」學會ニ對スル補助竝奬勵ノ請願
（特別報告第三四一號）人工降雨法研究所ニ對シ國庫補助ノ請願
（特別報告第三四二號）私立中等學校ニ國庫補助金交付ノ請願外一件
（特別報告第三四三號）旭川市ニ官立高等工業學校設置ノ請願
（特別報告第三四七號）仙臺、古川、一關間ニ鐵道敷設ノ請願
（特別報告第三四九號）尼崎市ニ臨港鐵道敷設ノ請願
（特別報告第三五〇號）深川町、下蔵別間鐵道敷設ノ請願

（特別報告第三五二號）湖南筋道敷設ノ請願
（特別報告第三五四號）柳津、小出間及只見、古町間鐵道速成ノ請願
（特別報告第三五六號）中村、白石間鐵道速成ノ請願外九件
（特別報告第三五八號）比布、愛別間鐵道速成ノ請願外一件
（特別報告第三六九號）失效貯蓄既貼印紙戻税ニ關スル請願
（特別報告第三七〇號）清涼飲料税撤廢ニ關スル請願
（特別報告第三七一號）玉川宮岩宮八幡宮再興ニ關スル請願
（特別報告第三七二號）千歳川改修竝沿岸土地改良工事施行ニ關スル請願
（特別報告第三七三號）由良川改修速成ニ關スル請願
（特別報告第三七四號）塩港修築速成ニ關スル請願
（特別報告第三七五號）北海道既設土功組合救濟ニ關スル請願
（特別報告第三七六號）癩患者自由療養地區設定ノ請願
（特別報告第三七七號）水力電氣事業ト林産物輸送ト調和ニ關スル請願
（特別報告第三七八號）造林助成法制定ニ關スル請願
（特別報告第三七九號）林産物運搬設備助成擴張ニ關スル請願
（特別報告第三八〇號）相良漁港修築ノ請願
（特別報告第三八一號）鰺ヶ澤漁港修築ノ請願
（特別報告第三八二號）遭難漁業者竝遭難漁船救恤費國家補助ニ關スル請願
（特別報告第三八三號）森林火災保險國營竝林業金融ニ關スル請願
（特別報告第三八四號）保險物評價委員設置ニ關スル法律制定ノ請願
（特別報告第三八五號）度量衡法中改正ニ關スル請願外十五件

（特別報告第三七號）笠野原飛行場ニ陸海軍飛行隊設置ノ請願
（特別報告第三八號）舞鶴軍港廢止ニ伴フ個人救濟ノ請願
（特別報告第三九號）垂水町大字海潟ニ無集配郵便局設置ノ請願
（特別報告第三九號）三神村郵便取扱所ヲ無集配郵便局ニ改定ノ請願
（特別報告第三九一號）白河町字田町ニ無集配郵便局設置ノ請願
（特別報告第三九二號）肥田村ニ無集配郵便局設置ノ請願
（特別報告第三九三號）託間村大字松崎ニ集配郵便局設置ノ請願
（特別報告第三九四號）原別村ニ三等郵便局設置ノ請願
（特別報告第三九五號）神前村ニ郵便局設置ノ請願
（特別報告第三九六號）佐分利郵便局ニ集配事務開始ノ請願
（特別報告第三九七號）足代郵便局ニ集配事務開始ノ請願
（特別報告第三九八號）町屋郵便取扱所ヲ無集配局ニ改定ノ請願
（特別報告第三九九號）府中郵便局ヲ二等局ニ昇格ノ請願
（特別報告第四〇〇號）志發、多樂、水晶、勇留ノ四島ニ無線電信局設置ノ請願
（特別報告第四〇一號）小野町ヨリ阪神ヘ直通電話架設ノ請願
（特別報告第四〇二號）千歳村字ママチニ航空場設置ノ請願
（特別報告第四〇三號）小鳥谷村ニ區裁判所出張所設置ノ請願
（特別報告第四〇四號）金ヶ崎町ニ水澤區裁判所出張所設置ノ請願
（特別報告第四〇五號）中頓別ニ區裁判所設置ノ請願
（特別報告第四〇六號）帶廣區裁判所ニ地方裁判所支部設置ノ請願
（特別報告第四一七號）大富士國立大公園設定ニ關スル請願
（特別報告第四一八號）釧路港海陸連絡施設速成ノ請願
（特別報告第四一九號）高砂港修築ノ請願
（特別報告第四二〇號）小鮎川治水竝用排水工事施行ノ請願
（特別報告第四二一號）統内原野土地改良事業施行ニ關スル請願
（特別報告第四二二號）大沼公園ヲ國立公園ニ指定ノ請願
（特別報告第四二三號）大富士國立大公園設定ニ關スル請願
（特別報告第四二四號）理髪營業取締規則統一其ノ他ニ關スル請願

（特別報告第四二五號）踏切改良其ノ他ニ關スル請願
（特別報告第四二六號）常總鐵道買收ニ關スル請願外一件
（特別報告第四二七號）日本電氣鐵道株式會社設立許可促進ニ關スル請願
（特別報告第四二八號）拓殖産業會館設立ノ請願
（特別報告第四二九號）朝鮮人訴訟代理業者ニ辯護士資格付與ノ請願
（特別報告第四三〇號）北米合衆國菜豆關税引上ノ善後措置ニ關スル請願
（特別報告第四三一號）甘藷燒酎税率引下ニ關スル請願
（特別報告第四三二號）煙草耕作者救濟ニ關スル請願外六件
（特別報告第四三三號）神前村ニ煙草元賣捌店設置ノ請願
（特別報告第四三四號）再製臨原料拂下價格ニ關スル請願
（特別報告第四三五號）會根八幡宮昇格ニ關スル請願
（特別報告第四三六號）重信川改修ノ請願
（特別報告第四三七號）四日市、敦賀間道路ヲ國道ニ認定ノ請願外二件
（特別報告第四三八號）明世村、名古屋市間道路ヲ國道ニ認定ノ請願
（特別報告第四三九號）釧路港海陸連絡施設速成ノ請願
（特別報告第四四〇號）高砂港修築ノ請願
（特別報告第四四一號）小鮎川治水竝用排水工事施行ノ請願
（特別報告第四四二號）統内原野土地改良事業施行ニ關スル請願
（特別報告第四四三號）大沼公園ヲ國立公園ニ指定ノ請願
（特別報告第四四四號）大富士國立大公園設定ニ關スル請願
（特別報告第四四五號）理髪營業取締規則統一其ノ他ニ關スル請願
（特別報告第四四六號）木竹薪炭其ノ他ノ鐵道賃幅減ニ關スル請願

（特別報告第四四七號）鹿兒島、宮崎、大分、福岡、山口、島根、鳥取、兵庫、和歌山、三重、愛知、靜岡、神奈川、千葉、茨城、福島、宮城、岩手、青森、北海道ノ各道廳ニ水産試驗場設置ノ請願
（特別報告第四四八號）大富士國立大公園設定ニ關スル請願
（特別報告第四四九號）高津町ニ停車場設置ノ請願
（特別報告第四五〇號）佐用町ニ停車場設置ノ請願
（特別報告第四五一號）高津町ニ停車場設置ノ請願
（特別報告第四五二號）吾郷村大字乙原ニ停車場設置ノ請願
（特別報告第四五三號）谷峨信號場ヲ普通驛ニ變更ノ請願
（特別報告第四五四號）苫竹信號所ヲ普通驛ニ變更ノ請願
（特別報告第四五五號）眞室川驛ヨリ安楽城村方面ニ通ズル軌道敷設ノ請願
（特別報告第四五六號）沙留漁港修築ノ請願外一件
（特別報告第四五七號）青森市附近ニ公營競馬場設置ノ請願外一件
（特別報告第四五八號）高知縣國立種馬所復活ノ請願
（特別報告第四五九號）新庄町字高場ニ無集配郵便局設置ノ請願
（特別報告第四六〇號）蘇溝村ニ無集配郵便局設置ノ請願
（特別報告第四六一號）田殿村ニ三等郵便局設置ノ請願
（特別報告第四六二號）滑津村字平名塚ニ三等郵便局設置ノ請願
（特別報告第四六三號）西谷郵便局ニ集配事務開始ノ請願
（特別報告第四六四號）寒川郵便局ニ集配事務開始ノ請願
（特別報告第四六五號）西郷郵便局ニ集配事務開始ノ請願
（特別報告第四六六號）西太良郵便局ニ集配事務開始ノ請願
（特別報告第四六七號）町村電話ヲ既設電信線路ニ添架ノ請願
（特別報告第四六八號）樺島ニ燈臺設置ノ請願
（特別報告第四六九號）菅田町ニ區裁判所出張所設置ノ請願
（特別報告第四七〇號）眞室川村ニ區裁判所出張所設置ノ請願
（特別報告第四七一號）本郷村ニ新見區裁判所出張所設置ノ請願
（特別報告第四七二號）倶知安町ニ區裁判所設置ノ請願
（特別報告第四七三號）大田原區裁判所ニ地方裁判所支部設置ノ請願
（特別報告第四七四號）東厚保村外六箇町村ヲ船木區裁判所管轄ニ變更ノ請願
（特別報告第四七五號）琴似村ニ高等工業學校設置ノ請願

特許 673 号

（特別報告第四七六號）生保内、花輪間鐵道敷設速成ノ請願
（特別報告第四七七號）增毛、江別間鐵道敷設ノ請願
（特別報告第四七八號）雨龍、佐久間鐵道敷設ノ請願
（特別報告第四七九號）長柄驛ヲ普通停車場ニ昇格ノ請願
（特別報告第四八〇號）中央線立町信號場附近ニ停車場設置ノ請願
（特別報告第四八一號）湯田村宇中村附近ニ停車場設置ノ請願
（特別報告第四八二號）雨國、御茶ノ水間高架鐵道中茅町ニ停車場設置ノ請願
（特別報告第四八三號）山下村ニ停車場設置ノ請願
（特別報告第四八四號）菱刈、薩摩大口間ニ停車場設置ノ請願
（特別報告第四八五號）三津濱町ニ稅關支署設置ニ關スル請願
（特別報告第四八六號）敦賀間海岸鐵道敷設ノ請願
（特別報告第四八七號）名寄支廳設置ノ請願
（特別報告第四八八號）矢上村ニ區裁判所出張所設置ノ請願
（特別報告第四八九號）精道村蔦屋ニ區裁判所出張所設置ノ請願
（特別報告第四九〇號）大岩村ニ停車場設置ノ請願
（特別報告第四九一號）高場郵便局ニ電信、電話事務開始ノ請願
（特別報告第四九二號）玉野郵便局ニ集配事務開始ノ請願
（特別報告第四九三號）廣丘村大字原新田ニ停車場設置ノ請願
（特別報告第四九四號）西明寺村ニ三等郵便局設置ノ請願
（特別報告第四九五號）上磯、松前兩鐵道連成ノ請願
（特別報告第四九六號）西脇町ヨリ阪神ヘ直通電話架設ノ請願

（特別報告第四九七號）一關ニ高等蠶業教育機關設置ノ請願
（特別報告第四九八號）荒川堤外地水雜救濟施設ニ關スル請願
（特別報告第五〇二號）軍人傷痍記章令改正即行ニ關スル請願外一件
（特別報告第五〇五號）伊達紋別、札幌間鐵道敷設ノ請願外二件

右各請願ハ一括シテ院議ニ付シ内容同一ノ法律案若ハ建議案議決ノ結果右請願ノ採擇ト看做スヘキモノアルモ其ノ整理ハ議長ニ一任スルコトシテ共ニ委員長報告ノ通採擇スルニ決ス

グロスター公殿下御來朝ノ際ニ於ケル歡迎ノ件（議長發議）

右件ハ之ヲ可決ス

議院法中改正法律案（名川侃市君外三名提出）

右議案ハ土屋清三郎君提出衆議院議員選舉法中改正法律案外十九件委員ニ併セ付託スルニ決ス

建築士法案（岡田忠彥君外六名提出）

右議案ハ第一讀會ノ續會ヲ開キ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通修正議決ス

國定教科書給法案（種口秀雄君外六名提出）

右議案ハ第一讀會ノ續會ヲ開キ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ之ヲ可決ス

工場法中改正法律案（千葉三郎君外五名提出）

右議案ハ第一讀會ノ續會ヲ開キ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ之ヲ可決ス

司法代書人法中改正法律案（坂本志為雄君外三名提出）

右議案ハ第一讀會ノ續會ヲ開キ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通修正議決ス

副議長ハ兩院協議會ヲ開クコトヲ求メサルヘカラス依テ協議委員ノ數及其ノ選舉ノ方法ヲ議題ト爲ス旨ヲ告ケ院議協議委員ノ數ハ十名トシ其ノ選舉方法ハ議場ニ於テ選舉スルニ決シタル旨ヲ宣ス

兩院協議委員ノ選舉

右選舉ノ結果左ノ十名ハ靴モニ百十六點ノ最多數ヲ得テ當選ヌ

若宮　貞夫君
松浦五兵衛君
井出謹二郎君
大内　畯三君
清六君
副議長ハ兩院協議委員諸君ハ直ニ交渉室ニ參集シ議長及副議長ト互選セラレムコトヲ望ム旨ヲ告ク

府縣制中改正法律案（政府提出）貴族院回付案

市制中改正法律案（政府提出）貴族院回付案

町村制中改正法律案（政府提出）貴族院回付案

北海道會法中改正法律案（政府提出）貴族院回付案

北海道地方費法中改正法律案（政府提出）貴族院回付案

右五案ハ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ共ニ貴族院ノ修正ニ同意スルニ決ス

日「ソ」漁業條約實施ニ關スル法律案（岸田正記君外二名提出）

網紀粛正ニ關スル質問（小俣政一君提出）

煉瓦業ニ關スル質問（東郷實君提出）

足尾銅山鑛毒ニ關スル第三回質問（栗原彦三郎君提出）

檢事ノ職權濫用ニ關スル質問（横山勝太郎君提出）

亞細亞政策ト裏日本啓發ニ關スル再質問（山田敬一君外七名提出）

栃木縣ノ政治ニ關スル質問（高田耘平君外四名提出）

健康保險ニ關スル質問（清水留三郎君提出）

群馬縣警察部内官吏紊亂ニ關スル質問（篠塚春太郎君外二名提出）

刑餘者ノ保護及刑事政策施設ニ關スル質問（岡田忠彥君外一名提出）

右各質問ニ付議長ハ第一ノ質問ハ提出者ノ申立ニ依リ撤回ヲ許可シタル旨ヲ告ケ次テ其ノ他ノ質問ハ孰レモ答辯書ヲ受領シタル旨ヲ告ク

（第二號）昭和四年度歲入歲出總豫算追加案貴族院回付案

右議案ハ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ貴族院ノ修正ニ同意スルニ決ス

北海道鐵道敷設速成ニ關スル建議案（木下成太郎君外九名提出）

東京府及神奈川縣ニ於ケル震災ノ爲土地區劃整理ヲ施行セル地區内ノ假建築著手期限延長ニ關スル法律案（矢野錄吉君外十四名提出）

右議案ハ第一讀會ノ續會ヲ開キ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シ表題ヲ「東京府及神奈川縣ニ於ケル震災ノ爲土地區劃整理ヲ施行セル地區内ノ假建築著手期限變更ニ關スル法律案」ニ改メ委員長報告ノ通修正議決ス

決議案（不戰條約批准奏請ノ件）（尾崎行雄君外三名提出）

右議案ニ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ院議之ヲ否決ス

北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十二鐵道等買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）貴族院回付案

右議案ハ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ貴族院ノ修正ニ同意セサルニ決ス

副議長ハ右議決ノ結果議院法第五十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クコトヲ求メサルヘカラス依テ協議委員ノ數及其ノ選舉ノ方法ヲ議題ト爲ス旨ヲ告ケ院議協議委員ノ數ハ十名トシ其ノ選舉方法ハ議場ニ於テ選舉スルニ決シタル旨ヲ宣ス

兩院協議委員ノ選舉

右選舉ノ結果左ノ十名ハ靴モニ百十六點ノ最多數ヲ得テ當選ヌ

高橋　光威君
木下成太郎君
松野　鶴平君
岡田　忠彥君
提　清六君
副議長ハ兩院協議委員諸君ハ直ニ交渉室ニ參集シ議長及副議長ト互選セラレムコトヲ望ム旨ヲ告ク

府縣制中改正法律案（政府提出）貴族院回付案

北海道鐵道敷設速成ニ關スル建議案（木下成太郎君外九名提出）

滋賀縣ニ國立淡水養魚試驗場設置ニ關スル建議案（富田八郎君外二名提出）

廣島市ニ貯金支局設置ニ關スル建議案（岸田正記君外二名提出）

大分縣野上村ニ區裁判所出張所設置ニ關スル建議案（金光庸夫君提出）

琵琶湖ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案（清水銀藏君外二名提出）

六甲山ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案（篠山貞吉君提出）

尾張戸神社昇格ニ關スル建議案（丹下茂十郎君提出）

皇漢醫學ニ關スル建議案（高橋龍次郎君外一名提出）

山梨縣鰍澤山ニ區裁判所設置ニ關スル建議案（田邊七六君提出）

右十三案ハ議事日程ヲ變更シ一括シテ委員長ノ報告ヲ求メ吉松八代間鐵道竝化促進ニ關スル建議案（松野鶴平君提出）ハ先ニ「深水清君提出吉松八代間電化ニ關スル建議案」可決ノ結果議決ヲ要セサルモノトシ其ノ他ノ十二案ハ共ニ之ヲ可決ス

酒造稅法中改正法律案（永久保甚作君提出）

右議案ハ議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通修正議決ス

議長ハ內閣總理大臣ヨリ左ノ通牒ヲ受領セルニ依リ之ヲ朗讀スル旨ヲ告ク

本月二十六日貴族院ニ於テ帝國議會閉院ニ關スル詔勅ヲ奉讀シ終リテ院議ヲ以テ閉院ノ式ヲ行フヘキ旨ヲ議長ニ通知シタリ仍テ此段及通牒候也

地方鐵道法中改正法律案（政府提出）貴族院回付案

右議案ハ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ貴族院ノ修正ニ同意スルニ決ス

北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十三鐵道等買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案兩院協議會成案

右議案ハ議事日程ヲ變更シテ兩院協議會ノ成案ヲ可決ス

會議長ノ報告ヲ求メ採決中議長ハ會期終了ノ際ニ於ケル議院法中改正法律案（政府提出）貴族院回付案ハ議事ヲ中止スル旨ヲ宣告ス

議長ハ本期議會ニ於ケル議案ノ經過概要竝議員ニ慇懃ノ辭ヲ述ヘ散會ヲ宣告ス

◉兩院協議會請求及通知　本月二十五日左ノ政府提出案（貴族院回付）ニ付貴族院ニ對シ兩院協議會ヲ開クコトヲ請求シ又同時ニ其委員ノ數ハ十名ト爲スニ決セル旨ヲ同院ニ通知セリ

北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十三鐵道等買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

◉答辯書受領　本月十三日田中內閣總理大臣ヨリ元田議長宛本年一月三十一日本會議ニ於ケル國務大臣ノ演說ニ關スル山崎延吉君ノ質疑ニ對スル答辯書ヲ受領セリ

終了ノ時刻切迫シ採決ヲ爲スノ時間無キニ依リ本案ノ議事ヲ中止スル旨ヲ宣告ス

議長ハ本期議會ニ於ケル議案ノ經過概要竝議員ニ慇懃ノ辭ヲ述ヘ散會ヲ宣告ス

◉兩院協議會請求及通知　本月二十五日左ノ政府提出案（貴族院回付）ニ付貴族院ニ對シ兩院協議會ヲ開クコトヲ請求シ又同時ニ其委員ノ數ハ十名ト爲スニ決セル旨ヲ同院ニ通知セリ

北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十三鐵道等買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

◉答辯書受領　本月十三日田中內閣總理大臣ヨリ元田議長宛本年一月三十一日本會議ニ於ケル國務大臣ノ演說ニ關スル山崎延吉君ノ質疑ニ對スル答辯書ヲ受領セリ

正誤

一昨二十八日本欄議案奏上及通知ノ項末尾ニ地方鐵道法中改正法律案ノ一行ヲ脫ス（報告部）

衆議院書記官

在外公館報告

第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通修正議決ス

東京府及神奈川縣ニ於ケル震災ノ爲土地區劃整理ヲ施行セル地區内ノ假建築著手期限延長ニ關スル法律案（矢野錄吉君外十四名提出）

右議案ハ第一讀會ノ續會ヲ開キ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シ表題ヲ「東京府及神奈川縣ニ於ケル震災ノ爲土地區劃整理ヲ施行セル地區内ノ假建築著手期限變更ニ關スル法律案」ニ改メ委員長報告ノ通修正議決ス

決議案（不戰條約批准奏請ノ件）（尾崎行雄君外三名提出）

右議案ニ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ貴族院之ヲ否決ス

北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十二鐵道等買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）貴族院回付案

右議案ハ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ貴族院ノ修正ニ同意セサルニ決ス

副議長ハ右議決ノ結果議院法第五十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クコトヲ求メサルヘカラス依テ協議委員ノ數及其ノ選舉ノ方法ヲ議題ト爲ス旨ヲ告ケ院議協議委員ノ數ハ十名トシ其ノ選舉方法ハ議場ニ於テ選舉スルニ決シタル旨ヲ宣告ス

兩院協議委員ノ選舉

右選舉ノ結果左ノ十名ハ靴モニ百十六點ノ最多數ヲ得テ當選ヌ

若宮　貞夫君
松浦五兵衛君
井出謹二郎君
大内　畯三君
清六君
副議長ハ兩院協議委員諸君ハ直ニ交渉室ニ參集シ議長及副議長ト互選セラレムコトヲ望ム旨ヲ告ク

府縣制中改正法律案（政府提出）貴族院回付案

市制中改正法律案（政府提出）貴族院回付案

北海道會法中改正法律案（政府提出）貴族院回付案

北海道地方費法中改正法律案（政府提出）貴族院回付案

右五案ハ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ共ニ貴族院ノ修正ニ同意スルニ決ス

日「ソ」漁業條約實施ニ關スル法律案（岸田正記君外二名提出）

網紀粛正ニ關スル質問（小俣政一君提出）

煉瓦業ニ關スル質問（東郷實君提出）

足尾銅山鑛毒ニ關スル第三回質問（栗原彦三郎君提出）

檢事ノ職權濫用ニ關スル質問（横山勝太郎君提出）

亞細亞政策ト裏日本啓發ニ關スル再質問（山田敬一君外七名提出）

栃木縣ノ政治ニ關スル質問（高田耘平君外四名提出）

健康保險ニ關スル質問（清水留三郎君提出）

群馬縣警察部内官吏紊亂ニ關スル質問（篠塚春太郎君外二名提出）

刑餘者ノ保護及刑事政策施設ニ關スル質問（岡田忠彥君外一名提出）

右各質問ニ付議長ハ第一ノ質問ハ提出者ノ申立ニ依リ撤回ヲ許可シタル旨ヲ告ケ次テ其ノ他ノ質問ハ孰レモ答辯書ヲ受領シタル旨ヲ告ク

（第二號）昭和四年度歲入歲出總豫算追加案貴族院回付案

右議案ハ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ貴族院ノ修正ニ同意スルニ決ス

北海道鐵道敷設速成ニ關スル建議案（木下成太郎君外九名提出）

東京府及神奈川縣ニ於ケル震災ノ爲土地區劃整理ヲ施行セル地區内ノ假建築著手期限延長ニ關スル法律案（矢野錄吉君外十四名提出）

右議案ハ第一讀會ノ續會ヲ開キ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シ表題ヲ「東京府及神奈川縣ニ於ケル震災ノ爲土地區劃整理ヲ施行セル地區内ノ假建築著手期限變更ニ關スル法律案」ニ改メ委員長報告ノ通修正議決ス

決議案（不戰條約批准奏請ノ件）（尾崎行雄君外三名提出）

右議案ニ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ貴族院之ヲ否決ス

北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十二鐵道等買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）貴族院回付案

右議案ハ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ貴族院ノ修正ニ同意セサルニ決ス

副議長ハ右議決ノ結果議院法第五十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クコトヲ求メサルヘカラス依テ協議委員ノ數及其ノ選舉ノ方法ヲ議題ト爲ス旨ヲ告ケ院議協議委員ノ數ハ十名トシ其ノ選舉方法ハ議場ニ於テ選舉スルニ決シタル旨ヲ宣告ス

兩院協議委員ノ選舉

右選舉ノ結果左ノ十名ハ靴モニ百十六點ノ最多數ヲ得テ當選ヌ

若宮　貞夫君
高橋　光威君
松浦五兵衛君
井出謹二郎君
松野　鶴平君
大内　畯三君
岡田　忠彥君
清六君
提
副議長ハ兩院協議委員諸君ハ直ニ交渉室ニ參集シ議長及副議長ト互選セラレムコトヲ望ム旨ヲ告ク

府縣制中改正法律案（政府提出）貴族院回付案

市制中改正法律案（政府提出）貴族院回付案

觀象

◉全國氣象

（綠字）氣圧ハ一ヶ水銀下ノ度ナリ天氣ノ○快晴、◐晴、◑曇、●雨、雪、霰ノ符號ヲ用ヒ雨量ハ午前六時ヨリ翌日午前六時マデノ降量ヲ二月二十六日

地名	氣圧（海面更正）	天氣（午前六時）	天氣（午後六時）	降水量（粍）
樺太	30.7	◑	◑	24.9
ウラジオ	33.0	○	○	—
函館	28.3	○	○	0.3
寿都	30.0	○	○	2.1
札幌	20.9	◑	◑	19.5
岩見沢	17.6	◑	◑	15.6
網走	17.4	◑	◑	14.0
寿都	15.8	◑	◑	12.2
函館	15.7	◑	◑	12.6
秋田	12.4	◑	◑	5.8
盛岡	11.1	◑	◑	7.2
仙台	10.9	◑	◑	9.0
山形	10.8	◑	◑	6.6
福島	11.6	◑	◑	7.9
新潟	12.2	◑	◑	6.6
長野	11.4	◑	●	6.0
水戸	15.6	◑	—	6.6
東京	15.4	◑	—	6.1
銚子	15.8	◑	◑	5.9
名古屋	12.6	◑	◑	3.0
静岡	21.4	◑	◑	12.0
大阪	15.3	◑	◑	5.5
神戸	15.3	◑	◑	5.7
和歌山	15.3	◑	◑	5.7
鳥取	15.3	◑	◑	5.7
松江	15.3	◑	◑	5.7
岡山	15.3	◑	◑	5.7
広島	15.3	◑	◑	5.7
山口	15.3	◑	◑	5.7
福岡	15.3	◑	◑	5.7
佐賀	15.3	◑	◑	5.7
長崎	15.3	◑	◑	5.7
熊本	15.3	◑	◑	5.7
大分	15.3	◑	◑	5.7
宮崎	15.3	◑	◑	5.7
鹿児島	15.3	◑	◑	5.7
那覇	15.3	◑	◑	5.7
台北	15.3	◑	◑	5.7
台中	15.3	◑	◑	5.7
台南	15.3	◑	◑	5.7
花蓮港	15.3	◑	◑	5.7
澎湖島	15.3	◑	◑	5.7

許可 673 号

第673号 本文

福岡	15.1	11.1	●	○	1.2
厳原	10.1	8.0	●	●	3.3
下關	11.9	7.9	○	●	1.3
濱田	12.6	7.7	○	○	1.7
境	10.4	6.5	○	●	1.3
津	10.1	7.8	○	—	1.2
岐阜	9.3	4.2	○	—	2.2
名古屋	9.0	5.5	●	●	1.0
濱松	13.3	8.8	○	●	1
沼津	11.8	8.6	○	—	5
横濱	9.4	6.1	○	○	5
東京	10.7	6.1	○	●	8
熊谷	10.0	7.6	○	—	4
銚子	12.2	[illegible]	○	○	[illegible]
父島	22.8	18.2	⦶	○	—
高山	7.0	0.6	○	●	1.1
飯田	6.3	0.8	○	—	1.5
松本	9.5	−3.3	○	—	5
長野	13.0	−2.8	○	●	—
甲府	10.6	5.1	○	●	5
前橋	9.5	6.2	○	●	6
宇都宮	10.1	3.9	○	●	1.1
福島	13.8	−4.8	○	○	2
彦根	8.9	2.6	○	—	1.2
福井	9.3	−0.4	○	●	9
金澤	10.2	0.3	⊙	—	3
伏木	8.9	2.5	○	—	3
高田	9.5	−3.8	⦶	—	—
新潟	7.8	−0.6	○	○	1
山形	9.4	−4.5	⦶	—	4
秋田	7.4	−4.8	○	○	—
水戸	12.4	3.6	○	—	1.0
石卷	6.3	−2.8	○	○	8
盛岡	8.1	−6.2	○	○	—
宮古	10.8	−4.5	○	○	—
青森	5.2	−5.5	⦶	○	—
函館	7.1	−3.2	○	○	—
壽都	6.6	−1.5	○	—	—
札幌	4.6	−6.2	⊖	○	—
羽幌	3.9	0.4	○	—	—
旭川	5.7	−3.5	○	○	—
浦河	3.8	−3.5	○	○	—
帶廣	9.7	−3.9	○	○	—
網走	3.9	−2.7	○	○	—
釧路	4.2	−3.5	○	—	—
根室	5.1	−3.0	○	○	—
紗那	—	—	—	—	—
大泊	2.2	−4.4	○	○	—
敷香	4.5	−6.4	⊖	○	—
釜山	8.5	6.1	○	●	31
木浦	10.4	6.8	●	●	7
仁川	15.6	3.2	○	○	—

江陵	8.0	1.0	○	○	—
元山	6.5	0.9	○	○	1
城津	5.7	−0.2	○	○	—
雄基	4.3	−1.8	○	⦶	—
龍岩浦	12.5	3.3	○	⦶	—
大連	12.1	2.8	○	○	—
營口	15.1	−0.1	○	○	—
奉天	17.8	1.4	○	○	—
長春	14.5	−3.7	○	○	—
天津	11.0	2.7	○	○	—
青島	10.3	4.7	●	●	1
上海	12.9	8.9	○	○	—

◉東京氣象

三月二十七日　天氣概況　雨

平均氣壓(海面ノ度)　七六四・六粍　　平均雲量　一〇・〇

平均氣溫　九・七度　　日照時間　〇・〇時

平年ヨリ一・五度高シ　　平均風速度　二・八米

最高氣溫　一三・二度　　最大風速度　三・七米

最低氣溫　六・〇度　　最多風向　北

前五日間平均氣溫　一一・二度　　降水總量　一〇・九粍

平年ヨリ四・四度高シ　　一時間最大降水量　二・五粍

平均濕度　九四%

平均水蒸氣張力　八・六粍

記事　前日來ノ雨午前四時三十分マテ、同六時十五分ヨリ翌日ニ亙リ降雨アリ

(以上中央氣象臺)

土地收用公告

昭和四年二月十五日內務大臣ニ於テ認定公告相成タル廣島縣知事起業ニ係ル學校敷地擴張工事ノ爲收用スヘキ土地ノ細目左ノ如シ

昭和四年三月三十日

廣島縣知事　岸本正雄

土地收用細目

廣島縣豐田郡忠海町字植松三千八百四十五番地、三千八百六十番地、三千八百六十二番地、三千八百六十九番地溜池

正誤

本月十八日本欄埼玉縣ノ部土地細目中四八九頁二段六行「字覺鈫」ハ「字覺鎖」同十一行「宇川島」ハ「字川島」同二十七行「字トウガク木」ハ「字トウガクホ」ノ孰モ報告誤

埼玉縣書記官

廣告

◉高等試驗(行政科、外交科、司法科)公告

高等試驗(行政科、外交科、司法科)施行ニ付高等試驗令、大正十二年勅令第百九十七號及高等試驗令施行細則ニ依リ左記ノ通公告ス

昭和四年三月

高等試驗委員長　前田米藏

(一)出願期限

豫備試驗ヲ受クル者ニ在リテハ昭和四年四月一日ヨリ同年五月五日迄(但シ昭和五年以後ハ毎年四月一日ヨリ四月二十五日迄トス)其ノ他ノ者ニ在リテハ昭和四年五月一日ヨリ同年五月二十五日迄

(二)試驗ノ期日及場所

豫備試驗及本試驗ノ試驗期日及場所ハ追テ公告ス但シ豫備試驗ハ五月下旬頃施行ノ豫定

(三)受驗願書、履歷書等

(イ)願書ニハ十五圓ノ收入印紙ヲ貼附スヘシ但シ消印スヘカラス

(ロ)高等試驗令ニ依ル出願者ハ受驗願書(第一號書式)ニ履歷書(第二號書式)及高等試驗令第七條又ハ第八條ノ規定ニ該當スル者ナルコトヲ證スル書類竝ニ出願前一年以內ニ帽ヲ著ケスシテ撮影シタル手札形寫眞(裏面ニ撮影年月日及氏名ヲ自署スヘシ)ヲ必ス添附スヘシ

(ハ)大正十二年勅令第百九十七號ニ依リ豫備試驗ノ免除ヲ申請セントスル者ハ受驗願書(第一號書式)ニ履歷書(第二號書式)、豫備試驗免除申請書(第三號書式)及明治二十四年司法省令第三號判事檢事登用試驗規則ニ依ル試驗ノ受驗ヲ出願シタル者ナルコトヲ證スル書類竝ニ出願前一年以內ニ帽ヲ著ケスシテ撮影シタル手札形寫眞(裏面ニ撮影年月日及氏名ヲ自署スヘシ)ヲ必ス添附スヘシ

(ニ)一ノ科ノ筆記試驗ニ合格シタル者高等試驗令第十七條ノ規定ニ依リ其ノ科ノ筆記試驗ノ免除ヲ受ケントスルトキハ筆記試驗免除願書(第四號書式)ヲ添附スヘシ

(ホ)一ノ科ノ本試驗ニ合格シタル者ニシテ他ノ科ノ本試驗ヲ受ケントスル者高等試驗令第十八條ノ規定ニ依リ其ノ既ニ受驗シタル科目ノ試驗ノ免除ヲ受ケントスルトキハ科目受驗免除願書(第五號書式)ヲ添附スヘシ

(ヘ)書類ハ東京市麹町區元千代田町(丸ノ內和田倉門內)內閣內高等試驗事務所ヘ持參又ハ書留郵便ニテ差出スヘシ

(ト)尙受驗願書等ノ書式印刷シタルモノアルヲ以テ希望者ハ送付先ノ氏名及場所ヲ記載シタル封筒及三錢切手封入ノ上本試驗ノ分科ヲ示シ(大正十二年勅令第百九十七號、高等試驗令第十七條又ハ同令第十八條ニ依リ出願ヲ爲サントスル者ハ其ノ旨ヲ表示シ)高等試驗事務所ニ申出ツヘシ

又改正ノ高等試驗令ニ關シ疑義等アル向ハ高等試驗事務所ニ照會アリ度シ

(第一號書式)(用紙美濃紙)

高等試驗受驗願書

本籍　何府縣郡市町村何番地

戶主又ハ何某男兄弟

現住所　何府縣郡市町村何番地(何某方)

印紙

氏名(氏名ニハ振假字ヲ附スヘシ)

年月日生

私儀高等試驗(行政科 外交科 司法科)(受驗セントスル科名ヲ記ス)相受ケ度別紙履歷書、豫備試驗免除申請書(大正十二年勅令第百九十七號ニ依ル出願者ニ限ル)、筆記試驗免除願書(高等試驗令第十七條ノ規定ニ依ル出願者ニ限ル)、科目受驗免除願書(高等試驗令第十八條ノ規定ニ依ル出願者ニ限ル)及證明書(又ハ證書)竝ニ寫眞相添ヘ此段相願候也

(一)本試驗筆記試驗ノ受驗科目　何々

(二)本試驗口述試驗ノ受驗科目　何々

(三)豫備試驗ノ選擇外國語　英(佛、獨等)(豫備試驗受驗者ニ限ル)

年　月　日

氏　名㊞

高等試驗委員長氏名宛

(備考)

(イ)東京市內又ハ其ノ附近ニ現住所ヲ有セサル者ハ試驗委員長ヨリ發スル通知書ヲ受取ルヘキ場所ヲ必ス東京市內又ハ其ノ附近ニ定メ左ノ書式ニ依リ追記シ又現住所若ハ通知書ヲ送付スヘキ宿所ヲ轉シタルトキハ其ノ時時直ニ届出ツヘシ

追テ委員長ヨリ發スル通知書ハ左ノ所ニ御發送被成下度候

東京市何區何町(何丁目)何番地(何某方)

(ロ)二科以上ノ試驗ヲ併セ受ケントスル者ハ各別ニ受驗願書及履歷書竝ニ出願前一年以內ニ帽ヲ著ケスシテ撮影シタル手札形寫眞(裏面ニ撮影年月日及氏名ヲ自署スヘシ)ヲ差出スヘシ

(ハ)一ノ科ノ筆記試驗ニ昨年合格シタル者高等試驗令第十七條ノ規定ニ依リ其ノ科ノ筆記試驗ノ免除ヲ受ケントスルトキハ本書式中ノ前段ニ在ル氏名ノ上ニ「(昨年筆記試驗合格者)」ト記入シ、本書式中「本試驗筆記試驗ノ受驗科目」ノ部ハ左ノ如ク記載スヘシ

昨年ノ本試驗筆記試驗ニ於テ受驗シタル科目　何々

(ニ)一ノ科ノ本試驗ニ合格シタル者ニシテ他ノ科ノ本試驗ヲ受ケントスル者高等試驗令第十八條ノ規定ニ依リ其ノ既ニ受驗シタル科目ノ試驗ノ免除ヲ受ケントスルトキハ本書式中ノ前段ニ在ル氏名ノ上ニ「(何々科試驗合格者)」ト記入シ、本書式中「本試驗筆記試驗ノ受驗科目」及「本試驗口述試驗ノ受驗科目」ノ部ハ左ノ如ク記載スヘシ

(一)本試驗筆記試驗ノ受驗科目

(イ)免除ヲ受クヘキ科目　何々

(ロ)受驗スヘキ科目　何々

(二)本試驗口述試驗ノ受驗科目

(イ)免除ヲ受クヘキ科目　何々

(ロ)受驗スヘキ科目　何々

(第二號書式)(用紙美濃紙)

履歷書

氏　名

學事

一何年何月ヨリ何地何某ニ就キ又ハ官公私立何學校ニ於テ何學ヲ修メ科目大略何々

一何年何月ヨリ何地官公私立何學校ニ入リ何學科ヲ修業シ何年何月卒業ス

職業

一何年何月何官廳ニ於テ何々拜命何々歷任等

賞罰

(第三號書式)(用紙美濃紙)

豫備試驗免除申請書

氏　名

私儀高等試驗司法科試驗ヲ受クルニ付豫備試驗ヲ免ゼラレ度大正十二年勅令第百九十七號ニ依リ此段申請候也

年　月　日

高等試驗委員長氏名宛　氏　名㊞

(第四號書式)(用紙美濃紙)

筆記試驗免除願書

私儀昨年何科試驗筆記試驗ニ合格シタル者ニ有之本年ノ筆記試驗ヲ免ゼラレ度高等試驗令第十七條ノ規定ニ依リ此段相願候也

年　月　日

高等試驗委員長氏名宛　氏　名㊞

(第五號書式)(用紙美濃紙)

科目受驗免除願書

私儀何年何々科試驗ニ合格シタル者ニ有之左ノ科目ハ何々科試驗ニ於テ受驗シタル科目ナルニ付其ノ試驗ヲ免ゼラレ度高等試驗令第十八條ノ規定ニ依リ此段相願候也

科目　何々

年　月　日

高等試驗委員長氏名宛　氏　名㊞

◉大正十二年法律第五十二號ニ依ル試驗公告

大正十二年法律第五十二號ニ依ル試驗施行ニ付同年勅令第百九十六號及同年閣令第四號ニ依リ左記ノ通公告ス

昭和四年三月三十日

高等試驗委員長　前田米藏

(一)出願期限

昭和四年五月一日ヨリ同年五月二十五日迄

(二)受驗願書、履歷書等

(イ)受驗願書ニハ十五圓ノ收入印紙ヲ貼附スヘシ但シ消印スヘカラス

(ロ)受驗願書(第一號書式)ニハ履歷書(第二號書式)及明治二十六年司法省令第九號辯護士試驗規則ニ依ル試驗ノ受驗ヲ出願シタル者ナルコトヲ證スル書類竝ニ出願前一年以內ニ帽ヲ著ケスシテ撮影シタル手札形寫眞(裏面ニ撮影年月日及氏名ヲ自署スヘシ)ヲ必ス添附スヘシ

(ハ)昨年ノ筆記試驗ニ合格シタル者大正十二年勅令第百九十六號及高等試驗令第十七條ノ規定ニ依リ本年ノ筆記試驗ノ免除ヲ受ケントスルトキハ筆記試驗免除願書(第三號書式)ヲ添附スヘシ

(ニ)書類ハ東京市麹町區元千代田町(丸ノ內和田倉門內)內閣內高等試驗事務所ヘ持參又ハ書留郵便ニテ差出スヘシ

(ホ)尙受驗願書及筆記試驗免除願書(昨年ノ筆記試驗合格者ニ限ル)ノ書式印刷シタルモノアルヲ以テ希望者ハ送付先ノ氏名及場所ヲ記載シタル封筒及三錢切手封入ノ上高等試驗事務所ニ申出ツヘシ

又改正ノ高等試驗令ニ關シ疑義等アル向ハ高等試驗事務所ニ照會アリ度シ

(三)試驗ノ期日及場所等ハ追テ之ヲ公告ス

(第一號書式)(用紙美濃紙)

大正十二年法律第五十二號ニ依ル試驗受驗願書

本籍　何府縣郡市町村何番地

戶主又ハ何某男兄弟

現住所　何府縣郡市町村何番地(何某方)

印紙

氏名(氏名ニハ振假字ヲ附スヘシ)

年月日生

私儀大正十二年法律第五十二號ニ依ル試驗相受ケ度別紙履歷書、筆記試驗免除願書(昨年ノ筆記試驗ニ合格シタル者ニ限ル)及證明書竝ニ寫眞相添ヘ此段相願候也

(一)本試驗筆記試驗ノ受驗科目　何々

(二)本試驗口述試驗ノ受驗科目　何々

年　月　日

氏　名㊞

高等試驗委員長氏名宛

(備考)

(イ)東京市內又ハ其ノ附近ニ現住所ヲ有セサル者ハ試驗委員長ヨリ發スル通知書ヲ受取ルヘキ場所ヲ必ス東京市內又ハ其ノ附近ニ定メ左ノ書式ニ依リ追記シ又現住所若ハ通知書ヲ送付スヘキ宿所ヲ轉シタルトキハ其ノ時時直ニ届出ツヘシ

追テ委員長ヨリ發スル通知書ハ左ノ所ニ御發送被成下度候

東京市何區何町(何丁目)何番地(何某方)

(ロ)昨年ノ筆記試驗ニ合格シタル者大正十二年勅令第百九十六號及高等試驗令第十七條ノ規定ニ依リ本年ノ筆記試驗ノ免除ヲ受ケントスルトキハ本書式中ノ前段ニ在ル氏名ノ上ニ「(昨年筆記試驗合格者)」ト記入シ、本書式中「本試驗筆記試驗ノ受驗科目」ノ部ハ左ノ如ク記載スヘシ

昨年ノ本試驗筆記試驗ニ於テ受驗シタル科目　何々

(第二號書式)(用紙美濃紙)

履歷書

氏　名

學事

一何年何月ヨリ何地何某ニ就キ又ハ官公私立何學校ニ於テ何學ヲ修メ科目大略何々

一何年何月ヨリ何地官公私立何學校ニ入リ何學科ヲ修業シ何年何月卒業ス

職業

一何年何月何官廳ニ於テ何々拜命何々歷任等

賞罰

(第三號書式)(用紙美濃紙)

筆記試驗免除願書

私儀昨年大正十二年法律第五十二號ニ依ル試驗ノ筆記試驗ニ合格シタル者ニ有之本年ノ筆記試驗ヲ免ゼラレ度大正十二年勅令第百九十六號及高等試驗令第十七條ノ規定ニ依リ此段相願候也

年　月　日

高等試驗委員長氏名宛　氏　名㊞

◉大正十二年閣令第三號第四號ニ基ク證明願ノ件

大正十二年五月四日閣令第三號第四號ニ基ク受驗資格ニ關スル證明書必要ノ者ハ左記書式ニ依リ證明願ヲ司法大臣官房人事課ニ差出スヘシ(郵便ニテ證明請求ノモノハ返信郵便切手三錢添付スヘシ)

昭和四年三月三十日

司法省

書式(用紙美濃全紙)

證明願(二通提出スヘシ)

本籍　府縣市郡町村番地

士族平民

氏　名

生年月日

右者明治二十四年司法省令第三號判事檢事登用試驗(明治二十六年司法省令第九號辯護士試驗)ニ依ル大正　年度試驗ニ受驗ヲ出願シタルモノニ相違ナキコトヲ御證明被成下度候

年　月　日

現住所

氏　名㊞

司法省御中

注意

一判檢事試驗ト辯護士試驗トハ各別ニ證明願ヲ差出スヘシ

一數回受驗シタル者ハ最後ノ年度ヲ記載シ本籍氏名族稱等ニ變更ヲ生シタル者ハ戶籍謄本ヲ添附スヘシ

一願書受領證所持ノ者ハ受領證ヲ添附シ之ヲ所持セサル者ハ別紙ニ當時ノ通知受領場所修學校名等參考ト爲ルヘキ事項ヲ記載シ添附スルヲ可トス

◉有位有勳者名刺差出方

日本帝國ノ勳三等以上ヲ有スル外國人ニシテ在東京ノ向ハ近々新宿御苑ニ於テ催サル、觀櫻會ニ召サルヘキニ付名刺ニ勳等住所竝ニ妻娘(娘ハ滿十五歳以上ニシテ未婚ノ者ニ限ル)ノ有無ヲ記載シ書留郵便ヲ以テ來ル四月五日マテニ當職ヘ差出スヘシ

但シ各官廳雇ノ者ハ此限ニアラス

從二位以下從四位以上勳二等勳三等ヲ有スル者ニシテ在東京ノ向ハ近々新宿御苑ニ於テ催サルル觀櫻會ニ召サルヘキニ付名刺ニ位階勳等住所竝ニ妻娘(娘ハ滿十五歳以上ニシテ未婚ノ者ニ限ル)ノ有無ヲ記載シ書留郵便ヲ以テ來ル四月五日マテニ當職ヘ差出スヘシ

但シ各官廳在籍者及華族ハ此限ニアラス

昭和四年三月

式部職

◉癈兵院寄附

本院ニ於テ昭和四年二月中基金ニ屬スル寄附金ヲ受領シタルモノ左ノ如シ

昭和四年三月

癈兵院

受領月日　寄附金額　寄附者本籍現住所族稱及官位勳等爵　氏名

二二九	圓 一二七・七四〇	濠州シドニー在住	日本人同志會
同	二八・五七〇	加州プレントウト在住	日本人代表 岡崎八三郎

◉證票無效

第二百拾參號　專賣官吏證票
岡山地方專賣局在勤專賣局書記　難波才一ヘ交付ノ分
右紛失ノ旨屆出ニ依リ無效トス
昭和四年三月　專賣局

◉軍隊教育用圖書檢閲濟翻刻物

昭和三年十二月二十四日陸軍省發行
一體操教範(縮製)
昭和四年二月二十日翻刻發行者　東京市神田區表神保町十番地　藤谷芳三郎
右昭和四年三月二十六日檢閲濟
昭和四年三月　陸軍省

◉檢定教科用圖書

檢定年月日	目的ノ學校竝學科ノ種類	圖書名	卷冊	發行年月日	定價	昭和四年度臨時定價
昭和四、三、二〇	師範學校　地理科	綱要世界地理　改版	一冊	昭和四、三、一三　訂正	七七錢	一・二七錢
四、三、二三	中學校 高等女學校　同	タツセン式　外國精圖	一	四、二、二六　同	九五	一・五七
以上著者　守屋荒美雄　以上發行者　東京市牛込區揚場町一番地　株式會社帝國書院						
同 (大正一四、二、六檢定濟ノモノ修正)	師範學校 中學校　同	綱要地理學通論 (新制綱要地理學通論)	一	四、三、一七　訂正四版	六五	一・〇八
同 (同)	師範學校 高等女學校　同	新制女子地理學通論	一	同	六五	一・〇八
以上著者　山崎直方　以上發行者　東京市小石川區小日向水道町八十四番地　株式會社東京開成館						
四、三、二三	高等女學校　同	女子地理新教科書　外國之部	一	四、三、一四　訂正再版	八五	一・四一
右著者　小川琢治　右發行者　東京市神田區通神保町九番地　合資會社冨山房						
同	師範學校　英語科 中學校　外國語科	A Concise School Grammar	一	四、三、一七　修正再版	三七	六一
右著者　市河三喜　右發行者　東京市麴町區大手町一丁目一番地　株式會社三省堂						

昭和四年三月　文部省

◉私設無線電信通信從事者資格檢定合格者

銓衡ニ依リ私設無線電信通信從事者資格檢定合格證書ヲ付與セル者ノ資格等級及氏名左ノ如シ
昭和四年三月　私設無線電信通信從事者資格檢定委員長　畠山敏行

第二級
和田末松　山瀨令次　山田次男
山本伊尹　前田寅之助　櫻井德治
漁船級
堀三次　船場伊勢吉　丸山蕃明
野本勝治　田中登
第三級
五嶋善太郎　神崎要　澁谷喜

◉鐵道財團

今般駄知鐵道株式會社ヨリ其ノ所屬鐵道土岐津、東駄知間既成線路ニ對シ鐵道抵當法ニ依リ鐵道財團ヲ組成シ豫メ其ノ公告ヲ申請セリ仍テ該鐵道財團ニ屬スヘキモノニ關シ所有權以外ノ物權ヲ有スル者、差押、假差押若ハ假處分ノ債權者又ハ該鐵道財團ニ屬スヘキ不動產ニ關シ賃借權ヲ有スル者ハ昭和四年四月三十日迄ニ申出ツヘシ
昭和四年三月三十日　鐵道省

◉指定運送取扱人決定

指定運送取扱人左ノ通決定セリ
昭和四年三月三十日　鐵道省

驛名		商號及氏名
岩德線	岩國	岩國合同運送株式會社

◉區區域分合竝區設置

京都市上京區及下京區ノ區域ノ一部ヲ分合シ新ニ左ノ三區ヲ設定スルノ件府參事會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可ヲ得タルニ付來ル四月一日ヨリ施行ス
昭和四年三月　京都府

一中京區(ナカギヤウク)
上京區中二條離宮竝ニ第十八學區、第十九學區、第二十學區、第二十一學區、第二十二學區、第二十三學區、第二十四學區、第二十五學區、第二十六學區ノ區域內字全部及下京區中第一學區、第二學區、第三學區、第四學區、第五學區、第六學區、第三十四學區ノ區域內字全部ノ地域ヲ合シテ中京區トス
一左京區(サキヤウク)
上京區中第二十七學區、第二十八學區、第二十九學區、第三十學區、第三十一學區ノ區域內字全部ノ地域ヲ以テ左京區トス
一東山區(ヒガシヤマク)
下京區中第七學區、第八學區、第十五學區、第二十學區、第二十一學區、第二十二學區、第二十七學區、第二十八學區、第三十一學區ノ區域內字全部ノ地域ヲ以テ東山區トス

◉村役場位置變更

加佐郡高野村ハ其役場位置ヲ去月二十八日同村字高野由里四五九番地ノ二ニ變更セリ
昭和四年三月　京都府

都濃郡戶田村ハ其役場位置ヲ本月十八日同村二千七百六十五番地ノ一ニ變更セリ
昭和四年三月　山口縣

◉村廢止町區域變更

町村制第三條ニ依リ來ル四月一日ヨリ厚狹郡出合村ヲ廢シ其區域ヲ厚狹郡厚狹町ニ編入ス
昭和四年三月　山口縣

◉購買入札

一カルシューム カーバイト　四万瓩
　履行期限　本年五月十日
一セメント　一千樽
　履行期限　本年五月十五日
一日本松材外一廢
　履行期限　本年五月三十日
一入札竝開札　四月九日午前十一時
一入札場所　當部購買課
一公示書類　契約書案其他入札者心得書等當部購買課ニ在リ
一入札保證金　入札價格ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ク)
一契約保證金　契約價格ノ百分ノ十以上(同上)
一入札者資格　大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者
一契約擔任官　呉海軍工廠會計部長淡輪敬雄
昭和四年三月三十日　呉海軍工廠會計部

第一號　外國白米(一石ノ量目三十八貫匁以上)　百五十石
　松江刑務所納
第二號　同(同)　六十石
　鳥取支所納
第三號　同(同)　十五石
　米子支所納
第四號　精麥(一石ノ量目三十五貫匁以上)　百石
　松江刑務所納
第五號　同(同)　三十五石
　鳥取支所納
第六號　同(同)　十二石
　米子支所納
一契約條項ヲ示ス場所　當所
一入札竝開札日時及場所　來ル四月九日午後一時當所ニ入札書差出スヘシ卽時開札ス但シ郵便、電信入札差支ナシ
一入札保證金　見積價格ノ百分ノ五以上
一入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者ニ限ル
昭和四年三月三十日　松江刑務所

一品名　道路砂利外二點
一納入場所　新潟縣新津町外五箇所
一入札及開札日時　四月四日午前十一時入札、卽時開札
一入札場所　新潟郵便局
一契約事項閲覽場所　當局經理課、新潟郵便局及長岡郵便局
一入札保證金及其納付日時　見積入札價格ノ百分ノ五以上入札當日午前十時三十分限
一入札者資格　大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格ヲ備フルコトヲ要ス
昭和四年三月三十日　仙臺遞信局

◉賣拂入札

一、當局芝工場ニ於テ作業上生スル空樽一箇年度賣渡豫定數量　一二、八一二箇
　內譯(米葉入　三、四三二箇　內地葉入　九、三八〇箇)
二、公示書類　入札規則及契約書案等ヲ當局庶務課ニ就キ熟覧
三、入札竝開札　四月四日午前十時、卽時開札
四、入札場所　當局庶務課
五、入札保證金　各自見積金高ノ百分ノ十以上ヲ入札當日午前九時三十分マテニ當局ヘ納付

一、當局及芝、淀橋兩工場ヨリ作業上生スル莚、縄、叺類及古莚(下)
但シ其品名、賣渡豫定數量等ハ當局庶務課ニ就キ承合
二、公示書類　入札規則及契約書案等ヲ當局庶務課ニ就キ熟覧
三、入札竝開札　四月五日午前十時、卽時開札
四、入札場所　當局庶務課
五、入札保證金　各自見積金高ノ百分ノ十以上ヲ入札當日午前九時三十分マテニ當局ヘ納付
昭和四年三月三十日　東京地方專賣局

第一號　冬作業衣三〇〇箇外一八點
　右仙臺步兵第四聯隊在庫
第二號　夏衣一〇〇箇外七點
　右仙臺騎兵第二聯隊在庫
第三號　軍帽三七九箇外二五點
　右仙臺野砲兵第二聯隊在庫
第四號　軍帽九〇箇外四二點
　右仙臺工兵第二大隊在庫
第五號　軍帽九〇二箇外五點
　右仙臺輜重兵第二大隊在庫
第六號　軍帽四九箇外二九點
　右仙臺衞戍病院在庫
第七號　軍帽九四〇箇外三七點
　右會津若松步兵第二十九聯隊在庫
第八號　軍帽一五箇外一七點
　右會津若松衞戍病院在庫
第九號　軍帽五〇〇箇外一一點
　右新發田步兵第十六聯隊在庫
第十號　軍帽三〇〇箇外一〇點
　右村松步兵第十六聯隊第三大隊在庫
第十一號　軍帽七〇〇箇外二〇點
　右高田步兵第三十聯隊在庫
第十二號　軍帽五〇箇外三八點
　右高田獨立山砲兵第一聯隊在庫
一、入札及開札　各號共四月十日午前十時當部ニ於テ入札、卽時開札ス郵便、電報入札差支ナシ
二、入札保證金　各號共見積價格ノ百分ノ五以上
三、公示書類　入札心得書、契約條項及賣却品目員數表ハ當部及步兵第二十九聯隊、步兵第十六聯隊、步兵第三十聯隊ニ在リ
四、物品閲覽期[illegible]月三十日ヨリ入札當日ニ至ルマテ休日ヲ除キ午前八時ヨリ午後三時マテ各所在部隊ニ就キ熟覧ノコト
昭和四年三月三十日　第二師團經理部

◉商業登記

● 營口水道電氣株式會社(變更)
昭和四年三月八日臨時株主總會ニ於テ左記ノ者取締役ニ選任セラレ同日就任シタリ
取締役　永尾龍造　營口新市街北本街二ノ一
取締役　佐藤俊久　大連市播磨町一番地ヤマトホテル內
昭和四年三月八日株主總會ノ決議ニ因リ左ノ通定款ヲ變更ス
第三條「當會社ハ本社ヲ淸國營口ニ設置ス」トアルヲ「當會社ハ本社ヲ營口ニ置ク」ト改ム
右昭和四年三月十二日登記　在牛莊日本帝國領事館

● 東洋雞卵株式會社(變更)
一左ノ者昭和四年二月二十一日就任ス
監査役　內藤市太郎　橫濱市中區尾上町一丁目十四番地
右昭和四年三月八日登記

● 朝鮮銀行(變更)
一理事片山義勝ハ任期滿了ニ依リ昭和四年二月二十八日退任シタリ
一京城府南大門通三丁目百十番地松田義雄ハ昭和四年三月一日大藏大臣ノ命ニ依リ理事ニ就任シタリ
一監事木本房太郎ハ昭和四年二月二十七日任期滿了ノ處昭和四年二月十四日再選同年二月二十八日重任シタリ

● 株式會社謙信公司(變更)
一取締役久保田道ハ昭和四年二月二十五日辭任ス
一昭和四年三月六日左ノ者取締役ニ就任ス
取締役　大木幹一　北平東城鈴鐺胡同十八
右昭和四年三月九日登記　在天津日本帝國總領事館

● 合名會社設立
商號　合名會社森眞商店
本店　名古屋市東區東大曾根町字藥師東十九二十番地
目的　一紙器類ノ製造販賣及之ニ關聯スル事業　二木箱類ノ製造販賣及之ニ關聯スル一切ノ事業
設立ノ年月日　昭和四年一月六日
社員ノ氏名住所出資
金一万四千二百圓　伊藤眞三郎　名古屋市東區大曾根町字藥師東十九二十番地
金八百圓　伊藤八十司　同所同番地

● 合資會社設立
商號　カネ森合資會社森田商店
本店　名古屋市西區西替原町二丁目六番地
目的　材木ノ賣買竝ニ之レニ附帶スル業務
設立ノ年月日　昭和四年一月五日
代表社員ノ氏名　出口勝一郎
社員ノ氏名住所出資及責任
金一万一千圓　無限　出口勝一郎　三重縣員辨郡三里村大字高柳四百十七番地
金五千圓　有限　森田顯一　名古屋市西區菅原町二丁目六番地
金一万圓　同　森田ゆき　同所同番地
金三千圓　同　森田はな子　同所同番地
金三千圓　同　岩田芳太郎　名古屋市中區御器所町字菱池一番地
金三千圓　同　久保永福　三重縣員辨郡石榑村大字石榑北五十七番地
金二千圓　同　土井三郎　同縣同郡西藤原村大字大貝戶六十三番屋敷
金一千圓　同　二ノ宮利男　同縣同郡治田村字別名六百二十八番地
存立時期　二十箇年

● 合資會社設立
商號　合資會社山セ坂德支店
本店　名古屋市中區東陽町九丁目六番地ノ二
目的　一米雜穀ノ販賣竝ニ之レニ附帶スル一切ノ業務
設立ノ年月日　昭和四年一月十一日
代表社員ノ氏名　鈴木關太郎
社員ノ氏名住所出資及責任
金七千二百圓　無限　鈴木關太郎　名古屋市中區東陽町九丁目六番地ノ二
金九百五十圓　有限　鈴木金一　同所同番地
金九百五十圓　有限　鈴木ゐけ　同所同番地
金九百圓　有限　鈴木久枝　同所同番地
存立時期　二十五箇年

● 合名會社設立
商號　林產業合名會社
本店　名古屋市東區下竪杉ノ町一丁目二番地
目的　一不動產ノ所有及利用　二前項ニ附帶スル業務
設立ノ年月日　昭和四年一月十一日
代表社員ノ氏名　林鐵藏
社員ノ氏名住所出資
金十五万圓　林鐵藏　名古屋市東區下竪杉ノ町一丁目二番地
金五万圓　林米藏　名古屋市東區中市場町三丁目九番地
金二万五千圓　林鉦藏　名古屋市東區武平町一丁目七番地
金二万五千圓　林庄次　同所同番地
以上昭和四年一月十八日登記　名古屋區裁判所

● 株式會社尾三銀行(變更)
一取締役上原吉太郎ハ昭和四年一月八日辭任ス
昭和四年一月十九日登記　名古屋區裁判所勝川出張所

● 梶浦毛織合資會社(解散)
總社員ノ同意ニ因リ昭和四年一月十日解散ス

● 梶浦毛織合資會社淸算人選任
昭和四年一月十日左ノ者淸算人ニ選任ス
梶浦仁三郎　海部郡佐織村大字勝幡七十三番戶
昭和四年一月十七日登記

● 合資會社設立
一商號　合資會社小出織物工場
一本店　海部郡津島町大字津島字川原毛坪ルノ割千二百三十一番地
一目的　織物ノ製造竝ニ販賣及絲類ノ販賣
一設立年月日　昭和四年一月五日
一社員ノ氏名住所出資及責任
一金三千圓　無限　小出仁三郎　海部郡津島町大字津島字藤浪ヘノ割四百四十番地
一金七百圓　有限　小出ゑる　同所同番地
一金五百圓　有限　小出美譽子　同所同番地
一金五百圓　有限　小出日瑳子　同所同番地
一金三百圓　有限　志水秀雄　同所同番地
昭和三年一月十八日登記　名古屋區裁判所津島出張所

● 株式會社尾三銀行變更(支店)
取締役上原吉太郎ハ昭和四年一月八日辭任ス
昭和四年一月十六日登記　一宮區裁判所

● 株式會社名古屋銀行支店移轉(支店)
一名古屋市中區松枝町三丁目十一番地ノ支店ヲ昭和四年一月四日左ノ地ニ移轉ス
名古屋市中區大池町六丁目十一番地
昭和四年一月八日登記

● 半田合同運送株式會社變更
一取締役田中平太郎天野兵太郎ハ昭和四年一月八日各辭任ス
昭和四年一月十四日登記

● 株式會社設立
一商號　朝日製油株式會社
一本店　知多郡龜崎町大字龜崎字留ヶ島二十一番地
一目的　各種油及肥料ノ製造竝ニ之ニ附帶スル副生品其他ノ加工販賣
一設立ノ年月日　昭和三年十二月二十四日
一資本ノ總額　金七万圓
一一株ノ金額　金五十圓
一各株拂込額　金十二圓五十錢
一存立時期　設立ノ日ヨリ二十箇年
一取締役ノ氏名住所
小島惣右衛門　三重縣津市京口町津千二百十五番地
橋本利助　三重縣河藝郡若松村大字南若松二百六番地
奥田作兵衛　愛知縣知多郡龜崎町大字龜崎字蟹ヶ島二十一番地
小島幾次郎　三重縣津市玉置町津千八百八十五番地
一監査役ノ氏名住所
小島朋男　三重縣津市東檢校町津千八百六十番地
前田茂　三重縣一志郡久居町大字本町千三百八十一番地
一代表取締役ノ氏名　小島惣右衛門
昭和四年一月十四日登記　半田區裁判所

第673号本文

●伊部陶器株式會社變更
取締役會ノ決議ニ依リ昭和三年十二月三十一日各株ニ付金五圓ノ拂込ヲ完了シタルニ付各株ノ拂込金額ヲ左ノ通リ變更シタリ
金四十圓
一商號 合資會社長船宗十郎商店(設立)
一本店 岡山市二日市町二番地
一目的 魚類ノ委託販賣並ニ賣買
一設立ノ年月日 昭和四年一月二日
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
一金一万五千圓 無限 長船卯之助 岡山市二日市町二番地
一金一万圓 有限 長船昌雄 同所七十四番地
一金五千圓 同 長谷彌十郎 同所同番地
右昭和四年一月十四日登記

●まるみ合資會社解散
昭和三年十二月三十一日總社員ノ同意ニ依リ解散シタリ

●中國信託株式會社變更
取締役小野善吉昭和四年一月二日死亡シタリ

●株式會社小野善商店變更
取締役小野善吉ハ昭和四年一月二日死亡シタリ

●東山温泉株式會社
取締役補缺ニ付昭和三年十二月十六日株主總會ニ依リ左記ノ者當選昭和四年一月九日就任ス
佐藤富三郎 岡山市門田屋敷九十七番地
石井善四郎 岡山市南方四百八十四番地
右昭和四年一月十五日登記

●株式會社鴻池銀行變更(支店)
昭和四年一月十四日京都市下京區七條通烏丸東入眞苧屋町百九十五番地ノ支店ヲ左ノ地ヘ移轉シタリ
京都市下京區七條通新町西入夷之町七百四番地

●興國無煙株式會社變更
監査役任期滿了ニ付昭和四年一月十四日改選ノ結果左ノ者當選同日就任ス
安黑一枝 苫田郡高田村大字大篠千八百二十番地
近藤甚五郎 岡山市瓦町十九番地

●商號木村岡山支店登記事項廢止シタルニ付キ抹消
右昭和四年一月十六日登記 岡山區裁判所

●株式會社安田銀行變更(支店)
一昭和四年一月十四日東京市淺草區芳町二丁目五番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
支店 東京市日本橋區馬喰町一丁目十一番地
一同日東京府北豐島郡南千住町大字千住南字南百番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
支店 東京府北豐島郡南千住町大字千住南字南二番及三番地
一昭和四年一月十六日福岡市下土居町二十四番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
支店 福岡市下西町五十番地ノ一
右昭和四年一月十九日登記 岡山區裁判所牛窓出張所

●合資會社設立
一商號 合資會社藤原靑果部
一本店 上道郡西大寺町千三百二十二番地
一目的 青乾果物等ノ仲買及ヒ運輸業
一設立年月日 昭和四年一月十二日
一存立時期 定款作成ノ日ヨリ滿十箇年
一社員氏名住所出資種類價格責任
一金千五百圓 無限 藤原秀雄 上道郡西大寺町千三百二十二番地
一金八百圓 有限 藤原嘉ヱ門 同所同番地
一金七百圓 有限 井原武治郎 香川縣大川郡神前村字寺尾六十三番地
右昭和四年一月十四日登記

●株式會社解散
株式會社森永製品東備販賣所
一昭和四年一月五日臨時株主總會ノ決議ニ依リ解散ス

●同上淸算人選任
小松鹿次郎 上道郡西大寺町千二百四十一番地
奥田直七 邑久郡豐村大字濱三百二十二番地
右昭和四年一月十九日登記

●株式會社安田銀行變更(支店)
一昭和四年一月十四日東京市淺草區茅町二丁目五番地ノ支店及東京府北豐島郡南千住町大字千住南字南百番地ノ支店ヲ左ノ地ヘ移轉ス
支店 東京市日本橋區馬喰町一丁目十一番地
同 東京府北豐島郡南千住町大字千住南字南二番及三番地
一同月十六日福岡市下土居町二十四番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
支店 福岡市下西町五十番地ノ一
右昭和四年一月十九日登記 岡山區裁判所西大寺出張所

●妹尾劇場株式會社變更
取締役監査役任期滿了ニ付昭和四年一月十五日株主總會ニ於テ改選ノ結果全員再選重任ス
右昭和四年一月十六日登記 岡山區裁判所撫川出張所

●美旭工業株式會社變更
監査役任期滿了ノ處昭和三年十二月三十日株主總會ニ於テ改選ノ結果左記ノ者當選昭和四年一月五日就任シタリ
監査役(重任) 谷田實太郎 眞庭郡川上村大字西茅部千三百七十二番地
同上(同) 石賀新一 同郡同村大字東茅部千八十九番地ノ一
右昭和四年一月十八日登記 勝山區裁判所湯原出張所

●合資會社設立
一商號 川上合資會社
一本店 鳥取市新町四十七番地
一目的 古物及新家具ノ賣買
一設立年月日 昭和四年一月七日
一代表社員ノ氏名 川上文一
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
川上文一 鳥取市新町四十七番地 金五十圓 無限責任 川上直治郎 氣高郡千代水村大字安長五百六十五番地 金一千圓 有限責任 松保五百藏 氣高郡松保村大字里仁二百七十二番地 金一千圓 有限責任 岡本勝治 鳥取市川端二丁目二十番地 金五百圓 有限責任 松保太郎 氣高郡大正村大字德尾三百九十九番地 金四百五十圓 有限責任
一存立ノ時期 定款作成ノ日ヨリ二十箇年
右昭和四年一月十七日登記

●株式會社安田銀行變更(支店)
一昭和四年一月十四日東京市淺草區茅町二丁目五番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
支店 東京市日本橋區馬喰町一丁目十一番地
一昭和四年一月十四日東京府北豐島郡南千住町大字千住南字南百番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
支店 東京府北豐島郡南千住町大字千住南字南二番及三番地
一昭和四年一月十六日福岡市下土居町二十四番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
支店 福岡市下西町五十番地ノ一
右昭和四年一月十九日登記 鳥取區裁判所

●株式會社八頭銀行變更(支店)
一監査役長石正勝ハ昭和四年一月六日死亡ス
昭和四年一月十八日登記 鳥取區裁判所河原出張所

●株式會社八頭銀行變更(支店)
監査役長石正勝ハ昭和四年一月六日死亡ス
右昭和四年一月十八日登記 鳥取區裁判所安部出張所

●株式會社安田銀行變更(支店)
昭和四年一月十四日東京市淺草區茅町二丁目五番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
東京市日本橋區馬喰町一丁目十一番地
同日東京府北豐島郡南千住町大字千住南字南百番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
同府同郡同町大字同字南二番及三番地
同月十六日福岡市下土居町二十四番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
同市下西町五十番地ノ一
昭和四年一月十九日登記 倉吉區裁判所

●株式會社安田銀行支店移轉(支店)
一昭和四年一月十四日東京市淺草區茅町二丁目五番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
支店 東京市日本橋區馬喰町一丁目十一番地
一同日東京府北豐島郡南千住町大字千住南字南百番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
支店 東京府北豐島郡南千住町大字千住南字南二番及三番地
一昭和四年一月十六日福岡市下土居町二十四番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
支店 福岡市下西町五十番地ノ一
右昭和四年一月二十一日登記 松江區裁判所

●出雲清酒株式會社變更(本店)
昭和四年一月四日左記ノ者辭任シタリ
左記取締役仁多郡温泉村大字湯村三百六番地稻岡捨市同郡横田村大字稻原三百八十二番地藤田傳太郎監査役仁多郡横田村大字横田九百十一番地岡崎隆一同所千二百二十九番地稻田善太郎
右昭和四年一月十八日登記

●出雲清酒株式會社變更(本店)
昭和四年一月五日臨時株主會ニ於テ取締役及監査役補缺選擧ノ結果左記ノ者當選各就任セリ
取締役仁多郡横田村大字横田九百二十三番地岡崎隆一同郡同村大字稻原九百六十四番地藤原辰三郎簸川郡今市町九百六番地古川幸一監査役仁多郡龜嵩村大字郡村四百十六番地勝部金三郎
右昭和四年一月十九日登記 木次區裁判所横田出張所

●大社發動氣船株式會社變更
一取締役永見源太郎ハ昭和四年一月九日死亡
右昭和四年一月十九日登記 今市區裁判所大社出張所

●合資會社設立
商號 合資會社山ヨ生絲金紙工場
本店 鹿足郡津和野町大字町田イ二百七十三番地一
目的 生絲製造金紙製造其他附帶事業
設立年月日 昭和三年十二月三十一日
代表社員ノ氏名 竹内與左衞門
社員ノ氏名住所出資及責任
金一千圓 無限 竹内與左衞門 鹿足郡津和野町大字町田イ二百七十三番地
金五百圓 有限 岡崎傳太郎 美濃郡中西村大字川登二百三十九番地
金五百圓 有限 竹内菊之亟 同所五百七十五番地
存立時期 滿二十箇年
昭和四年一月十二日登記 益田區裁判所津和野出張所

●富士屋株式會社
一取締役井上金作片山伊勢松宇都宮直治ハ昭和四年一月十六日重任ス
一監査役井上近太郎井上市太郎ハ同日重任ス
右昭和四年一月十九日登記 八幡濱區裁判所三瓶出張所

◎準禁治産宣告取消
本籍埼玉縣大里郡妻沼町大字弥藤吾千九百三十八番地
住所同所六十九番地 明治十八年十二月二日生 栗田庄三郎
右ニ對シ明治三十五年三月十二日當裁判所ノ爲シタル準禁治産宣告ハ父金三郎ノ申立ニ因リ昭和四年三月五日取消シタリ
昭和四年三月二十日 熊谷區裁判所

茨城縣猿島郡櫻井村大字柳橋八百四十六番地 明治九年十月六日生 一木淸松
右ニ對シ大正十五年二月二十五日當裁判所ノ宣告シタル準禁治産ハ實弟香取數三郎ノ申立ニ因リ昭和四年二月十二日之ヲ取消シタリ
昭和四年三月十八日 下妻區裁判所

大分縣大分郡植田村大字市二百二十一番地 明治三十年十月四日生 朝來野文男
右ニ對シ大正十三年二月二十三日當裁判所ノ宣告シタル準禁治産ハ其ノ姉利光マキ外一人ノ申立ニ因リ昭和四年三月六日之ヲ取消シタリ
昭和四年三月十八日 大分區裁判所

本籍及住所秋田縣由利郡東瀧澤村曲澤字曲澤百五十九番地 明治三十年三月二十五日生 高橋萬次郎
右ニ對シ當裁判所カ大正九年一月十三日爲シタル準禁治産ノ宣告ハ父高橋留吉ノ申立ニヨリ準禁治産ノ原因止ミタルモノト認メ之ヲ取消ス
昭和四年三月十八日 本莊區裁判所

◎公示催告
一船荷證券 一通
船名銀山丸船積港群山陸揚港大阪荷姿品名n/m 燒右ガス管モータ發電機箱物其他 取合箇數八五八箇 價格金四千圓也 荷送人西村光雄 前拂運賃金二百三十圓也 摘要甲板積證券發行人株式會社澤山兄弟商會群山代理店群山海運株式會社專務取締役南村六太郎 着地取扱店大阪市西區西道頓堀通汐見橋北詰梅本商店
右證券ニ付神戸市北長狹通五丁目七十七番屋敷ノ五株式會社神戸叶商店ヨリ公示催告ノ申立アリタルヲ以テ其所持人ハ昭和四年十月二十日午前九時迄ニ當裁判所ニ權利ノ屆出ヲ爲シ且其證券ヲ提出スヘシ若右期日迄ニ權利ノ屆出及證券ノ提出ヲ爲サザル時ハ前記證券ノ無效ヲ宣言スルコトアルヘシ此旨催告ス
昭和四年三月二十日 大阪區裁判所
釜山府本町一丁目二番地
申立人 株式會社安田銀行釜山支店
右代理人 宇野久之介
右代理人辯護士 窪田梧樓

一證書ノ表示 船荷證券 三通
一證書ノ番號 第百一號
證書ノ日時 昭和四年二月二日
發行者 大阪商船株式會社門司支店長代理 宮武省三
荷送人 湯淺合資會社
荷受人 内藤
貨物ノ種類及箇數 緑タイヤ小麥粉百五十俵
貨物ノ價格 六百圓也
一證書ノ番號 第百二號
證書ノ日附 昭和四年二月二日
發行者 大阪商船株式會社門司支店長代理 宮武省三
荷送人 湯淺合資會社
荷受人 福榮
貨物ノ種類及箇數 緑タイヤ小麥粉百五十袋
貨物ノ價格 六百圓也
一證書ノ番號 第一號
證書ノ日附 昭和四年二月三日
發行者 大阪商船株式會社門司支店長代理 河村正方
荷送人 平野商店
荷受人 内藤
貨物ノ種類及箇數 緑タイヤ小麥粉二百五十袋
貨物ノ價格 一千圓也
右證券ニ付キ前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニ付キ其所持人ハ昭和四年九月三十日午前十時迄ニ當院ニ權利ヲ屆出テ且該證券ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及提出ヲ爲サザルトキハ其證券ノ無效ヲ宣言スルコトアルヘシ
昭和四年三月十五日 釜山地方法院 朝鮮總督府判事 小林長藏

◎失踪ニ關スル屆出ノ催告
本籍及最後ノ住所福島縣雙葉郡浪江町大字高瀨字淸水七十一番地 嘉永四年六月二十五日生 不存者 清水岩太郎
右不在者ニ對シ利害關係人淸水誠ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和四年九月二十五日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和四年三月二十二日 平區裁判所

◎失踪宣告
本籍並最後ノ住所岐阜縣吉城郡袖川村大字寺林三百二十六番戸土慶 不在者 谷口忠之助
右ニ對シ前同所谷口淸三郎ノ申立ニ因リ昭和四年三月二十日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和四年三月二十日 高山區裁判所

本籍及最後ノ住所秋田縣南秋田郡土崎港町相染新田十六番地 嘉永二年十一月七日生 不在者 伊藤淸次郎
右ニ對シ其三男伊藤兼松ノ申立ニヨリ當裁判所ハ昭和四年三月二十日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和四年三月二十二日 秋田區裁判所

本籍及最後ノ住所青森縣三戸郡湊町大字濱通字汐越四十七番一號地 明治三年八月一日生 不在者 長谷部熊藏
右ニ對シ長男長谷部淸次郎ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和四年三月二十三日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和四年三月二十三日 八戸區裁判所

◎復權申立
本籍東京市日本橋區橘町三丁目十五番地 決定當時及現住所東京市赤坂區傳馬町一丁目二十四番地 破産者 穗積伊門
右之者ハ昭和四年二月十四日當裁判所ニ復權ノ申立ヲ爲シタリ
仍而公告ス
昭和四年三月十九日 東京區裁判所 判事 間運吉

◎相續權主張ノ催告
本籍大阪市浪速區河原町二丁目千四百五十三番地 最後ノ住所大阪市天王寺區松ケ鼻町二十五番地 安政五年九月三日生 被相續人 亡林ゑ乃
右林ゑ乃ノ相續人ハ昭和五年四月十日迄ニ其權利ヲ主張スヘシ
昭和四年三月二十七日 大阪區裁判所

◎破産宣告
愛知縣幡豆郡三和村大字小島二十六番戸 債務者 石原今太郎
右ニ對スル昭和三年(フ)第一號破産宣告申立事件ニ付當裁判所ノ爲シタル破産宣告ニ付公告スルコト左ノ如シ
一、右石原今太郎ヲ破産者トス
二、破産管財人ハ愛知縣岡崎市八幡町八十番地 辯護士 内田慶次 同所二十七番地 水越政雄
三、債權屆出期間ハ昭和四年四月十三日迄
四、第一回債權者集會ノ期日ハ昭和四年四月二十三日午前九時
五、債權調査ノ期日ハ昭和四年四月二十三日午後一時
六、破産者ノ債務者及破産財團ニ屬スル財産ノ所持者ハ破産者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ其財産ヲ交付スヘカラス尙破産者ニ對シ債務ヲ負擔スルコト又ハ其財産ヲ所持スルコト若シ別途權ヲ有スルトキハ其債權ヲ有スルコトヲ昭和四年四月十三日迄ニ管財人ニ屆出ツヘシ
昭和四年三月二十六日午前十時宣告 岡崎區裁判所 判事 守安富太郎

◎朝鮮銀行券發行週報
自昭和四年三月十七日 至同 四年三月二十三日 朝鮮銀行券發行平均高
銀行券發行高 一〇四、七三七、三一六・〇〇
正貨準備發行高 五四、九一六、五九八・〇〇
保證準備發行高 四九、八二〇、七一八・〇〇
昭和四年三月二十五日 朝鮮銀行

◎外國行郵便物東京中央郵便局締切日時表

地方	通常 普通 月日 時	通常 書留 月日 時	小包 月日 時	郵便船出帆	船名
加拿陀、米國、南米等行	三、三一 前一〇	三、三一 前九半	三、三一 前九半	横濱	ぱりい丸
南支那、香港、海峽殖民地、フィリピン群島、英領印度等行	四、六 前一〇半	四、六 前一〇	四、六 前九半	同	靜岡丸
	同 一 前八、一五	三、三一 後三	—	門司	ぜのあ丸
	同 一 後六	四、一 後五半	—	神戸	ポート號
	同 二 前八、一五	同 一 後一〇	—	同	プレシデント、クリーヴランド號
	同 三 前八、一五	同 二 後一〇	三、三一 後四	門司	阿波丸
	同 六 前八、一五	同 五 後一〇	—	神戸	プレシデント、マヂソン號
蘭領東印度行	同 一 後六	同 一 後五半	四、一 前一一	同	ちゑりぼん丸
布哇、米國、加拿陀、南米等行	同 二 前一〇半	同 二 前九半	同 二 前九半	横濱	プレシデント、ゼファーソン號

(備考) 阿波丸ノ小包ハ神戸局迄トス

手刷謄寫版ノ時代ハ過ギ
輪轉機々々
絶モ斯界ノ雄

レントン
輪轉
自働謄寫機
製作
發賣元
國際輪轉自働謄寫機商會
京都市河原町通二條上ル
代表電話上四八三〇振替大阪六九〇〇五番

米國製
謄寫ず綺麗に
29円 手廻より
足踏 89円
各種
販賣店募集
月賦也モアリ

ソシムーオ
タクグロ製造
ホームシミンシン株式會社
大阪本町四

最新刊
小池朝吉著
金のなる木の育て方
定價金五錢 郵稅金四錢
四六判美裝 振替大阪一六四番
全國民に推奨す
國民の富は國家の富（次年一二九一二九）
發行所 東京市本郷區根津宮永町一番地
振替東京八〇〇八七 經濟研究社

中央工學校高等科昇格一校舍新築學生大募集
中央高等工學校
中央工學校
新築校舍 落成生徒 大募集
授業開始 四月八日
右中央高等工學校に進學希望の諸君は本校に入學せられよ
機械電氣 建築土木
小學卒一期に中學卒三期に入學許す
規程申込次第送る
東京市神田中猿樂町五 電話二二三番 二三三番

債公道鐵付利分利五府政那支年四十四治明
告廣廣番號當籤償還籤抽回八第

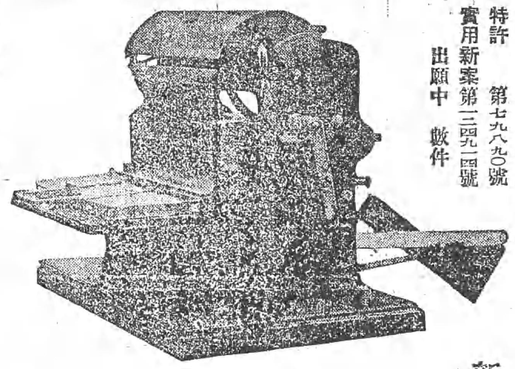
昭和四年三月廿九日

横濱正金銀行

以上五千圓券	號	以上五百圓券	號	臺湾千圓券	號	臺湾百圓券	號	臺湾十圓券	號	臺湾一圓券	號
12	470	12	2366	2897	3457	3913	4419	5025	5483	5967	6556	7264
15	472	17	2377	2905	3463	3920	4420	5033	5515	5990	6575	7270
65	481	18	2379	2909	3468	3926	4427	5039	5532	5995	6585	7279
77	500	36	2422	2932	3492	3931	4459	5056	5540	6038	6610	7288
98	525	75	2427	29.0	3493	3937	4476	5059	5559	6046	6629	7293
103	528	79	2448	2941	3497	3957	4507	5061	5577	6047	6651	7297
132	539	85	2450	2980	3514	3990	4537	5082	5595	6062	6684	7299
136	2029	89	2471	2985	3515	4000	4539	5092	5600	6074	6702	7327
144	2046	124	2506	2990	3519	4027	4555	5095	5603	6095	6783	7333
147	2050	148	2516	3041	3523	4043	4558	5100	5604	6146	6787	7340
161	2066	175	2561	3050	3550	4048	4574	5109	5618	6194	6808	7341
168	2072	176	2564	3055	3554	4052	4575	5126	5660	6203	6814	7352
207	2075	234	2586	3075	3558	4066	4662	5167	5647	6228	6839	7353
243	2077	261	2592	3102	3583	4066	4674	5225	5652	6229	6844	7367
278	2080	273	2596	3114	3587	4119	4682	5238	5657	6240	6846	7366
286	2122	275	2604	3132	3606	4135	4694	5245	5666	6241	6865	7393
294	2136	287	2682	3143	3609	4145	4717	5247	5679	6279	6869	7394
312	2158	297	2705	3195	3625	4151	4722	5266	5681	6306	6872	7398
320	2165	300	2727	3261	3651	4156	4731	5316	5687	6310	6880	7414
329	2180	355	2764	3262	3657	4174	4760	5323	5698	6312	6886	7432
352	2205	363	2765	3271	3640	4227	4812	5329	5705	6328	6909	7434
372	2210	378	2767	3276	3679	4236	4819	5332	5712	6347	6908	7461
377	2217	381	2755	3295	3719	4238	4820	5336	5756	6348	6910	7474
408	2220	417	2806	3307	3749	4244	4851	5345	5777	6386	6920	7490
409	2222	485	2626	3312	3766	4253	4845	5355	5778	6389	6952	7491
414	2246	492	2633	3319	3811	4276	4850	5357	5797	6399	6945	7496
425	2281	499	2645	3340	3812	4292	4860	5362	5817	6414	6981	7509
435	2286	508	2648	3345	3817	4303	4901	5385	5831	6431	6993	7515
443	2293	509	2665	3364	3821	4316	4918	5392	5832	6448	7008	7535
466	2358	511	2686	3373	3831	4343	4920	5404	5843	6466	7047	7539
				3391	3859	4361	4926	5414	5867	6483	7055	7543
						4413	4967	5418	5916	6513	7086	7551
						4416	4976	5421	5941	6529	7112	7571
							5012	5461	5954	6545	7148	7578
											7201	7584
7604	1177	1900	178	1017	1545	2199	2821
7656	1182	1926	181	1044	1555	2216	2846
7658	1185	1936	194	1045	1572	2251	2672
7675	1186	1941	195	1056	1569	2264	2675
7681	1187	1951	196	1072	1608	2268	2683
7706	1201	1990	233	1074	1615	2505	2687
7720	1210	2000	258	1077	1628	2536	2699
7725	1222	2002	260	1078	1635	2556	2912
	1244	2011	283	1128	1636	2353	2950
	1291	2029	293	1147	1642	2371	2966
	1301	2050	301	1150	1648	2575	2975
	1337	2053	311	1164	1658	2387	2976
	1340	2060	326	1175	1679	2415	2688
	1387	2068	345	1178	1683	2419	2997
	1395	2070	376	1179	1702	2437	
	1400	2076	402	1216	1711	2448	
	1426	2089	410	1226	1777	2451	
	1427	2112	411	1227	1778	2452	
	1459	2116	486	1236	1782	2458	
	1485	2119	512	1254	1783	2491	
	1502	2120	527	1255	1795	2505	
	1512	2133	542	1275	1797	2527	
	1590	2186	568	1301	1805	2559	
	1595	2189	584	1304	1819	2561	
	1607	2209	586	1311	1847	2564	
	1615	2222	621	1318	1858	2573	
	1623	2223	623	1321	1891	2578	
	1624	2230	650	1322	1897	2584	
	1643		651	1340	1901	2608	
	1650		666	1358	1941	2629	
	1690		669	1370	1963	2648	
	1697		744	1379	1972	2656	
	1719		807	1385	2014	2665	
	1753		810	1403	2027	2679	
1039	1760		841	1417	2049	2717	
1041	1774		857	1424	2064	2729	
1047	1789		875	1438	2068	2734	
1051	1803		889	1442	2068	2743	
1103	1814		905	1478	2074	2767	
1107	1826		926	1479	2075	2771	
1120	1827		935	1487	2098	2776	
1129	1842		942	1513	2111	2786	
1132	1866		968	1519	2119	2793	
1137	1884		1001	1531	2136	2795	
1164	1806		1014	1555	2154	2805	
1168							

新發賣
特許第一版の
御試判を乞ふ
標識
信用一第
福井式謄寫版
其他一般輸出入業
東京日本橋區橋町三丁目
大阪市西區新町通リ一丁目
第一謄寫室
福井憲治

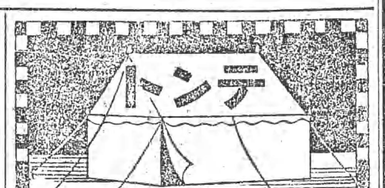
國産最高級　耐久十ヶ年保證
ダイヤモンド輪轉謄寫機
手刷謄寫版ノ所長ト輪轉機ノ長所ヲ兼備ス



特許　第七九八九〇號
實用新案第三四二一四號
出願中　數件

新發賣　サイエンス型
久しく渇望された理想的印刷機は遂に生れた
業界に最古の歴史を有する當商會がすべての努力を盡しての製作、五ヶ年の日子を費し二十數臺の試作機械によりあらゆる謄寫方法を研究しこれ以上の考案は不可能といふ處迄達して成れるものなり
十歳の小兒にも容易に使用し得…鮮麗なる印刷
世界唯一の新特許　サイエンス型の各部分特長
三段回轉式紙掬ひ裝置　如何なる場合にも確實に一枚宛捉捌き送給紙す「紙擱裝置印刷された紙の散亂、原紙面への粘着を防ぎキント巻上に積重なる。印刷位置は何千枚刷るも一厘の差異を生ぜず且印刷位置は何千枚刷るも一厘の差異を決定するは三十秒にて足れり。印刷準備の迅速二三十枚の少數印刷も迅速に處理す　原紙貼付の簡單正確、精密なる枚數表示器……
右は單に部分の特長に過ぎず更に機械全體として如何に使ひ易い樣、永年の耐久を保證する機械全體として如何に使ひ易い樣、永年の耐久を保證する様苦心を拂つてあるか、又如何に在來の謄寫機の缺點を完全に除去したか以上詳しく御實驗下さればよく御わかりのことであります。
サイエンス型　英國製ヨリハガキ刷マデ印刷可能用紙横入
定價　手廻式　金三百八拾圓也
モーター付　金五百八拾圓也
製造發賣元　ダイヤモンド謄寫機會
東京下谷區西町三番地　電話下谷四七八六番　振替東京七四一七八番
工場　東京市外千住町中組七七二番地

ダイヤモンド輪轉謄寫機ノ種類
一號型……二〇〇圓
スポーツ型……（七〇圓　七五圓）
三號型……一五〇圓
五號型……七五圓
六號型……六五圓
內地、滿鮮、臺湾ト共ニ全國
二週間無料御試用に提供す
在庫品當日到着御申込を乞ふ



堺市公債利子支拂公告
堺市上水道公債及堺市公債利子（自昭和四年一月十五日分）ハ昭和四年三月卅一日ヨリ左記取扱店ニ於テ支拂フ
共同證券株式會社（三十四銀行東京支店、同京橋支店）
東京市）三十四銀行本店（大阪市）三十四銀行堺支店
營業品目
天幕、雨覆、天幕雨覆地、帳布、作業衣、麻帆布、麻糸、非常袋、寢具入布ホース、綿帆布、背負袋、雜嚢、防水布類一切、製造販賣卸賣
陸海軍諸官省御用
小川治兵衛商店
東京市深川區福井町二（永代橋際）
電話本所（63）六一八六番
工場　京橋月島東仲通四ノ五
電話京橋（56）一五六六番

能率增進！時間と勞力の經濟に！
北米カネカード社のデュプレックス
簡便家庭パン燒器の御備へを！
此パン燒器は學生及通勤者の辨當其他家庭菓子代用パンをパン種を要せず長時間のもやしに及ばず炭酸を入れるのみにて火鉢にて僅か數分間に滋養に富む味なる麩パン味噌パン砂糖パン乳酪パン玉米パン大豆パン等を燒續する新發明品にて各パン燒法は現物に添附す（試御以上割引）
發賣元　埼玉縣兒玉郡長幡村　振替東京九四一五番

法曹閣　梶康郎先生編著（最新刊）總紙數　一千四百五十餘頁

民法通解 重要判例叢

附錄　私權關係　特別法判例

製本　背革爪　マーブル　掛　附美裝

定價　金五圓八拾錢

（短期祝特賣中）

特價金四圓八拾錢

書留（內地＝貳拾七錢　郵送料（海外＝五拾五錢

判決例の民衆化と財産保護の權威的一大秘庫

民法（財産篇）施行以來、今日迄、約三拾五年、全國裁判所（大審院、高等法院、控訴院、地方裁判所、區裁判所、行政裁判所）の判決例、法曹會の決議、民事局の回答に至る迄、其の記錄文獻の徴し得べきもの約拾八萬五千、其の中重要（原則的、準則的、基本的）の判例を精選して之を整理分類して本書を大成せられたるものなり。

本書の內容

民法典（財産篇）規定の順序に依り先づ其の法理の梗概を通解して一々引用條文を揭げ、次に參考判例として同種類の判例要旨を配列し、尚ほ有要なる書式文例をも揭げられたり。

判例の配列

判決例の配列順序は事件別即ち同種同事件の判例を類別して一々其の判決裁判所と判決年月日を明記せられたり依て讀者は判決の年月日を參照して判決の新舊を知ることを得べし。

判例の整理

巨萬の判決例中、其の重要と認めたるもの即ち原則的なるもの、基本的なるもの、準則的なるものを選擇して、其の內、同一論旨なるものは上級審判例を採り、新舊同一論旨なるものは新判例を採り、反對判例あるものは必ず之を揭げて參考と爲されたり。

判例の精選

同一論旨なるも其の論述を異にするもの、說明の明確詳細なるものは之を揭げ、同論旨に歸するも其の事件事實を異にするものは成るべく多數に精選蒐輯して參考に供せられたり。

本書の編者

民衆法律家の第一人者たる梶康郎先生にして三十餘年間の著述經驗を以て五星霜の努力に依り本書を大成せらる其の內容の優秀なる啜々の辯を俟たずして識るべし。曩に發行せる「註釋民法要覽」の姉妹篇として、民法法理の解說と其の適用とを權威的に實際的に大成せられたるものなり。

本書は「判決例の民衆化」をモットーとして日常起る法律問題（事件）の解決資料として編纂提供せられたるものなるも、亦以て法曹實務家（判檢事・辯護士・法務官・警察官・其の他官公吏等）の實務資料として、又、法學家・法律學生の研究資料として一大便益に供するものと信ず。且又、財産擁護の參考資料としては一般實業家は素より銀行會社・學校・圖書館・市町村役場等に於ては切に一本を備ふるの要あり。乞ふ……清鑑を賜らん事を。

贈呈

東京市本鄉區丸山新町
電話小石川七〇二二番
振替東京一五八六六番

法曹閣書院

東京市神田區表神保町
電話神田一五二〇番
振替東京一三九三六番

田口書店

◉號外　昨二十九日發行　第五十六回帝國議會衆議院議事速記錄第四十號附錄（二三六頁）

本誌（定價（郵稅共）一ヶ月　九十五錢　四十錢　一圓八十錢（前拂以外）　一圓八十錢）
廣告料（四號活字一行　四十錢　三十五錢　一段廣告料一行十五錢）

發行所　東京市麹町區大手町　內閣印刷局　電話丸ノ內一〇〇番　振替東京一六七三番

法曹閣 673 梶